

履修案内








2018（平成30）年度三重大学教養教育

三重大学 教養教育院 <http://www.ars.mie-u.ac.jp/>

 MIE UNIVERSITY

履修申告の入力から履修確定まで

履修申告期間	<p>①履修申告計画を立てます。</p> <p> 必要な単位は？</p> <p>参照) → 第3部 VI 学部・学科の履修単位表</p> <p> 必要な単位でこの学期に履修しなければならない授業はどれ？</p> <p>参照) → 第3部 III 開講授業一覧 第3部 IV クラス指定リスト</p> <p>指定クラス・開講学期・曜日時限を確認し、無理のない計画をたてましょう。</p> <p>②履修申告期間にユニパを用いてWebから履修申告（入力）</p> <p> 履修申告時に気を付けることは？</p> <p>参照) → 第2部 I 履修申告</p> <p>③重複履修を希望する場合は所定の手続き期間に教養教育事務室で手続き</p> <p>参照) → 第2部 I 1.3 (2) 授業科目の重複履修</p>
授業1週目	<p>④第1回目授業に出席。</p> <p> 1回目の授業はどこに行けばいいの？</p> <p>教養教育学生掲示板・モバイル情報案内システムで特別な指示・教室変更がないか確認。</p> <p>参照) → 第2部 II 1. 学生への連絡方法</p> <p>特別な指示・教室変更がなければ、「教養教育授業科目時間割表」に記載された教室へ。</p> <p>参照) → 第2部 II 2. (3) 教室</p>
履修科目週目修正期間	<p>⑤ユニパを用いてWebから学生時間割表（履修申告結果）を確認・修正</p> <p> 修正することがなければ、ユニパは見なくてもいい？</p> <p>必ずユニパで学生時間割表を確認してください。自分では履修申告をしたつもりでも、うまく登録ができていないことがあります。自分では修正したつもりでも、うまく修正できていないこともあります。ここで登録ミスに気がつかなければ、授業をちゃんと受けていても成績（単位）がもらえなくなります。修正後は、再度ユニパにアクセスし、自分の時間割表を確認しましょう。</p> <p>参照) → 第2部 I 4. 履修申告の確認・修正</p> <p>⑥履修申告完了・履修確定</p>

「履修案内」（この冊子）・教養教育学生掲示板・モバ情・ユニパをしっかりと確認！！

注 意

教養教育に関する連絡、案内はすべて、下記による方法でお知らせします。学生の皆さんは、毎日必ず1回は、掲示板を見る習慣をつけてください。うっかり掲示を見落としたために思わぬ不利益をこうむることがありますので、くれぐれも注意してください。

①教養教育学生掲示板

教養教育には、学生用掲示板が設置されています。履修等に関する重要な伝達・連絡事項は教養教育学生掲示板によっておこないます。

②モバイル情報案内システム

Web上のモバイル情報案内システムでは、休講、補講、特別講義、各種お知らせ等の情報を提示します。

この『履修案内』の記載内容について不明な点があれば、いつでもこの冊子を持参のうえ、教養教育事務室で尋ねてください。

三重大学の授業時間

1・2限	(2 時 間)	8:50 ~ 10:20
3・4限	(〃)	10:30 ~ 12:00
5・6限	(〃)	13:00 ~ 14:30
7・8限	(〃)	14:40 ~ 16:10
9・10限	(〃)	16:20 ~ 17:50
11・12限	(〃)	18:00 ~ 19:30 (補講期間・一部の授業のみ)

(注) 行事予定表中の補講期間には、6コマ目(11・12限)に補講があります。この期間中は、アルバイト、クラブ活動等の予定を入れないようにしてください。

目 次

三重大大学の教養教育が目指していること	4
第1部 教養教育科目について	6
I 理念・目的	6
II 科目の分類と位置づけ	6
1. 教養基盤科目	7
(1) アクティブ・ラーニング	7
(2) 外国語教育	7
(3) 異文化理解	7
(4) 健康科学	7
2. 教養統合科目	7
(1) 地域理解・日本理解	7
(2) 国際理解・現代社会理解	8
(3) 現代科学理解	8
※教養基盤科目「キャリア教育領域科目」について	8
※教養基盤科目「基礎教育領域科目」について	8
第2部 履修申告から単位認定まで	9
I 履修申告	9
1. 履修申告について	9
1. 1 準備すべきもの	9
1. 2 理解すべき事項	10
1. 3 履修申告上の注意【重要】	10
(1) 単位認定される授業科目	10
(2) 授業科目の重複履修	10
(3) 授業コード	10
(4) クラス指定科目	11
(5) クラス指定をしない科目	11
(6) 外国語教育	11
①外国語教育領域科目（英語）の履修	11
②「英語Ⅰ」の授業科目	12
③「英語Ⅰ」の履修登録	12
④「英語Ⅰ TOEIC」の履修、成績評価・単位認定に関する注意事項	13
⑤「英語Ⅱ発展」	14
⑥「英語特別プログラム」	14
⑦「英語Ⅰ」の再履修	15
⑧編入および休学の場合の「英語Ⅰ」履修	16
⑨「英語履修相談」	16
(7) 異文化理解	16
①学習の目的および履修が必要な単位数	16
②1年次の履修（共通カリキュラム）	16
③異文化理解領域科目の8単位履修	18
④発展科目「異文化理解Ⅱ」「異文化理解Ⅲ」	18
⑤目的別カリキュラムにおける異文化理解領域科目の履修	18
⑥履修相談	20
(8) 健康科学	20
①スポーツ健康科学	20
②スポーツ健康科学概論	21

(9) 基礎教育	21
2. 履修申告の入力	21
3. 履修申告の期間	22
4. 履修申告の確認・修正	22
II 授業	24
1. 学生への連絡方法	24
(1) 掲示板	24
(2) 学生メール	24
2. 平常授業	24
(1) 学期	24
(2) 授業時間	24
(3) 教室	25
3. 休講措置	25
(1) 特別警報・警報発表時等の場合	25
(2) その他、自然災害・交通機関のストライキなどの場合	25
4. 欠席	25
5. 補講【重要】	25
6. 「英語 I TOEIC」集中再履修クラス	25
III 単位認定	26
1. 試験・レポート	26
(1) 定期試験	26
(2) 追試験	26
2. 成績	27
3. 成績照会	27
IV 教養教育に関する事項の問い合わせ先	27
第3部 教養教育科目関係資料	28
I 教養教育校舎・教室配置図	28
II 教養教育授業科目一覧	32
III 開講授業一覧	35
IV クラス指定リスト	45
V 異文化理解領域科目（ドイツ語・フランス語・中国語）における検定試験の利用	71
VI 学部・学科の履修単位表（2018（平成30）年度入学者適用）	74
1. 人文学部	74
2. 教育学部	76
3. 医学部	78
4. 工学部	80
5. 生物資源学部	86

三重大大学の教養教育が目指していること

教養教育院長 綾野誠紀

「この授業は何の役に立ちますか？」留学生から、授業中に訊かれたことがあります。多くの犠牲を払って、わざわざ三重までやってきて勉強している留学生です。受講している授業が何の役に立つのかは、とても重要な問題です。とはいえ、大学での学び(=学問)が何の役に立つかという問いに、簡単に答えることはできません。しかし、何を目指して授業をしているのか、という質問には、大学教員として答える義務があります。そこで、三重大大学の「教養教育」が目指していること、そして、その実現の為にどのような授業を用意しているのか、少しお話ししたいと思います。

三重大大学の教養教育では、「**自律的・能動的学修力の育成**」と「**グローバル化に対応できる人材の育成**」を目指しています。大学での学びには、自ら学ぶことが求められています。これから学部、さらには大学院の専門分野で、また社会に出てから、様々な問題を解決する為には、自ら学び、適切な判断をしつつ、解決への道筋を立てて取り組むしかありません。個人ではなく、チームで取り組むこともあるでしょう。コミュニケーションをうまくとりながら、他の人とも連携しつつ、進まなければなりません。さらに、国境を越えた人々とのつながりや情報のやりとりは、今後さらに加速することが予想されます。そのような時代に対応できるような力の基礎を教養教育で身につけてもらいたいと考え、次のような授業を行っています。

「**自律的・能動的学修力の育成**」のために、「**アクティブ・ラーニング領域**」の「**スタートアップセミナー**」と「**教養ワークショップ**」を用意しています。いずれも必修科目で、グループによる協同学習を取り入れています。また、自ら学び、問題解決の道を切り開いていく為には、心身の健康を管理できなければなりません。そのために、「**健康科学**」も必修科目にしています。

「**グローバル化に対応する**」ために、「**外国語教育**」の英語を集中的に学びます。しかし、英語ができるだけでは不十分です。英語以外の言語や、その文化・社会について「**異文化理解**」で学び、さらには、教養統合科目を通して、多様な価値観や幅広い知識を得ることにより、自分の価値観を相対化することができ、ひいては、このグローバルな時代を柔軟に生きていく力が身につくでしょう。なお、英語の授業だけではなく、他の教養教育の授業も英語で受講し、1年次の春休みにイギリスのシェフィールド大学での3週間の研修に参加することができる「**英語特別プログラム**」も用意しています。

以上の授業の他に、「**キャリア教育**」には大学卒業後のキャリアを見据えた科目が用意されています。また、各学部・学科が指定し、主に専門分野の基礎力を身につける「**基礎教育科目**」もあります。

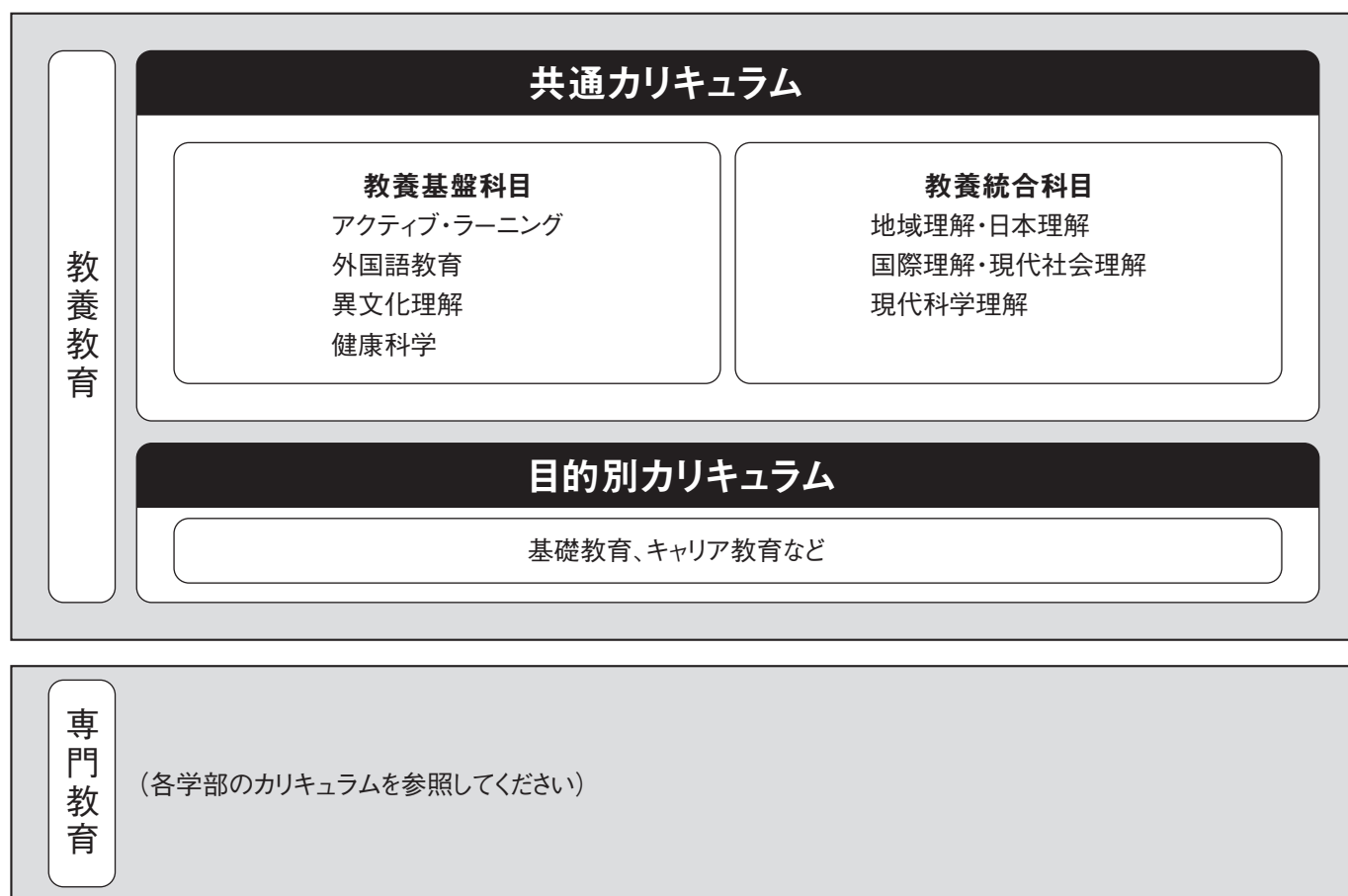
何のために教養教育の授業をしているのか、お分かりいただけでしょうか。

最後に、大学は、教員と学生が学び合う場です。授業も教員と学生が共に作り上げていくものです。より良い授業にするために教員、事務職員一丸となって努力しますが、学生のみなさんも是非、積極的に授業に取り組んでください。そうすることにより、大学の授業がより活性化し、皆さんが得ることもより多くなると確信しています。それでは教養教育の教室でお会いしましょう。

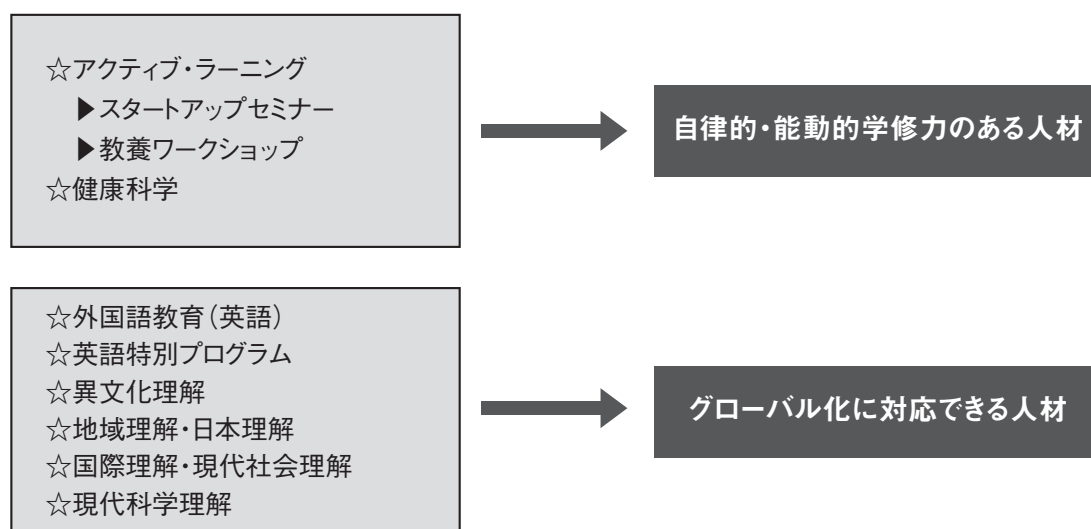
毎月「**教養教育院長だより**」で教養教育の話題を提供しています。

http://www.ars.mie-u.ac.jp/director_blog/

三重大学カリキュラムの概要



教養教育カリキュラムと教育理念



第1部 教養教育科目について

I 理念・目的

所属する学部・学科に拘らず、三重大大学の全学生は、次の2つの理念に基づく教養教育「共通カリキュラム」を履修します。

「自律的・能動的学修力の育成」

単に知識だけを持っていても常に変動する社会に対応することはできません。自律的・能動的に学ぶ習慣を身につけ、それを基盤に主体的に問題を発見し解を見いだしていく力が必要です。これにより不測の事態にも対応できる社会人の養成を目指します。

「グローバル化に対応できる人材の育成」

国際社会で活躍できる人材、グローバルな視点で地域を活性化できる人材の育成を目指します。ただし、真にグローバルな人材とは、外国語ができるだけでなく、世界的視野で物事を考えるとともに、多様な個別文化も尊重し、理解できる眼を持つ人材です。それによって自らの社会や文化も相対化することができ、地域に根ざすグローバルな人材となりえるからです。

以上の理念に基づく「共通カリキュラム」の他に、各学部・学科の理念・目的に応じた「目的別カリキュラム」も履修します。

II 科目の分類と位置づけ

全学生が履修する「共通カリキュラム」の概要は次の表のとおりです。「共通カリキュラム」の履修科目は大きく、教養基盤科目と教養統合科目に分類されます。以下、各分類の中の領域について説明します。

共通カリキュラム

分類	領域	科目群	単位数	
教養基盤科目	アクティブ・ラーニング	スタートアップセミナー	2	
		教養ワークショップ	2	
	外国語教育	英語	6	
	異文化理解	異文化理解基礎	2	
		異文化理解演習	2	
健康科学	スポーツ健康科学	2		
教養統合科目	地域理解・日本理解		2	2
	国際理解・現代社会理解		4	
	現代科学理解		2	
合計			26	

1. 教養基盤科目

(1) アクティブ・ラーニング

1年次前期の必修科目である「スタートアップセミナー」では、4つの力（感じる力、考える力、コミュニケーション力、生きる力）の育成を目指します。さらに、1年次後期では、「教養ワークショップ」を履修します。「スタートアップセミナー」は「聞く」「話す」能力の育成に中心を置き、探究活動とプレゼンテーションをグループで行います。「教養ワークショップ」は「読む」「書く」能力の育成のため、学生が自分で書籍を読んで書評を書き、お互いに批評し合う授業を行います。このような少人数のセミナーを、年間を通して履修することにより、自律的・能動的学修力の育成を行うことができます。

(2) 外国語教育

外国語教育の科目は英語です。自律的な学修を推進するため、また、グローバル化に対応した人材を育成するため、1年次前期に集中して英語を学習します。英語力の指標としては、TOEIC（Test of English for International Communication 以下、TOEIC）を用います。

また、入学時の TOEIC IP テストの成績上位の学生のために「英語特別プログラム」を置きます。英語の授業の他に、「スタートアップセミナー」、「教養ワークショップ」、「教養統合科目」の定められた授業も英語で受講し、短期海外研修に参加・修了することにより、英語特別プログラム修了証書が授与されます。

(3) 異文化理解

多様な文化を理解するグローバル人材育成のため、異文化理解の科目を履修します。異文化理解では、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語のいずれかの言語を手段として、その言語が使用される文化圏の文化、歴史、生活等を理解することを目的とします。

(4) 健康科学

自律的・能動的学修力の基盤とするため健康科学を共通カリキュラムに位置づけます。スポーツ実践を通して他者との豊かなコミュニケーションを図るとともに、スポーツ科学や健康科学の知見に基づいて、健康的な生活ができる自己管理能力を育成します。

2. 教養統合科目

前述した教養教育の2つの理念の中でも、「グローバル化に対応できる人材の育成」という理念を基に、多岐に亘る内容の教養教育の授業を、以下の3理解領域に区分します。「共通カリキュラム」では、それぞれの理解領域から所定の単位数の授業を履修することにより、三重大学の教養教育の理念に基づく教養力を身に付けます。

(1) 地域理解・日本理解

地域に根ざし国際社会で活躍できる人材の育成のため、地域を理解し、それを地域において活用することを目指す科目、それに基づき、バランスのとれた国際人となるよう日本を理解する科目を履修します。これらを国際理解、異文化理解のための科目と併せて履修することにより、自らの文化、視点を相対化することが可能となります。

(2) 国際理解・現代社会理解

今後の複雑な国際社会に対応できる人材を育成するため、東西の歴史や思想、政治・経済・社会のしくみ、現代の国際情勢などを学ぶ科目を国際理解・現代社会理解として履修します。

(3) 現代科学理解

国際的に活躍するため、あるいは、国際社会を理解するために必要な情報科学、環境とエネルギー、生命科学などさまざまな科学的問題の基本的知識とそれらについて合理的・科学的に考える力を育成します。

※教養基盤科目「キャリア教育領域科目」について

全学生が履修する「共通カリキュラム」とは異なり、所属する学部・学科によって履修科目が異なる「目的別カリキュラム」に位置づけられます。

キャリア教育の科目を履修することにより、学生自らが人生の在り方を考え、また、それを将来の職業、そして生活へと結びつけていくことを可能にすることを目指します。

※教養基盤科目「基礎教育領域科目」について

全学生が履修する「共通カリキュラム」とは異なり、所属する学部・学科によって履修科目が異なる「目的別カリキュラム」に位置づけられます。専門分野の基礎的な知識を育成する科目です。情報科学、数学、統計学、物理学、化学、生物学、地学の専門分野における、基礎知識として必要と見なされる内容について学びます。

第2部 履修申告から単位認定まで

【最重要】

授業科目を履修するためには、まず履修申告を行わなければなりません。この手続きを間違ったり、怠ったりすると、授業を受けても単位認定されません。

同じ授業科目を2回以上履修し、単位を修得しても、卒業要件を満たす単位数として取り扱われるのは、各授業科目の1科目（1授業テーマ）の単位数のみですので、注意してください。

キャリア教育領域科目、教養統合科目では、1つの授業科目の中に、異なる授業テーマを持つ、複数の授業が開講されているものがあります。授業テーマの異なる同一授業科目を複数履修する場合、前述のとおり、卒業要件を満たす単位数として取り扱われるのは、1科目（1授業テーマ）の単位数のみであることに、特に注意してください。

→参照) 第2部 I 1. 3 (2) 授業科目の重複履修

また、日程は2018（平成30）年度のもので、2019（平成31）年度以降の日程については、各年度前期の履修申告時に配布される資料を確認してください。

I 履修申告

ここでは、どの学部においても共通の項目や手続きについて説明します。この他、所属学部で行われる履修ガイダンスでは、各学部に応じた説明・情報が付加されます。

1. 履修申告について

履修申告は単位修得をしようとする授業を受けるために、前期と後期の年2回、定められた期間に行うことが必要な手続きです。総合情報処理センター、自宅などで、インターネットに接続されたパソコンから、「UNIVERSAL PASSPORT」（通称、ユニパ）と呼ばれるシステムを用いてWeb入力を行います。

※ UNIVERSAL PASSPORT（ユニパ）とは？

ユニパは、掲示情報案内、履修登録、災害による休講情報、就職支援、健康診断結果閲覧、連絡先変更等を行うWebシステムです。このうち掲示情報参照、履修登録、災害による休講情報、就職支援、連絡先変更については、学外からでもアクセス可能です。

UNIVERSAL PASSPORT ログイン画面 URL

<https://unipa.mie-u.ac.jp/>

1. 1 準備すべきもの

〈三重大学教養教育院からの配布物〉

- ① 履修案内（この冊子）
- ② シラバス
- ③ 教養教育授業科目時間割表

〈学部からの配布物〉

- ④ 総合情報処理センター発行の「統一アカウント通知書」

⑤ 卒業要件が記載された冊子（「履修要項」、「学習要項」、「卒業資格履修単位一覧」等）

⑥ 専門教育科目の授業時間割

〈インターネットに接続されたパソコン〉

自宅・下宿に利用可能なパソコンがない場合は、学内の総合情報処理センター、附属図書館、各学部の共用施設などのパソコンを使用してください。

ユニパを利用するには、ログイン画面に掲載されている、「履修登録の手順について」および推奨ブラウザをよく確認してください。履修申告を完了したつもりでも、ユニパの扱いを誤っていると、正しく履修登録がされていないことがあります。

1. 2 理解すべき事項

- ① 自分の学籍番号 →参照) 前節 1. 1 準備すべきもの 学部からの配布物④
- ② 卒業・進級に必要な単位数 →参照) 前節 1. 1 準備すべきもの 学部からの配布物⑤
- ③ 教養教育科目の分類 →参照) 第 1 部 教養教育科目について
- ④ 教養教育の履修単位 →参照) 第 3 部 VI 学部・学科の履修単位表
- ⑤ 履修申告上の注意 →参照) 次節 1. 3 履修申告上の注意 **【重要】**

1. 3 履修申告上の注意 **【重要】**

(1) 単位認定される授業科目

第 3 部 II 教養教育授業科目一覧に記載されている授業科目が単位認定され、成績通知書等に記載されます。

→参照) 第 3 部 II 教養教育授業科目一覧

同じ授業科目を 2 回以上履修し、単位を修得しても、卒業要件を満たす単位数として取り扱われるのは、各授業科目の 1 科目（1 授業テーマ）の単位数のみですので、注意してください。ただし、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「異文化理解Ⅱ」については、同じ授業科目を 2 回以上履修し、単位を修得した場合、2 単位まで卒業を満たす単位数として取り扱われます。

キャリア教育領域科目、教養統合科目では、1 つの授業科目の中に、異なる授業テーマを持つ、複数の授業が開講されているものがあります。授業テーマの異なる同一授業科目を複数履修する場合、卒業要件を満たす単位数として取り扱われるのは、1 科目（1 授業テーマ）の単位数のみであることに、特に注意してください。

→参照) 次節 (2) 授業科目の重複履修

(2) 授業科目の重複履修

同じ授業科目を 2 回以上履修し、単位を修得することを重複履修といいます。単位を修得できなかった授業科目を再度履修する場合は、再履修となり、重複履修とはなりません。

教養基盤科目のうち、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「異文化理解Ⅱ」については、通常履修申告手続きのみで、2 回（2 単位）まで重複履修が可能です。

アクティブ・ラーニング領域科目、キャリア教育領域科目、教養統合科目について重複履修を希望する場合は、所定の手続き期間に、教養教育事務室において別途手続きをしてください。

重複履修をした授業科目の単位認定については、前述の通りです。

→参照) 前節 (1) 単位認定される授業科目

(3) 授業コード

「教養教育授業科目時間割表」にはアルファベット L と 4 ケタの数字からなる「授業コード」

が記入してあります。同一時限、同一教員の授業でも、領域・科目名が違えば別の授業コードになりますから履修申告の際には、自分が選択した授業の「授業コード」をよく確認してください。

(4) クラス指定科目

アクティブ・ラーニング領域科目、外国語教育領域の一部の科目、異文化理解領域の一部の科目、健康科学領域科目、基礎教育領域科目は、所属学部・学科・学籍番号等で、受講する時限やクラスが指定されています。

健康科学領域科目（スポーツ健康科学）の受講時限も、学部・学科等によりクラスが指定されています。第1回目の授業時に、第一体育館で履修ガイダンスが行われますので、その説明を受けてください。

クラス指定科目に関する情報は、第3部Ⅳ クラス指定リストを参照してください。

(5) クラス指定をしない科目

外国語教育領域の一部の科目、異文化理解領域の一部の科目、キャリア教育領域科目、教養統合科目は、各自の希望する時限で自由に履修することができます。

履修申告をしたクラス指定をしない科目の履修については、第1回目の授業に出席して授業内容を確認したうえで、履修するかどうかを決定してください。

なお、クラス指定をしない科目では、授業内容や、教室の収容人数等の事情で、授業担当教員が履修者数を制限する、「受講人数調整」を行うことがあります。「受講人数調整」を行った授業については、「受講人数調整結果」を、モバイル情報案内システムおよび教養教育学生掲示板に掲示します。また、最新の「受講人数調整」等に関する詳細な情報については、直接、授業担当教員に確認するようにしてください。

→参照) 第2部Ⅱ1. 学生への連絡方法

(6) 外国語教育

①外国語教育領域科目（英語）の履修

1年次4月に行うTOEIC IPテストの成績により、履修方法が大きく2つに分かれます。

▶1年次4月のTOEIC IPテストが600点未満の場合

必修科目：英語6単位

1年次前期	1年次後期
英語Ⅰ大学基礎（1単位）	英語Ⅰ大学基礎（1単位）
英語Ⅰコミュニケーション（1単位）	英語Ⅰコミュニケーション（1単位）
英語ⅠTOEIC 火曜クラス（1単位）	
英語ⅠTOEIC 木曜クラス（1単位）	

▶ 1年次4月のTOEIC IPテストが600点以上の場合

必修科目：「英語 I TOEIC」の2単位は認定されますので、以下の4単位が必修となります。

1年次前期	1年次後期
英語 I 大学基礎 (1単位)	英語 I 大学基礎 (1単位)
英語 I コミュニケーション (1単位)	英語 I コミュニケーション (1単位)

(A) 「英語 I TOEIC」の2単位は4月 TOEIC IP テスト 600 点以上により評価点 10 で認定されます。「英語 I」の他の科目 (必修 4 単位) については、所定のクラスで受講してください。

「英語 II 発展」(中・上級の自由選択科目) を履修することができます。さらなる英語力向上のために是非履修してください。

(B) 英語力を集中的に伸ばしたい学生には、以下の「英語特別プログラム」が用意されています。
英語特別プログラム

「英語 II 発展」のほか、英語のネイティブスピーカーによるアクティブ・ラーニング領域科目や教養統合科目の単位を修得し、1年次の春休みに、短期海外研修を修了することにより、「英語特別プログラム」の修了証書が授与されます。

※ 「英語特別プログラム」の詳細については、以下の⑥節を参照してください。

② 「英語 I」の授業科目

「英語 I」は全学部必修で、「英語 I 大学基礎」「英語 I コミュニケーション」「英語 I TOEIC」の3種類の授業科目があります。各科目の授業の詳細については、シラバスを参照してください。

(A) 「英語 I 大学基礎」(リーディング力を伸ばす科目)

(B) 「英語 I コミュニケーション」(コミュニケーション力を伸ばす科目)

(C) 「英語 I TOEIC」総合的な英語力を身に付け、TOEICにおいて高得点を目指す科目

※ 「英語 I TOEIC」の履修や単位認定に関する注意事項については以下の④節を参照してください。

③ 「英語 I」の履修登録

● 自動登録

「英語 I」の各授業科目は、1年次4月に実施する TOEIC IP テストの結果に基づきクラス編成を行い、前期・後期ともに、全て自動で履修登録されます。従って、履修申告の必要はありません。

● 「英語 I」の前期第1回目の授業(仮クラス)と第2回目以降の授業

「英語 I」の前期第1回目の授業は全て「仮クラス」で行われます。教養教育学生掲示板に掲示される英語仮クラス一覧表を確認し、指定されたクラスで授業を受けてください。第2回目の授業より、上記の1年次4月実施の TOEIC IP テストの結果に基づいたクラス編成となります。クラス分けは掲示により4月17日(火)(午後1時を予定)に発表されます。各自必ず確認してください。なお、後期の「英語 I 大学基礎」「英語 I コミュニケーション」のクラス編成もこの前期のクラス編成がそのまま適用されます。

④「英語 I TOEIC」の履修、成績評価・単位認定に関する注意事項

●履修について

1 年次前期に集中して学習し、火曜と木曜の週 2 回授業を行います。詳細については、第 1 回目の授業時に説明します。

●成績評価・単位認定について

「英語 I TOEIC」の単位認定は、各授業の評価および 1 年次 7 月に実施する TOEIC IP テストのスコアに基づきます。認定される単位数は、(C) に示すとおりです。

(A) 各授業の評価	不合格 or 合格
(B) TOEIC IP テスト (1 年次 7 月実施) のスコア	400 点未満 or 400 点以上
(C) 認定される単位数	授業の評価と TOEIC IP テストの組み合わせ
2 単位認定 *	2 つの授業の合格 + 400 点以上
1 単位認定 **	1 つの授業のみの合格 + 400 点以上
1 単位認定 ***	2 つの授業の合格 + 400 点未満
認定単位なし	上記以外の組み合わせ

* 2 単位認定の場合の評価点：評価点 7 以上で 2 単位認定されます。400 点から 40 点刻みで評価点が 1 つ上がります。(400 点→7、440 点→8、480 点→9、520 点→10)

** 1 単位認定の場合の評価点：評価点 7 以上で 1 単位認定されます。400 点から 40 点刻みで評価点が 1 つ上がります。(400 点→7、440 点→8、480 点→9、520 点→10)

*** 1 単位認定の場合の評価点：評価点 6 で 1 単位認定されます。ただし、TOEIC IP テストを受験しなかった場合、単位は認定されません。

※なお、1 年次 4 月の TOEIC IP テスト同様、1 年次 7 月以降の TOEIC IP テストで 600 点以上取得の場合には、授業の評価とは関係なく、「英語 I TOEIC」の未修得単位が評価点 10 で認定されます。

※重要：三重大学内では、教養教育が実施する TOEIC IP テストの他に、三重大学生協会の TOEIC IP テスト、国際ビジネスコミュニケーション協会の TOEIC 公式テストが実施されています。「英語 I TOEIC」の単位認定には、教養教育の行事予定表に記載されている、教養教育が実施する TOEIC IP テストのみが有効です。

⑤ 「英語Ⅱ 発展」

● 「英語Ⅱ 発展」は自由選択科目で、以下のいずれかの学生が受講できます。

(A) 1年次4月の TOEIC IP テスト及び7月以降の TOEIC IP テストで 600 点以上を取得した学生

(B) 「英語Ⅰ TOEIC」2 単位を修得済みの学生

● 「英語Ⅱ 発展」には以下の科目があり、それぞれ週1回の授業で、1学期で1単位が認定されます。授業の詳しい内容はシラバスを参照してください。

授業科目名	内容
英語Ⅱ 発展 Aa	プレゼンテーション
英語Ⅱ 発展 Ab	プレゼンテーション
英語Ⅱ 発展 B	リーディング&ディスカッション
英語Ⅱ 発展 C	ライティング
英語Ⅱ 発展 D	ビジネスイングリッシュ
英語Ⅱ 発展 E	TOEIC 受験対策

※同じ授業科目について2回（2単位）まで単位を修得することができます。ただし、同一学期に同じ授業を2単位分履修する場合には、必ず担当教員の異なる授業を履修してください。

⑥ 「英語特別プログラム」

1年次4月の TOEIC IP テストで 600 点以上を取得した学生は、「英語特別プログラム」を履修することができます。是非、積極的に参加してください。詳細については、1年次4月に実施される英語特別プログラム履修希望者向けガイダンス及び「英語特別プログラム案内」にて説明します。1年次に以下のスケジュールで履修します。

英語特別プログラム・年間スケジュール

	1年次前期	1年次後期	1年次春休み	2年次4月
アクティブ・ラーニング領域科目	スタートアップセミナー【英語】	教養ワークショップ【英語】	短期海外研修	TOEIC IPテスト受験
外国語教育領域科目	英語ⅠTOEIC 英語Ⅰ大学基礎 英語Ⅰコミュニケーション	英語Ⅰ大学基礎 英語Ⅰコミュニケーション		
	英語Ⅱ発展			
教養統合科目	教養統合科目【英語】			

上記のスケジュール中の履修科目等に関する詳細は、以下の通りです。

(A) アクティブ・ラーニング領域科目（計2単位 [(i) か (ii) のいずれか1科目]）

(i) スタートアップセミナー 【英語】 *

(ii) 教養ワークショップ 【英語】

(B) 外国語教育領域科目（計10単位）

(i) 必修科目 計6単位 **

(ii) 選択科目（「英語Ⅱ 発展」）計4単位 ***

(C) 教養統合科目（英語による開講科目）（計2単位）

(D) 短期海外研修：1年次春休みに実施する短期海外研修への参加・修了

(E) 2年次4月の TOEIC IP テストの受験

※英語特別プログラム修了要件について

【英語特別プログラム修了】

(A)～(E) のすべての要件を満たすと、英語特別プログラム修了証書が授与され、「英語特別プログラム単位修得」、「英語特別プログラム海外研修」と成績証明書にも記載されます。

【英語特別プログラム単位修得】

(D) の短期海外研修を除く全ての要件を満たすと、「英語特別プログラム単位修得」として成績証明書に記載します。

《注意事項》

- * 人文学部文化学科の学生が、スタートアップセミナー【英語】を受講する場合には、人文学部の教員が担当するスタートアップセミナーとの重複履修を必ず行ってください。重複履修の手続きについては、本履修案内の第2部 I 1. 3 (2) 授業科目の重複履修を参照してください。
- ** 「英語 I TOEIC」の認定2単位を含みます。
- *** 「英語 II 発展」の4単位は、人文学部文化学科の学生を除き、異文化理解領域科目の必修4単位として置き換えます。この単位置き換えは、上記2種類の英語特別プログラムの修了要件のいずれかを満たした場合のみに行われます。

⑦ 「英語 I」の再履修

● 「英語 I TOEIC」集中再履修クラス

「英語 I TOEIC」2単位を未修得（1単位修得もしくは単位修得なし）の場合は、「英語 I TOEIC」集中再履修クラスを履修してください。1年次9月実施の「英語 I TOEIC」集中再履修クラスから履修できます。

(A) 評価について

「英語 I TOEIC」集中再履修クラスの評価は、授業の合格と授業直後の TOEIC IP テストの結果によります。集中再履修クラスの授業に合格し、授業直後の TOEIC IP テストのスコアが400点未満の場合は評価点6、400点以上の場合は、評価点7以上で1単位が認定されます。(400点→7、440点→8、480点→9、520点→10)
600点以上の場合、「英語 I TOEIC」の未修得単位（1単位もしくは2単位）が評価点10で認定されます。

(B) 開講時期について

「英語 I TOEIC」集中再履修クラスは、9月及び3月に開講します。9月の授業の TOEIC IP テストは9月に実施し、3月の授業の TOEIC IP テストは翌年度4月に実施します（新入生用の4月 TOEIC IP テスト）。

開講時期：9月10日（月）～13日（木） 9月14日（金）（TOEIC IP テスト）

3月4日（月）～7日（木） TOEIC IP テストは翌年度4月に実施

(C) 集中再履修クラスによる単位認定の時期について

9月の集中再履修クラスと直後の TOEIC IP テストによる単位は後期の単位として認定されます。また3月の集中再履修クラスと翌年度4月の TOEIC IP テストによる単位は翌年度前期の単位として認定されます。

(D) 履修登録について

集中再履修クラスについてはユニパによる履修登録は必要ありません。

● 「英語Ⅰ 大学基礎」、 「英語Ⅰ コミュニケーション」 の再履修

2年次以降に再履修クラスを履修してください。

⑧編入および休学の場合の「英語Ⅰ」履修

「英語Ⅰ」を履修しようとする年度に配布される、前年度以前入学者対象の履修案内の外国語教育の当該箇所を参照してください。

⑨「英語履修相談」

●前期・後期ともに、履修申告時に「英語履修相談」を行います。英語の履修に関して質問がある場合は、相談に来てください。

●「英語履修相談」の日時・場所については、教養教育学生掲示板（および教養教育院のウェブサイト）に掲示しますので、確認してください。

(7) 異文化理解

①学習の目的および履修が必要な単位数

(A) 学習の目的

異文化理解領域科目は、以下の7種類のうちのいずれかの言語を学びながら、その言語が使用される文化圏の文化・歴史・生活等を理解することを目的とします。

- ①ドイツ語 ②フランス語 ③中国語 ④朝鮮語
⑤ロシア語 ⑥スペイン語 ⑦ポルトガル語

(B) 履修が必要な単位数

(a) 異文化理解領域科目に関しては、どの学部・学科に所属する学生も、上記の中から1言語を選び、計4単位を履修してください。詳しくは、以下の②を確認してください。

(b) ただし、人文学部文化学科に所属する学生に関しては、異文化理解領域科目を計8単位履修してください。詳しくは、以下の③を確認してください。

(C) 履修上の注意

上記の選択に際し、学生の母語を対象とした異文化理解領域科目を履修することはできません。また、母語以外であっても、入学前に生活上で主に使用していた言語や、在籍していた学校での主要な授業言語などは履修できませんので、注意してください。

②1年次の履修（共通カリキュラム）

(A) 1年次には、上記の中から言語を1つ選び、その言語について「異文化理解Ⅰ基礎」「異文化理解Ⅰ演習」の2種類の科目を前期・後期ともに履修してください。各授業の目標は、以下の通りです。

(a) 異文化理解Ⅰ基礎

それぞれの言語が使用されている文化圏の様々な側面を理解するために必要となる、各言語の基礎知識（文法・語彙など）を学びます。

(b) 異文化理解Ⅰ演習

それぞれの言語が使用されている文化圏の文化・歴史・生活等について、言語表現を学びながら理解します。

(B) 「異文化理解Ⅰ基礎」「異文化理解Ⅰ演習」は各1単位で、以下の合計4単位が必修です。

前期	異文化理解Ⅰ基礎(〇〇語)a	異文化理解Ⅰ演習(〇〇語)a
後期	異文化理解Ⅰ基礎(〇〇語)b	異文化理解Ⅰ演習(〇〇語)b

(C) 「異文化理解 I 基礎・演習（ドイツ語）」

- (a) 「異文化理解 I 基礎・演習（ドイツ語）」については、以下のように、ドイツ語 A・ドイツ語 B の 2 つの選択肢があります。合計 4 単位の全てに関して、以下のように、ドイツ語 A かドイツ語 B のいずれかを統一的に履修してください。

選択肢①

前期	異文化理解 I 基礎(ドイツ語A)a	異文化理解 I 演習(ドイツ語A)a
後期	異文化理解 I 基礎(ドイツ語A)b	異文化理解 I 演習(ドイツ語A)b

選択肢②

前期	異文化理解 I 基礎(ドイツ語B)a	異文化理解 I 演習(ドイツ語B)a
後期	異文化理解 I 基礎(ドイツ語B)b	異文化理解 I 演習(ドイツ語B)b

- (b) 各授業の目標は、以下の通りです。

(i) 異文化理解 I 基礎・演習（ドイツ語 A）

ドイツ語の初歩を総合的に学習することを通して、ドイツ・オーストリア・スイスの文化・歴史・生活などを学びます。

(ii) 異文化理解 I 基礎・演習（ドイツ語 B）

ドイツ語の会話の学習を通して、ドイツ・オーストリア・スイスの文化・歴史・生活などを学びます。

(D) 時間割上の「クラス指定」

- (a) 「学部指定」のある科目：ドイツ語・フランス語・中国語

ドイツ語・フランス語・中国語の「異文化理解 I 基礎」「異文化理解 I 演習」には、時間割上の「学部指定」があります。

→参照) 第 3 部 IV クラス指定リスト

- (b) 「学部指定」のない科目：朝鮮語・ロシア語・スペイン語・ポルトガル語

これらの言語の「異文化理解 I 基礎」「異文化理解 I 演習」には、「学部指定」がありませんので、各自の時間割の都合に合わせて開講時間帯を選んで履修することができます。クラス指定のある他の授業と重ならない開講時間帯を選んで履修してください。

(E) 「異文化理解 I 基礎・演習」の受講人数制限

- (a) 「異文化理解 I 基礎・演習」の各クラスは、履修希望人数が多い場合には、人数調整を行います。必ず調整結果を確認してください。

- (b) 「異文化理解 I 基礎・演習（ドイツ語 B）」については、授業内容の関係上、上限 20 名程度に制限されます。

(F) 「異文化理解 I 基礎・演習」「異文化理解 II 総合・演習」における検定試験の活用

「異文化理解 I 基礎・演習」（ドイツ語・フランス語・中国語）に関しては、入学後、検定試験を受験し、一定の条件に達した場合、その成果を成績に反映できる制度があります。「異文化理解 II 総合・演習」についても同様の制度があります。詳細については、第 3 部 V 異文化理解領域科目（ドイツ語・フランス語・中国語）における検定試験の利用を参照してください。

③異文化理解領域科目の8単位履修

(A) 人文学部文化学科では、異文化理解領域科目を必修科目として合計8単位履修してください。
履修方法については、以下の2つのうちのいずれかの方法で履修してください。

- (a) 1年次に選択した言語と同じ言語について、「異文化理解Ⅱ総合」「異文化理解Ⅱ演習」の2種類の科目を前期・後期ともに履修する。(授業は各1単位です。)

例	前期	後期
1年次	異文化理解Ⅰ基礎(フランス語)a	異文化理解Ⅰ基礎(フランス語)b
	異文化理解Ⅰ演習(フランス語)a	異文化理解Ⅰ演習(フランス語)b
2年次	異文化理解Ⅱ総合(フランス語)	異文化理解Ⅱ総合(フランス語)
	異文化理解Ⅱ演習(フランス語)	異文化理解Ⅱ演習(フランス語)

- (b) 7種類の言語の中から2つを選び、「異文化理解Ⅰ基礎・演習」をその2つの言語について履修する。

例	前期	後期
1年次	異文化理解Ⅰ基礎(中国語)a	異文化理解Ⅰ基礎(中国語)b
	異文化理解Ⅰ演習(中国語)a	異文化理解Ⅰ演習(中国語)b
2年次	異文化理解Ⅰ基礎(スペイン語)a	異文化理解Ⅰ基礎(スペイン語)b
	異文化理解Ⅰ演習(スペイン語)a	異文化理解Ⅰ演習(スペイン語)b

(B) ドイツ語の異文化理解領域科目を8単位履修する場合：

- (a) 「異文化理解Ⅱ総合・演習(ドイツ語)」については、ドイツ語A・ドイツ語Bの2つの選択肢があります。1年次に「異文化理解Ⅰ基礎・演習」においてドイツ語Aを選択した場合には「異文化理解Ⅱ総合・演習」においてもドイツ語Aを、1年次に「異文化理解Ⅰ基礎・演習」においてドイツ語Bを選択した場合には「異文化理解Ⅱ総合・演習」においてもドイツ語Bを選択して履修してください。
- (b) ドイツ語A・ドイツ語Bの授業内容の違いに関しては、上記②(C)(b)を確認してください。

④発展科目「異文化理解Ⅱ」「異文化理解Ⅲ」

(A) 「異文化理解Ⅰ基礎・演習」の発展科目として、ドイツ語・フランス語・中国語に関しては以下の科目が開講されています。

- (a) 「異文化理解Ⅱ総合(ドイツ語A/B・フランス語・中国語)」
「異文化理解Ⅱ演習(ドイツ語A/B・フランス語・中国語)」
- (b) 「異文化理解Ⅲ応用(中国語A/B)」

(B) 「異文化理解Ⅱ総合・演習」については、2単位まで重複履修(同一科目の履修)が可能です。

(C) 学部・学科によっては、これらの授業を、目的別カリキュラムの履修必要単位の一部として履修することができます。第3部Ⅵ学部・学科の履修単位表を確認し、以下の⑤にしたがって履修してください。(人文学部文化学科の学生は、上記③も確認してください。)

⑤目的別カリキュラムにおける異文化理解領域科目の履修

共通カリキュラムでの「異文化理解Ⅰ基礎」「異文化理解Ⅰ演習」の履修に加え、目的別カリキュラムにおいても異文化理解領域科目を選択単位として履修する場合には、原則として以

下の通り履修してください。(人文学部文化学科では、③にある通り、異文化理解領域科目 8 単位が必修です。)

(A) 共通カリキュラムで履修した「異文化理解 I 基礎・演習」と同じ言語を履修する場合

- (a) 1 単位のみ履修する場合：
前期に開講されている「異文化理解 II 総合」を履修してください。
- (b) 2 単位履修する場合：以下のいずれかの方法で履修してください。
 - (i) 「異文化理解 II 総合」を前期・後期通して履修。
 - (ii) 前期に開講されている「異文化理解 II 総合」および「異文化理解 II 演習」を履修。
- (c) 1～2 単位を履修するが、時間割などの制約により (a) (b) の通りに履修できない場合：
履修したい言語に該当する異文化理解領域科目の「履修相談」を受けて、履修方法を相談してください。(⑥履修相談を参照。)
- (d) 3 単位以上履修する場合：
履修したい言語に該当する異文化理解領域科目の「履修相談」を受けて、履修方法を相談してください。(⑥履修相談を参照。)

(B) 共通カリキュラムで履修した「異文化理解 I 基礎・演習」と異なった言語を履修する場合

- (a) 1 単位のみ履修する場合：
「異文化理解 I 基礎 (〇〇語) a」を履修してください。
- (b) 2 単位履修する場合：以下のいずれかの方法で履修してください。
 - (i) 「異文化理解 I 基礎 (〇〇語) a」および「異文化理解 I 基礎 (〇〇語) b」を履修。
 - (ii) 「異文化理解 I 基礎 (〇〇語) a」および「異文化理解 I 演習 (〇〇語) a」を履修。
- (c) 1～2 単位を履修するが、時間割などの制約により (a) (b) の通りに履修できない場合：
履修したい言語に該当する異文化理解領域科目の「履修相談」を受けて、履修方法を相談してください。(⑥履修相談を参照。)
- (d) 3 単位以上履修する場合：
履修したい言語に該当する異文化理解領域科目の「履修相談」を受けて、履修方法を相談してください。(⑥履修相談を参照。)

(C) 異文化理解領域科目 (ドイツ語) に関して

- (a) 共通カリキュラムで他言語の「異文化理解 I 基礎・演習」を履修の上、目的別カリキュラムにおいて異文化理解領域科目 (ドイツ語) を履修する場合：
 - (i) 1 単位のみ履修する場合：「異文化理解 I 基礎 (ドイツ語 A) a」を履修。
 - (ii) 2 単位履修する場合：
「異文化理解 I 基礎 (ドイツ語 A) a」と「異文化理解 I 基礎 (ドイツ語 A) b」を履修。
 - (iii) 1～2 単位を履修するが、時間割などの制約により (i) (ii) の通りに履修できない場合：
異文化理解領域科目 (ドイツ語) の「履修相談」を受けて、履修方法を相談してください。(⑥履修相談を参照。)
 - (iv) 3 単位以上履修する場合：
異文化理解領域科目 (ドイツ語) の「履修相談」を受けて、履修方法を相談してください。(⑥履修相談を参照。)
- (b) 共通カリキュラムで「異文化理解 I 基礎・演習」(ドイツ語 A あるいはドイツ語 B) を履修し、目的別カリキュラムにおいても「ドイツ語」を履修する場合：
履修したい単位数を判断した上で、ドイツ語の「履修相談」を受けてください。

⑥履修相談

履修に関してわからないことがある場合には、以下で相談を受け付けています。

(A) 異文化理解領域：ドイツ語

ドイツ語教務担当教員 菅 利恵 (riesuga@human.mie-u.ac.jp)

メールにて相談するか、メールでアポイントメントを取ってください。

(B) 異文化理解領域：フランス語

フランス語教務担当教員 山本 覚 (kakusan@human.mie-u.ac.jp)

メールにて相談するか、メールでアポイントメントを取ってください。

(C) 異文化理解領域：中国語

中国語担当教員 (湯浅) 研究室 (教養教育校舎 4 号館 4 階)

メールでも相談可能：yuasa@human.mie-u.ac.jp

(D) 異文化理解領域：その他の言語

教養教育院 異文化理解領域担当教員 赤岩 隆 (akaiwa@ars.mie-u.ac.jp)

メールにて相談するか、メールでアポイントメントを取ってください。

(8) 健康科学

①スポーツ健康科学

(A) 内容と単位認定

本授業では、スポーツ活動を実施するとともに、心身の健康について理解し自己への「気づき」を深めるために、体力テスト、心理面や生活面の調査、運動強度の測定など、自己のデータをもとに、自己の現在の状態、また授業の中での変化、授業を通しての変化を体験し、理解します。ただし、上記のすべての項目を測定すると、スポーツ活動そのものが短縮されるため、種目・担当教員によって測定の内容は異なってきます。測定の意義・意味については実習中に解説します。また、スポーツ技能の習得は、実践を通して身につくものですので、休まずに出席することが単位認定の不可欠な条件となります。その上で評価は、課題習熟度、授業態度 (積極性・協調性など)、レポートなどの観点から総合的に行います。なお、スポーツ活動の内容については、シラバスを参照してください。

(B) 履修申告

各学部学生は、在籍する学部・学科等に指定された曜日・時限の「スポーツ健康科学」を履修してください。なお、体力の著しく劣る場合や身体的障がいのために通常の授業を受講することが困難な場合は全学部対象の前期 (金) 9・10 限、後期 (金) 9・10 限に開設されている「アダプテッドスポーツ」のコースを履修してください。(履修を希望する場合は、その旨を第 1 回目の履修ガイダンス時かその前までに授業担当教員に申し出てください。)

→参照) 第 3 部 IV クラス指定リスト

「スポーツ健康科学」の履修可能単位数は、前期・後期ともに各 1 単位です。また、履修申告は、授業開始後 2 週目の「履修科目修正期間」に行います。

(a) 「スポーツ健康科学」は「スポーツ健康科学 a」と「スポーツ健康科学 b」を履修してください。

(b) 「スポーツ健康科学」の運動種目 (コース) は、第 1 回目の授業時に第一体育館に集合し、履修ガイダンスで選択し決定します。この時本人の希望を優先しますが、施設用具等の諸条件により必ずしも本人の希望どおりにならないこともあります。

- (c) 第1回目の授業に出席できなかった場合は、第2回目の授業までに教育学部1号館1階「保体・スポ健事務室」にその旨を報告し、体育カードの作成と種目決定の手続きを行ってください。

→参照) 第2部 I 2. (3)

②スポーツ健康科学概論

(A) 内容と単位認定

本授業では、健康・体力・身体活動に対する認識を深め、現代社会におけるスポーツ活動の意義や諸問題、身体のあり方等について探求します。試験やレポートに加え、授業態度を含めて総合的に評価します。なお、詳細な内容については、シラバスを参照してください。

(B) 履修申告

指定されたクラスで履修してください。履修申告については他の授業科目と同様に行ってください。

→参照) 第3部 IV クラス指定リスト

(9) 基礎教育

所属する学部・学科等によって、受講する時限やクラスが指定されています。必ず指定された時限・クラスで履修してください。

工学部において指定された基礎教育領域科目の履修については、「工学部学習要項」に記載した各学科の注意事項も確認してください。

→参照) 第3部 IV クラス指定リスト、工学部学習要項（工学部のみ）

2. 履修申告の入力

入力の手順の原則…必修科目を入力してから、その他の科目を選ぶ。

- ①必修の専門科目の授業コード、授業科目名を入力する。
- ②必修の教養教育科目の授業コード、授業科目名を入力する。
※クラス指定に注意すること
- ③空欄になっている曜日・時限にキャリア教育領域科目、教養統合科目の授業コード、授業科目名を入力する。
※授業科目選択にあたっては、領域ごとの必要単位数を考慮すること。
重複履修を希望する場合は、教養教育事務室へ申し出ること。
→参照) 第2部 I 1.3 (2) 授業科目の重複履修
学部によっては、いくつかの項目・科目が、あらかじめ入力されています。

★クラス指定のある科目に関する注意

- (1) 「英語 I」の科目は、1年次4月に実施する TOEIC IP テストの結果に基づきクラス編成を行い、前期・後期ともに、全て自動で履修登録されます。従って、履修申告の必要はありません。

→参照) 第2部 I 1.3 (7) 外国語教育

- (2) 履修を希望する異文化理解領域の言語を選んでください。

ドイツ語、フランス語、中国語を選んだ場合は、所属学部・学科により、受講する時限が指定されています。指定された時限の「教養教育授業科目時間割表」を確認し、各言語の一番上に記載されているクラス(第3部 IV クラス指定リストにある*印付クラス)の「授業科目名」「授業コード」を入力してください。

朝鮮語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語には、クラス指定はありません。

4月11日（水）に異文化理解領域科目の履修調整結果が発表されます。

ドイツ語、フランス語、中国語を選択した場合は各自が入力したクラスではなく、発表されたクラスに従って、授業を受けてください。

履修調整結果が4月11日（水）に発表されなかった科目については、第1回目の授業時に発表されますので、入力した「曜日・時限」のクラスに出席してください。

→参照) 第2部 I 1.3 (7) 異文化理解

- (3) 「スポーツ健康科学」は当該欄に何も入力せず、空白のままにしておいてください。第1回授業時の履修ガイダンスで履修する種目が決定されるので、前期・後期ともに「履修科目修正期間」に、決定された種目の「授業科目名」「授業コード」をユニパにて修正（入力）してください。

→参照) 第2部 I 1.3 (8) 健康科学

- (4) アクティブ・ラーニング領域科目、基礎教育領域科目は、各自のクラスが指定されている「曜日・時限」欄に「授業コード」と「授業科目名」を入力してください。

なお、人文学部文化学科指定クラスの「スタートアップセミナー」については、所属学科の指示に従ってください。

→参照) 第3部 IV クラス指定リスト

3. 履修申告の期間

前期…4月4日（水）～4月6日（金）に、ユニパで履修申告を行ってください。

後期…9月5日（水）～9月11日（火）に、ユニパで履修申告を行ってください。

※クラス指定のある科目に関する注意は、前節「2. 履修申告の入力」に記載された注意事項とほぼ同様です。1年生の「英語 I」「異文化理解 I」については、前期と同じクラスに自動で登録されます。「スポーツ健康科学」は、当該欄に何も入力せず、空白のままにしておいてください。

→参照) 前節 2. 履修申告の入力

注意：ユニパで重複履修をしようとすると、エラー表示が出ます。エラー表示を放置して履修申告手続きを進めた場合、単位が認定されなくなりますので、重複履修を行う場合は別途手続きが必要です。

→参照) 第2部 I 1.3 (2) 授業科目の重複履修

4. 履修申告の確認・修正

履修申告をした内容の変更や追加等修正が必要な場合の手続きです。前期・後期共にユニパで修正を行います。下記の定められた期間内に手続きをしてください。履修申告の内容の確認を怠り、申告内容の変更や追加等を行わず、誤りを放置した場合は、単位が認定されません。

また、実際に授業を受けてみて、別の授業科目を履修するよう変更することも可能です。ただし、授業内容や、教室の収容人数等の事情により、すでに授業担当教員が、「受講人数調整」を行っている授業科目を履修することはできません。

→参照) 第2部 I 1.3 (5) クラス指定をしない科目（「受講人数調整」について）

履修科目修正期間

前期…4月18日（水）～24日（火）

後期…10月9日（火）～15日（月）

前期・後期ともに、下記の（1）～（5）の確認・修正を必ず行ってください。

- (1) 学部・学科等で指定されている「スポーツ健康科学」の曜日・時限欄に、第1回目の授業時の履修ガイダンスで決定した種目の「授業科目名」「授業コード」を入力してください。
- (2) 1年次4月のTOEIC IPテストの結果により登録された英語の履修クラスが、発表されたとおりのクラスに正しく登録されているかを必ず確認してください。
また、1年次の前期についてはTOEIC 600点以上の取得により、「英語 I TOEIC」（2単位）が認定された場合、「英語 II 発展」および「英語特別プログラム」の修了に必要な科目の履修申告をすることができます。
- (3) 異文化理解領域科目の履修クラスが、履修調整結果の発表のとおり、正しく登録されているかを必ず確認してください。
- (4) 人文学部文化学科学生は、「スタートアップセミナー」について、第1回目授業で指定されたクラスの「授業科目名」「授業コード」を入力してください。
- (5) その他「教養教育授業科目時間割表」を確認し、履修申告に誤りを発見した場合は、必ずユニパで履修科目修正の手続きを行ってください。

Ⅱ 授業

1. 学生への連絡方法

(1) 掲示板

教養教育事務室及び授業担当教員から学生のみなさんへの連絡等は、原則としてすべて教養教育学生掲示板、およびモバイル情報案内システム（注）により行います。

毎日必ず1回は、掲示板とモバイル情報案内システムの両方を見る習慣を付け、不利益を被らないよう十分注意してください。

注 モバイル情報案内システム（モバ情）

モバイル情報案内システムは、休講、補講・特別講義、教室変更、各種お知らせ等の情報を Web によって呈示するシステムです。パソコン、携帯電話からもアクセスすることができます。

携帯電話及びインターネットから <http://k.cc.mie-u.ac.jp/a/>

掲示板等の設置場所

教養教育学生掲示板：教養教育1号館1階学生玄関東（EV前）

モバイル情報案内システムディスプレイ：教養教育1号館1階学生玄関

(2) 学生メール

個々の学生への連絡事項、災害（大地震、大津波）時の安否確認、台風・暴風警報等による休講連絡は「学生メール」により通知することがあります。「学生メール」とは、大学が付与する学生用メールアドレス（学籍番号@m.mie-u.ac.jp）で、総合情報処理センター発行の「統一アカウント通知書」に記載されています。

※ 不利益を被らないよう十分注意し、掲示板やメールの確認を習慣付けてください。

2. 平常授業

(1) 学期

前期…4月1日から9月30日まで

後期…10月1日から翌年3月31日まで

※ 授業開始の日時、祝日の調整による他曜日授業開講の日に注意してください。

→参照) 裏表紙「2018（平成30）年度教養教育行事予定表」

(2) 授業時間

1・2限（1コマ目） 8：50～10：20

3・4限（2コマ目） 10：30～12：00

5・6限（3コマ目） 13：00～14：30

7・8限（4コマ目） 14：40～16：10

9・10限（5コマ目） 16：20～17：50

11・12限（6コマ目） 18：00～19：30（補講期間・一部再履修クラスのみ）

(3) 教室

「教養教育授業科目時間割表」には、各授業の行われる教室番号が記入してあります。第3部 I 教養教育校舎・教室配置図をあらかじめ確認し、教室を間違えないようにしてください。

受講人数などの調整により、各授業の行われる教室が変更になった場合は、モバイル情報案内システムにより通知します。

3. 休講措置

(1) 特別警報・警報発表時等の場合

三重県北部（四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町）又は中部区域（津市、松阪市、多気町、明和町）のいずれかの市町に、特別警報（大雨・暴風・高潮・波浪・暴風雪・大雪の各特別警報）、暴風警報、暴風雪警報、伊勢湾に大津波警報、津波警報のいずれかが発令された場合の授業（定期試験を含む。）は、休講とし、発令された警報のいずれかが午前6時まで解除されない場合…午前中の授業等を休講とします。

午前10時まで解除されない場合…午後の授業等を休講とします。

(2) その他、自然災害・交通機関のストライキなどの場合

全学一斉の授業休講措置がとられるのは上記の場合ですが、地震・津波・竜巻あるいは交通機関のストライキなどでもテレビ・ラジオの情報や周辺状況に注意して、各自の判断で適切な行動をとるようにしてください。

休講措置をとる場合又は授業を再開する場合は、モバイル情報案内システム等での案内により学生へ周知します。

4. 欠席

授業を欠席する（した）時は、各授業の担当教員へ「欠席届」を提出してください。「欠席届」は教養教育学生掲示板にあります。

→参照) 第2部 II 1. 学生への連絡方法 (1) 掲示板

教養教育には「公欠」（病気、忌引など）の制度はありません。考慮されるべき事由があつて授業を欠席する場合は、事前又は事後に「欠席届」の提出とともに、各自が直接授業担当教員に申し出て、判断を仰いでください。

5. 補講【重要】

休講などの補講を、補講期間中の6コマ目（11・12限）に行います。補講の有無の決定は各授業担当教員によります。この期間中は、アルバイト、課外活動等の予定を入れないようにしてください。

補講期間

前期…6月25日（月）～29日（金）、7月2日（月）～6日（金）

後期…12月10日（月）～14日（金）、1月21日（月）～25日（金）

6. 「英語 I TOEIC」集中再履修クラス

「英語 I TOEIC」2単位を未修得（1単位修得もしくは単位修得なし）の場合は、このクラスを履修してください。

前期…9月10日（月）～13日（木） 9月14日（金）（TOEIC IPテスト）

後期…3月4日（月）～7日（木） TOEIC IPテストは翌年度4月に実施

Ⅲ 単位認定

1. 試験・レポート

(1) 定期試験

- ①各授業科目の単位は、前期、後期に定期試験を行い、その成績によって認定されるのが原則です。
- ②試験の実施は、原則として筆記試験によりますが、授業担当教員によっては、レポート、論文や課題の提出、プレゼン、実技、口述試験、平常の学習態度などによることもあります。

★レポート作成の際の注意事項

- (A) 授業科目によってレポートに求められる条件が異なることがあります。授業担当教員の指示する条件に十分注意して、レポートを作成してください。
- (B) 書物・ウェブサイトなどに掲載された他者の文章を、出典を明示せず、自分のレポートに記載することは盗用にあたります。必ず出典を明示し、かぎ括弧をつけるなど、引用部分と自分の書いた文章の区別を明白にしてください。引用のルールを守らない場合は、成績評価の対象にされないことがあります。
- ③定期試験（各学期末に行うもの）は、別に、試験時間割を公表します。試験時間は、平常の授業時間と異なり 60 分単位で行います。試験時間割は、試験の始まる 1 週間前に掲示しますので、十分注意してください。
- ④受験の際は、必ず学生証を机の上に置かなければなりません。
- ⑤不正行為のないように、十分に留意してください。

★教養教育における試験中の不正行為

教養教育における試験中の不正行為とは、次の各号のいずれかに該当する行為とします。

- (A) 他人に受験を代行させたり、また代行したりすること。
- (B) 不正な手段により答案・レポート・論文等を作成したり、また答案等の作成を援助したりすること。
- (C) 答案作成に関して、監督者の指示に従わないこと。
- (D) その他不正行為と認められること。(※)

※試験開始後に、携帯電話または、それに類する電子機器を見たり触れたりした場合も不正行為となります。

不正行為があった場合は、当該学生の不正行為科目および当該学期中の教養教育科目の全単位を無効とします。加えて、国立大学法人三重大学学則第 57 条（懲戒）により処分します（停学など）。

(2) 追試験

次に該当するやむを得ない事由により、定期試験を欠席した場合、または欠席しなければならないことが予測される場合は、追試験を受けることができます。定められた期間に、教養教育事務室で、所定の手続きをしてください。

- ①本人の病気・怪我により欠席した場合
- ②公共交通機関の遅延・不通により欠席した場合
- ③自宅等の被災により欠席した場合
- ④教育実習・看護実習・介護等体験・博物館実習等の学外における実習（以下「学外実習」という。）
その他これらに準じるもので、実習先との日程調整が困難なため、欠席する場合（※）
- ⑤その他やむを得ない事由であると教養教育院長が判断した場合

追試験出願期間：前期…8月7日（火）・8日（水）

後期…2月12日（火）・13日（水）

※学外実習のため欠席する場合は、定期試験期間開始日の2週間前まで

必要書類：「追試験願」、欠席事由を証明するための書類等

手続場所：教養教育事務室

試験受験の可否は、教養教育院長が、教養教育院企画運営会議において決定します。

前期追試験は夏季休業中、後期追試験は3月末までに実施します。ただし、追試験期間中に学外実習等の学部行事が重なった者については、追試験の日程を変更できます。

追試験日程：前期…9月25日（火）・26日（水）

後期…2月27日（水）・28日（木）

2. 成績

- (1) 評価は、試験の成績やレポート、および平常の学習態度等によって行います。
- (2) 評価は10点満点をもって表し、6点以上を合格とします。合格した場合には単位が認定されます。
- (3) 成績の評価、評点、評価内容の基準は、次の表のとおりです。
- (4) 成績の通知は、次学期の開始までに、各所属学部から本人に「成績通知書」を配付して行います。

〈成績評価の基準〉

判定	評価点	評定	評価内容基準
合格	10	AA	科目内容を修得し、到達目標を優れて満たしている
	9		
	8	A	科目内容を修得し、到達目標を十分に満たしている
	7	B	科目内容を修得し、到達目標を概ね満たしている
	6	C	科目内容を修得し、到達目標を必要限度満たしている
不合格	5以下	D	科目内容を修得したと認められず、到達目標を満たしていない

3. 成績照会

成績に疑義がある場合は、成績評価について照会することができます。詳細については教養教育事務室に問い合わせてください。

IV 教養教育に関する事項の問い合わせ先

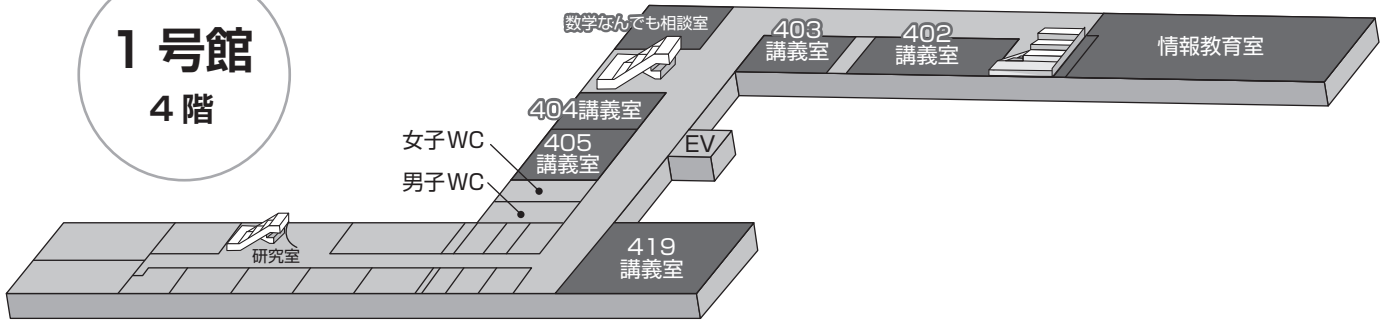
教養教育校舎1号館1階 教養教育事務室

(場所は第3部I教養教育校舎・教室配置図で確認してください。)

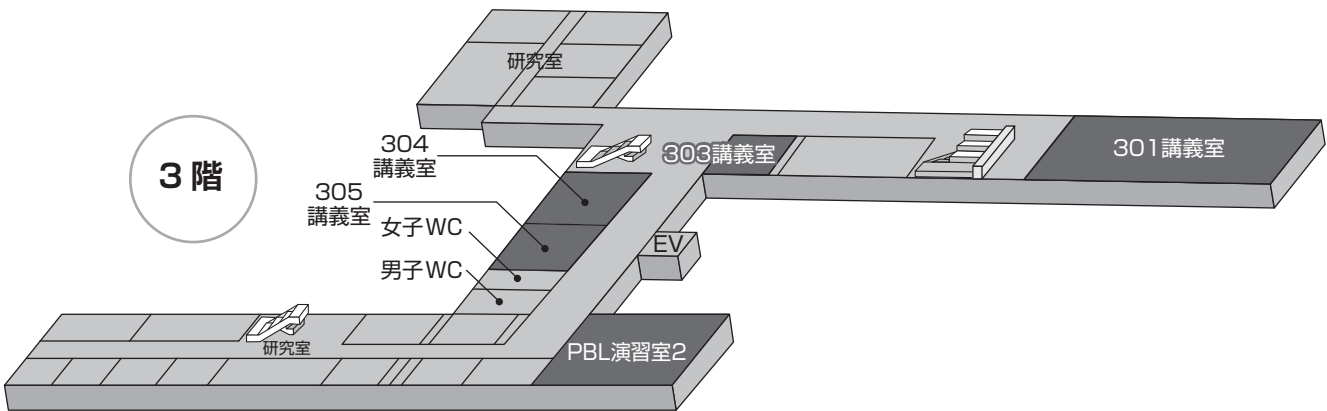
〈教養教育校舎等 配置図〉

1号館

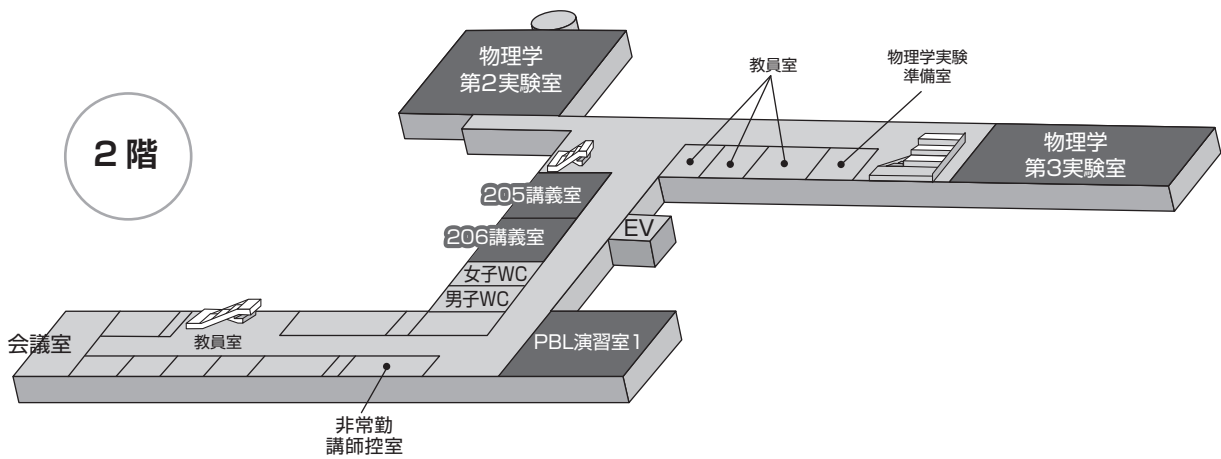
4階



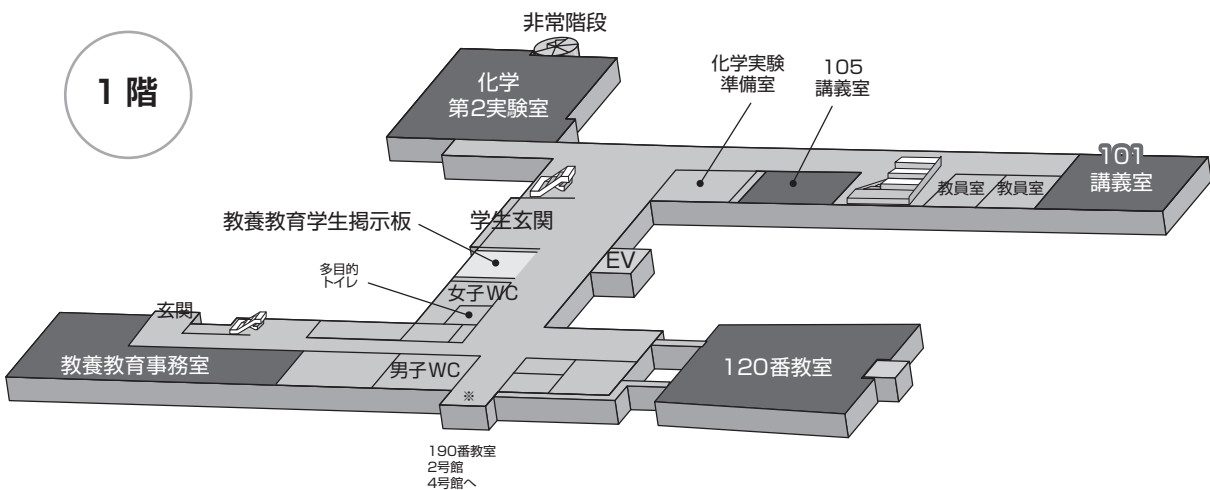
3階



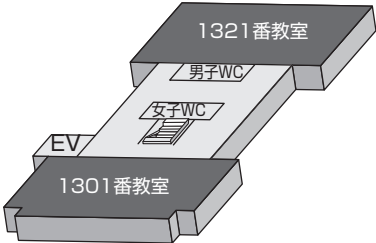
2階



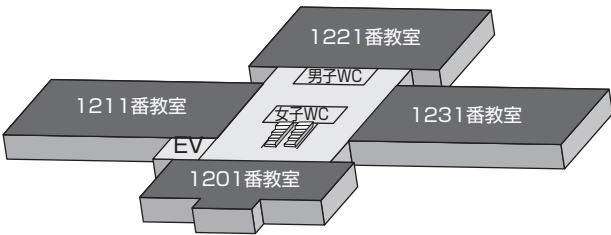
1階



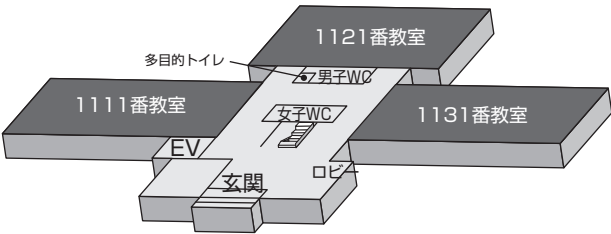
3号館
3階



2階



1階



Ⅱ 教養教育授業科目一覧

教養基盤科目

【アクティブ・ラーニング】

科目群	授業科目	単位数
スタートアップセミナー	スタートアップセミナー	2
教養ワークショップ	教養ワークショップ	2

【外国語教育】

科目群	授業科目	単位数
英語	英語 I TOEIC	1
	英語 I 大学基礎	1
	英語 I コミュニケーション	1
	英語 II 発展Aa	1
	英語 II 発展Ab	1
	英語 II 発展B	1
	英語 II 発展C	1
	英語 II 発展D	1
	英語 II 発展E	1

【異文化理解】

科目群	授業科目	単位数
異文化理解基礎	異文化理解 I 基礎(ドイツ語A)a	1
	異文化理解 I 基礎(ドイツ語A)b	1
	異文化理解 I 基礎(ドイツ語B)a	1
	異文化理解 I 基礎(ドイツ語B)b	1
	異文化理解 I 基礎(フランス語)a	1
	異文化理解 I 基礎(フランス語)b	1
	異文化理解 I 基礎(中国語)a	1
	異文化理解 I 基礎(中国語)b	1
	異文化理解 I 基礎(朝鮮語)a	1
	異文化理解 I 基礎(朝鮮語)b	1
	異文化理解 I 基礎(ロシア語)a	1
	異文化理解 I 基礎(ロシア語)b	1
	異文化理解 I 基礎(スペイン語)a	1
	異文化理解 I 基礎(スペイン語)b	1
異文化理解演習	異文化理解 I 演習(ドイツ語A)a	1
	異文化理解 I 演習(ドイツ語A)b	1
	異文化理解 I 演習(ドイツ語B)a	1
	異文化理解 I 演習(ドイツ語B)b	1
	異文化理解 I 演習(フランス語)a	1
	異文化理解 I 演習(フランス語)b	1
	異文化理解 I 演習(中国語)a	1
	異文化理解 I 演習(中国語)b	1
	異文化理解 I 演習(朝鮮語)a	1
	異文化理解 I 演習(朝鮮語)b	1
	異文化理解 I 演習(ロシア語)a	1
	異文化理解 I 演習(ロシア語)b	1
	異文化理解 I 演習(スペイン語)a	1
	異文化理解 I 演習(スペイン語)b	1
異文化理解発展	異文化理解 II 総合(ドイツ語A)	1
	異文化理解 II 総合(ドイツ語B)	1
	異文化理解 II 演習(ドイツ語A)	1
	異文化理解 II 演習(ドイツ語B)	1
	異文化理解 II 総合(フランス語)	1
	異文化理解 II 演習(フランス語)	1
	異文化理解 II 総合(中国語)	1
	異文化理解 II 演習(中国語)	1
	異文化理解 I 応用(ドイツ語) a	1
	異文化理解 I 応用(ドイツ語) b	1

科目群	授業科目	単位数
異文化理解発展	異文化理解Ⅲ応用(中国語A)	1
	異文化理解Ⅲ応用(中国語B)	1
	異文化理解Ⅲ応用(中国語C)	1

【健康科学】

科目群	授業科目	単位数
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学a	1
	スポーツ健康科学b	1
	スポーツ健康科学概論	2

【基礎教育】

科目群	授業科目	単位数
情報科学	情報科学基礎	2
	情報科学基礎A	2
	情報科学基礎B	2
	電子計算機プログラミング及び演習	2.5
	計算機基礎 I 及び演習	1.5
	計算機基礎 II 及び演習	1.5
	建築情報処理基礎	2
数学	情報科学基礎及び初級プログラミング演習	3
	計算機基礎	2
	基礎線形代数学 I	2
	基礎線形代数学 II	2
	基礎線形代数学	2
	基礎微分積分学 I	2
	基礎微分積分学 II	2
	数学基礎	2
	基礎数学演習 I	1
	基礎数学演習 II	1
統計学	基礎数理統計学	2
物理学	基礎物理学A	2
	基礎物理学 I	2
	基礎物理学 II	2
	基礎物理学 III A	2
	基礎物理学 III B	2
	物理学基礎 I	2
	物理学基礎 II	2
物理学実験	1	
化学	基礎化学A	2
	基礎化学B	2
	基礎化学C	2
	化学基礎 I	2
	化学基礎 II	2
	化学 I	2
	化学 II	2
化学実験	1	
生物学	基礎生物学A	2
	生物学基礎 I	2
	生物学基礎 II	2
	入門生物学	2
	生物学実験	1
地学	分子生命体科学 A	2
	分子生命体科学 B	2
	基礎地学A	2
地学基礎	2	

教養統合科目

【キャリア教育】

科目群	授業科目	単位数
学生支援	留学生支援実践	2
	障がい学生支援実践	2
	ピアサポート実践	2
	学生生活支援実践	2
	学習支援実践	2
	広報誌編集実践	2
就業力育成	大学紹介実践	2
	キャリアプランニング入門	2
	インターンシップ入門	2
	キャリアイベント実践	2
	キャリア形成論	2
	企業研究入門	2
	アントレプレナー論	2
	地域と仕事	2
心的援助・マネジメント	社会連携型実践	2
	知財学	2
	ここらのサポート	2
	A-I ポジティブ思考法	2

【地域理解・日本理解】

科目群	授業科目	単位数
哲学	哲学A	2
倫理学	倫理学A	2
	倫理学B	2
日本史	日本史A	2
	日本史B	2
	日本史C	2
	日本史D	2
	日本考古学A	2
	日本考古学B	2
	日本文化論A	2
日本文学	日本文化論B	2
	日本史資料学	2
	日本文学A	2
	日本文学B	2
日本語学	日本文学C	2
	演劇入門	2
	日本語学A	2
法学	日本語学B	2
	日本国憲法	2
	法学A	2
社会学	法学B	2
	法学C	2
文化人類学	社会学F	2
	社会学G	2
政治学	文化人類学F	2
	文化人類学G	2
経済学	政治学A	2
	政治学B	2
地理学	経済学A	2
	経済学B	2
	人文地理学A	2
言語学	人文地理学B	2
	人文地理学C	2
日本学	言語学A	2
三重学	日本学	2
医学・看護学	三重学	2
	防災論	2
	地域防災論	2
日本理解特殊講義	医学医療C	2
	医学医療D	2
	医学医療入門	2
	日本理解特殊講義	2
	日本理解特殊講義S	2

【国際理解・現代社会理解】

科目群	授業科目	単位数
哲学	哲学F	2
	哲学G	2
	哲学H	2
	哲学I	2
倫理学	倫理学F	2
	倫理学G	2
	倫理学H	2
	倫理学I	2
宗教学	宗教学A	2
	宗教学B	2
	宗教学C	2
	宗教学D	2
東洋史	東洋史A	2
	東洋史B	2
	東洋文化史	2
西洋史	西洋史A	2
	西洋史B	2
	西洋史C	2
比較文化論	比較文化論	2
	比較政治文化	2
心理学	心理学A	2
	心理学S	2
	こころのサポート	2
法学	法学F	2
	法学G	2
社会学	社会学A	2
	社会学B	2
文化人類学	文化人類学A	2
	文化人類学B	2
政治学	政治学F	2
	政治学G	2
経済学	経済学F	2
	経済学G	2
地理学	文化と空間A	2
	文化と空間B	2
	文化と空間C	2
言語学	言語学F	2
地域学	地域学	2
医学・看護学	医学医療E	2
環境学	環境学A	2
芸術学	音楽文化論	2
国際理解特殊講義	国際理解特殊講義	2
国際理解実践	国際理解実践	2
	国際理解実践S	2
現代社会理解特殊講義	現代社会理解特殊講義	2
現代社会理解実践	現代社会理解実践	2
	現代社会理解実践S	2

【現代科学理解】

科目群	授業科目	単位数
心理学	心理学F	2
情報科学	情報科学A	2
	情報科学B	2
	情報科学C	2
	情報科学D	2
数理科学	数理科学A	2
	数理科学B	2
	数理科学C	2
	数理科学D	2
	数理科学E	2
	数理科学F	2
	数理科学G	2
	数理科学H	2
	数理科学I	2
物理学	物理学	2
化学	化学A	2
	化学B	2
生物学	生物学	2
自然科学概論	自然科学概論	2
医学・看護学	医学医療A	2
	医学医療B	2
	国際保健と地域医療	2
環境学	環境地理学A	2
	環境地理学B	2
	環境地理学C	2
	環境学F	2
環境科学	環境科学	2
生物資源学	生物資源学A	2
	生物資源学B	2
防災論	防災論	2
現代科学理解特殊講義	現代科学理解特殊講義	2

PBL セミナーは、開講年度にのみ、該当する科目群の中に授業科目として「PBL 授業科目群（領域略称）」をたてます。

領域略称

地域理解・日本理解	地域・日本
国際理解・現代社会理解	国際・現代
現代科学理解	現代科学

例

【地域理解・日本理解】

科目群	授業科目	単位数
哲学	PBL 哲学(地域・日本)	2

Ⅲ 開講授業一覧

1. 教養基盤科目

アクティブ・ラーニング領域

科目群	授業科目・単位	(分野 H26年度以前入学者対象)	担当教員	授業時限		備考
				前期	後期	
スタートアップセミナー	スタートアップセミナー 2単位	社会	クラス指定リスト参照			
教養ワークショップ	教養ワークショップ 2単位		クラス指定リスト参照			

外国語教育領域

科目群	授業科目・単位	担当教員	授業時限		備考	
			前期	後期		
英語	英語 I TOE I C	1単位	クラス指定リスト参照			
	英語 I 大学基礎	1単位	クラス指定リスト参照			
	英語 I コミュニケーション	1単位	クラス指定リスト参照			
	英語 II 発展 A a	1単位	ハムリッチ ネイサン	水5・6	—	2単位まで履修可
			ハムリッチ ネイサン	木9・10	—	2単位まで履修可
			トゥラダール アスタ	金7・8	—	2単位まで履修可
	英語 II 発展 A b	1単位	ハムリッチ ネイサン	—	水5・6	2単位まで履修可
			ハムリッチ ネイサン	—	木9・10	2単位まで履修可
	英語 II 発展 B	1単位	リチャーズ ジョン	月5・6	—	2単位まで履修可
			マクダニエル フロイド	木3・4	—	2単位まで履修可
			マクダニエル フロイド	木5・6	—	2単位まで履修可
			リチャーズ ジョン	—	月5・6	2単位まで履修可
			マクダニエル フロイド	—	木3・4	2単位まで履修可
	英語 II 発展 C	1単位	マクダニエル フロイド	—	木5・6	2単位まで履修可
			リチャーズ ジョン	月7・8	—	2単位まで履修可
			リチャーズ ジョン	—	月7・8	2単位まで履修可
	英語 II 発展 D	1単位	リチャーズ ジョン	水7・8	—	2単位まで履修可
			マクダニエル フロイド	木7・8	—	2単位まで履修可
			リチャーズ ジョン	—	水7・8	2単位まで履修可
マクダニエル フロイド			—	木7・8	2単位まで履修可	
英語 II 発展 E	1単位	吉田 悦子	金3・4	—	2単位まで履修可	
		赤岩 隆	—	火5・6	2単位まで履修可	

異文化理解領域

科目群	授業科目・単位	担当教員	授業時限		備考
			前期	後期	
異文化理解基礎	異文化理解Ⅰ基礎(ドイツ語A) a 1単位		クラス指定リスト参照		
	異文化理解Ⅰ基礎(ドイツ語A) b 1単位		クラス指定リスト参照		
	異文化理解Ⅰ基礎(ドイツ語B) a 1単位		クラス指定リスト参照		受講人数制限(20名)
	異文化理解Ⅰ基礎(ドイツ語B) b 1単位		クラス指定リスト参照		受講人数制限(20名)
	異文化理解Ⅰ基礎(フランス語) a 1単位		クラス指定リスト参照		
	異文化理解Ⅰ基礎(フランス語) b 1単位		クラス指定リスト参照		
	異文化理解Ⅰ基礎(中国語) a 1単位		クラス指定リスト参照		
	異文化理解Ⅰ基礎(中国語) b 1単位		クラス指定リスト参照		
	異文化理解Ⅰ基礎(朝鮮語) a 1単位	有吉 登美子	火3・4	—	
	異文化理解Ⅰ基礎(朝鮮語) b 1単位	有吉 登美子	—	火3・4	
	異文化理解Ⅰ基礎(ロシア語) a 1単位	山路 明日太	水5・6	—	
	異文化理解Ⅰ基礎(ロシア語) b 1単位	山路 明日太	—	水5・6	
	異文化理解Ⅰ基礎(スペイン語) a 1単位	伊藤 ゆかり	金3・4	—	
	異文化理解Ⅰ基礎(スペイン語) b 1単位	伊藤 ゆかり	—	金3・4	
	異文化理解Ⅰ基礎(ポルトガル語) a 1単位	重松 由美	金3・4	—	
		瀧藤 千恵美	金3・4	—	
	瀧藤 千恵美	金7・8	—		
	異文化理解Ⅰ基礎(ポルトガル語) b 1単位	重松 由美	—	金3・4	
		瀧藤 千恵美	—	金3・4	
		瀧藤 千恵美	—	金7・8	
異文化理解演習	異文化理解Ⅰ演習(ドイツ語A) a 1単位		クラス指定リスト参照		
	異文化理解Ⅰ演習(ドイツ語A) b 1単位		クラス指定リスト参照		
	異文化理解Ⅰ演習(ドイツ語B) a 1単位		クラス指定リスト参照		受講人数制限(20名)
	異文化理解Ⅰ演習(ドイツ語B) b 1単位		クラス指定リスト参照		受講人数制限(20名)
	異文化理解Ⅰ演習(フランス語) a 1単位		クラス指定リスト参照		
	異文化理解Ⅰ演習(フランス語) b 1単位		クラス指定リスト参照		
	異文化理解Ⅰ演習(中国語) a 1単位		クラス指定リスト参照		
	異文化理解Ⅰ演習(中国語) b 1単位		クラス指定リスト参照		
	異文化理解Ⅰ演習(朝鮮語) a 1単位	有吉 登美子	火5・6	—	
	異文化理解Ⅰ演習(朝鮮語) b 1単位	有吉 登美子	—	火5・6	
	異文化理解Ⅰ演習(ロシア語) a 1単位	山路 明日太	水7・8	—	
	異文化理解Ⅰ演習(ロシア語) b 1単位	山路 明日太	—	水7・8	
	異文化理解Ⅰ演習(スペイン語) a 1単位	伊藤 ゆかり	金5・6	—	
	異文化理解Ⅰ演習(スペイン語) b 1単位	伊藤 ゆかり	—	金5・6	
	異文化理解Ⅰ演習(ポルトガル語) a 1単位	重松 由美	金5・6	—	
		瀧藤 千恵美	金5・6	—	
	重松 由美	金7・8	—		
	異文化理解Ⅰ演習(ポルトガル語) b 1単位	重松 由美	—	金5・6	
		瀧藤 千恵美	—	金5・6	
		重松 由美	—	金7・8	
異文化理解発展	異文化理解Ⅱ総合(ドイツ語A) 1単位	菅 利恵	火7・8	—	2単位まで履修可
		大河内 朋子	—	火7・8	2単位まで履修可
	異文化理解Ⅱ演習(ドイツ語A) 1単位	大喜 祐太	木9・10	—	2単位まで履修可
		鶴田 涼子	—	木9・10	2単位まで履修可
	異文化理解Ⅱ総合(フランス語) 1単位	井出 勉	火9・10	—	2単位まで履修可
		井出 勉	—	火9・10	2単位まで履修可
	異文化理解Ⅱ演習(フランス語) 1単位	ダメモ ジャン・フランソワ	月7・8	—	2単位まで履修可
		ダメモ ジャン・フランソワ	—	月7・8	2単位まで履修可
	異文化理解Ⅱ総合(中国語) 1単位	胡 蓉	金5・6	—	2単位まで履修可
		胡 蓉	—	金5・6	2単位まで履修可
	異文化理解Ⅱ演習(中国語) 1単位	劉 靈均	木7・8	—	2単位まで履修可
		劉 靈均	—	木7・8	2単位まで履修可
		胡 蓉	金3・4	—	2単位まで履修可
	胡 蓉	—	金3・4	2単位まで履修可	
異文化理解Ⅲ応用(中国語A) 1単位	劉 靈均	金5・6	—	開放科目(5名 人文学部)	
	劉 靈均	—	金5・6	開放科目(5名 人文学部)	
異文化理解Ⅲ応用(中国語B) 1単位	劉 靈均	金3・4	—	開放科目(5名 人文学部)	
	劉 靈均	—	金3・4	開放科目(5名 人文学部)	

開放科目 専門教育科目を教養教育科目として開講するもの。カッコ内の人数は、教養教育科目としての受講可能者数。

開放科目の後に記載のある所属等の者は、教養教育科目としては履修不可。

健康科学領域

科目群	授業科目・単位	担当教員	授業時限		備考
			前期	後期	
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学 a 1単位		クラス指定リスト参照		
	スポーツ健康科学 b 1単位		クラス指定リスト参照		
	スポーツ健康科学概論 2単位		クラス指定リスト参照		

基礎教育領域

科目群	授業科目・単位	担当教員	授業時限		備考
			前期	後期	
情報科学	情報科学基礎 2単位		クラス指定リスト参照		
	情報科学基礎A 2単位		クラス指定リスト参照		
	情報科学基礎B 2単位		クラス指定リスト参照		
	電子計算機プログラミング及び演習 2.5単位		クラス指定リスト参照		
	計算機基礎Ⅰ及び演習 1.5単位		クラス指定リスト参照		
	計算機基礎Ⅱ及び演習 1.5単位		クラス指定リスト参照		
	建築情報処理基礎 2単位		クラス指定リスト参照		
	情報科学基礎及び初級プログラミング演習 3単位		クラス指定リスト参照		
	計算機基礎 2単位		クラス指定リスト参照		
数学	基礎線形代数学Ⅰ 2単位		クラス指定リスト参照		
	基礎線形代数学Ⅱ 2単位		クラス指定リスト参照		
	基礎線形代数学 2単位		クラス指定リスト参照		
	基礎微分積分学Ⅰ 2単位		クラス指定リスト参照		
	基礎微分積分学Ⅱ 2単位		クラス指定リスト参照		
	数学基礎 2単位		クラス指定リスト参照		
	基礎数学演習Ⅰ 1単位		クラス指定リスト参照		
	基礎数学演習Ⅱ 1単位		クラス指定リスト参照		
統計学	基礎数理統計学 2単位		クラス指定リスト参照		
物理学	基礎物理学Ⅰ 2単位		クラス指定リスト参照		
	基礎物理学Ⅱ 2単位		クラス指定リスト参照		
	基礎物理学ⅢA 2単位		クラス指定リスト参照		
	基礎物理学ⅢB 2単位		クラス指定リスト参照		
	物理学基礎Ⅰ 2単位		クラス指定リスト参照		
	物理学基礎Ⅱ 2単位		クラス指定リスト参照		
	物理学実験 1単位		クラス指定リスト参照		
化学	基礎化学C 2単位		クラス指定リスト参照		
	化学基礎Ⅰ 2単位		クラス指定リスト参照		
	化学基礎Ⅱ 2単位		クラス指定リスト参照		
	化学Ⅰ 2単位		クラス指定リスト参照		
	化学Ⅱ 2単位		クラス指定リスト参照		
生物学	化学実験 1単位		クラス指定リスト参照		
	基礎生物学A 2単位		クラス指定リスト参照		
	生物学基礎Ⅰ 2単位		クラス指定リスト参照		
	生物学基礎Ⅱ 2単位		クラス指定リスト参照		
	入門生物学 2単位		クラス指定リスト参照		
	生物学実験 1単位		クラス指定リスト参照		
	分子生命体科学A 2単位		クラス指定リスト参照		
分子生命体科学B 2単位	クラス指定リスト参照				
地学	基礎地学A 2単位		クラス指定リスト参照		
	地学基礎 2単位		クラス指定リスト参照		

キャリア教育領域

科目群	授業科目・単位	(分野 H26 年度以前入 学者対象)	授業テーマ	担当教員	授業時限		備考
					前期	後期	
学生支援	留学生支援実践 2単位	社会	留学生支援実践	風間 惇希	—	水9・10	教養統合科目としても開講
	障がい学生支援実践 2単位	社会	障がい学生への支援	栗田 季佳 他	—	火3・4	教養統合科目としても開講 オムニバス方式
	ピアサポート実践 2単位	社会	ピアサポート実践	鈴木 英一郎 他	金9・10	—	
		社会	ピアサポート実践	風間 惇希	—	金9・10	
	学生生活支援実践 2単位	社会	学生生活支援実践	鈴木 英一郎	—	水5・6	
	学習支援実践 2単位	社会	学習支援実践A	長濱 文与	木3・4	—	
	社会	学習支援実践B	風間 惇希	水9・10	—		
	広報誌編集実践 2単位	社会	広報誌編集実践	長屋 祐一 他	—	木7・8	受講人数制限(20名)
就業力育成	キャリアプランニング入門 2単位	社会	キャリアデザイン	風間 惇希	水5・6	—	
		社会	キャリアデザイン	長谷川 岳雄	水7・8	—	
		社会	キャリアデザイン	長谷川 岳雄	—	月7・8	
	インターンシップ入門 2単位	社会	インターンシップ	長谷川 岳雄	月7・8	—	
	キャリアイベント実践 2単位	社会	問題を解決する技術	長谷川 岳雄	—	水9・10	
	キャリア形成論 2単位	社会	考える&伝える技術	長谷川 岳雄	水5・6	—	
	企業研究入門 2単位	社会	企業・社会人を知る	長谷川 岳雄	—	水7・8	
	アントレプレナー論 2単位	社会	起業マインドの醸成	松岡 守 他	—	水3・4	教養統合科目としても開講 オムニバス方式 受講人数制限(60名)
	地域と仕事 2単位	社会	地域の仕事を知る	西村 訓弘 他	月7・8	—	教養統合科目としても開講 オムニバス方式
	社会連携型実践 2単位	社会	社会連携型実践	西村 訓弘 他	—	月7・8	オムニバス方式
	知財学 2単位	社会	発明学入門	松岡 守 他	火9・10	—	オムニバス方式
	心的援助・ マネジメント	こころのサポート 2単位	社会	こころのサポート	望木 郁代	木1・2	—
社会			こころのサポート	鈴木 英一郎	—	水9・10	教養統合科目としても開講
社会			こころのサポート	望木 郁代	—	木5・6	教養統合科目としても開講 受講人数制限(70名)
A-Iポジティブ思考法 2単位		社会	AIポジティブ思考法	川島 一晃	月7・8	—	教養統合科目としても開講 受講人数制限(40名)
		社会	AIポジティブ思考法	川島 一晃	—	月7・8	教養統合科目としても開講 受講人数制限(40名)

オムニバス方式 授業内容を分担して複数の教員が担当する授業。

2. 教養統合科目

地域理解・日本理解領域

科目群	授業科目・単位	(分野 H26 年度以前入 学者対象)	授業テーマ	担当教員	授業時限		備考
					前期	後期	
哲学	哲学A 2単位	人文	「愛」とは何か	遠山 敦 他	金3・4	—	オムニバス方式
倫理学	倫理学B 2単位	人文	「情」と「理」	遠山 敦	—	火1・2	
日本史	日本史A 2単位	人文	日本古代史の諸問題	小澤 毅	火3・4	—	
	日本史B 2単位	人文	忍者の歴史	山田 雄司	木3・4	—	
		人文	忍者の歴史	山田 雄司	—	木3・4	
	日本史C 2単位	人文	江戸時代の古文書	塚本 明	水1・2	—	
	日本考古学A 2単位	人文	考古学の最新情報	山中 章	水5・6	—	
	日本考古学B 2単位	人文	遺跡と博物館を考える	小澤 毅	—	火3・4	受講人数制限(30名)
	日本文化論B 2単位	人文・自然	日本の海女文化	塚本 明 他	火3・4	—	オムニバス方式
日本文学	日本文学A 2単位	人文	日本古典文学入門	村口 進介	月1・2	—	
		人文	日本古典文学入門	村口 進介	火3・4	—	
		人文	日本古典文学入門	村口 進介	火5・6	—	
		人文	日本古典文学入門	村口 進介	—	水5・6	
	日本文学B 2単位	人文	原典で読む江戸文学	吉丸 雄哉	金7・8	—	
		人文	忍者像の形成と変遷	吉丸 雄哉	木1・2	—	
		人文	忍者像の形成と変遷	吉丸 雄哉	—	木1・2	
	日本文学C 2単位	人文	日本近現代文学入門	坂 堅太	火1・2	—	
		人文	日本近現代文学入門	坂 堅太	木9・10	—	
		人文	日本近現代文学入門	坂 堅太	—	火3・4	
人文		日本近現代文学入門	坂 堅太	—	木9・10		
演劇入門 2単位	人文	演劇の基礎知識と実践	吉丸 雄哉 他	木9・10	—	オムニバス方式	
日本語学	日本語学A 2単位	人文	日本語学概説	川口 敦子	金3・4	—	
	日本語学B 2単位	人文	日本語史	川口 敦子	—	水1・2	
		人文	日本語史	川口 敦子	—	金3・4	
法学	日本国憲法 2単位	社会	事例で学ぶ日本国憲法	岩崎 恭彦	月5・6	—	
		社会	古典から読み解く憲法	中岡 淳	月7・8	—	
		社会	古典から読み解く憲法	中岡 淳	月9・10	—	
		社会	憲法と現代社会	宮村 教平	金5・6	—	
		社会	憲法と現代社会	宮村 教平	金7・8	—	
		社会	憲法と自己	内野 広大	—	月7・8	受講人数制限(70名)
		社会	立憲主義ってこれだ!	前田 定孝	—	水1・2	
	法学A 2単位	社会	裁判例で学ぶ法の世界	稲垣 朋子	火5・6	—	
		社会	事例で考える法学入門	田中 亜紀子	金3・4	—	受講人数制限(50名)
	法学C 2単位	社会	働くことと労働組合	藤本 真理 他	—	月3・4	オムニバス方式
政治学	政治学A 2単位	社会	現代国家と日本政治	中谷 直司	火5・6	—	
		社会	現代国家と日本政治	中谷 直司	火7・8	—	
		社会	現代日本の政治	岡田 宏太郎	水7・8	—	
		社会	日本の政治と地方自治	樹神 成	—	木3・4	
	政治学B 2単位	社会	国際社会と日本の役割	中谷 直司	木5・6	—	
		社会	国際社会と日本の役割	中谷 直司	木7・8	—	
	PBL政治学(地域・日本) 2単位	社会	日本の政治と世界	岡田 宏太郎	—	水7・8	
政治学C 2単位	社会	政治学の解体新書	中谷 直司	火3・4	—	受講人数制限(30名)	
	社会	国際政治学の解体新書	中谷 直司	木3・4	—	受講人数制限(30名)	
経済学	経済学A 2単位	社会	ミクロ経済学	川地 啓介	木3・4	—	
	経済学B 2単位	社会	資本主義社会の歴史	堀内 義隆	金5・6	—	
		社会	社会保障と経済	石塚 哲朗	—	火3・4	
地理学	人文地理学A 2単位	社会	都市地理学入門	安食 和宏	月3・4	—	
		社会	歴史地理学	渡辺 康代	水3・4	—	
	人文地理学B 2単位	社会	文化地理学入門	中川 正	—	火5・6	
	人文地理学C 2単位	社会	津市フィールドワーク	安食 和宏	—	月3・4	受講人数制限(30名)
社会		日本の山村・過疎問題	安食 和宏	—	火5・6	受講人数制限(30名)	
言語学	言語学A 2単位	人文	言語学入門	大熊 富季子	火3・4	—	
		人文	言語学入門	大熊 富季子	火5・6	—	
		人文	言語学入門	大熊 富季子	火7・8	—	受講人数制限(50名)

科目群	授業科目・単位	(分野 H26 年度以前入 学者対象)	授業テーマ	担当教員	授業時限		備考
					前期	後期	
日本学	日本学 2単位	社会	メディアと日本	栗田 聡子	月9・10	—	英語で実施する授業 開放科目(15名 国際交流センター)
		社会	メディアと日本	栗田 聡子	—	木5・6	開放科目(15名 国際交流センター)
		人文	芸能にみる日本らしさ	前田 憲司	水7・8	—	
		人文	芸能にみる日本らしさ	前田 憲司	—	水7・8	
三重学	三重学 2単位	社会	「四日市学」の確立	朴 恵淑 他	水5・6	—	オムニバス方式
		社会	三重の社会と文化	正路 真一	火7・8	—	英語で実施する授業 開放科目(10名 国際交流センター)
		社会	三重の社会と文化	正路 真一	—	火7・8	英語で実施する授業 開放科目(10名 国際交流センター)
		社会	食と観光実践	富樫 健二 他	集中	—	受講人数制限(20名)
		社会	三重ブランドの創出	朴 恵淑 他	—	水5・6	オムニバス方式
防災論	地域防災論 2単位	自然	三重県の防災と復興	宮岡 邦任 他	—	月9・10	オムニバス方式
医学・ 看護学	医学医療C 2単位	自然	現代社会と健康	仁尾 かおり 他	木9・10	—	オムニバス方式
		自然	いたみの科学	丸山 一男 他	—	火7・8	オムニバス方式
	医学医療D 2単位	自然	暮らしと看護	仁尾 かおり 他	—	木9・10	オムニバス方式
	医学医療入門 2単位	自然	医の倫理と社会的課題	福録 恵子 他	月5・6	—	オムニバス方式
日本理解 特殊講義	日本理解特殊講義 2単位	人文	第二言語習得	大熊 富季子	金1・2	—	
		人文	第二言語習得	大熊 富季子	金3・4	—	
		人文	第二言語習得	大熊 富季子	金5・6	—	
		社会	留学生と学ぶ日本	福岡 昌子	水9・10	—	開放科目(15名 国際交流センター)
		社会	留学生と学ぶ日本	松岡 知津子	—	水9・10	開放科目(15名 国際交流センター)
		社会	三重の歴史と文化	鈴木 幸子 他	水9・10	—	オムニバス方式
	日本理解特殊講義S 2単位	社会	起業マインドの醸成	松岡 守 他	—	水3・4	キャリア教育領域科目としても開講 オムニバス方式 受講人数制限(60名)
		社会	地域の仕事をを知る	西村 訓弘 他	月7・8	—	キャリア教育領域科目としても開講 オムニバス方式

オムニバス方式 授業内容を分担して複数の教員が担当する授業。

開放科目 専門教育科目を教養教育科目として開講するもの。カッコ内の人数は、教養教育科目としての受講可能者数。

開放科目の後に記載のある所属等の者は、教養教育科目としては履修不可。

国際理解・現代社会理解領域

科目群	授業科目・単位	(分野 H26年度以前入学者対象)	授業テーマ	担当教員	授業時限		備考
					前期	後期	
哲学	哲学F 2単位	人文	「哲学」とは何か	田中 綾乃	火9・10	—	
		人文	哲学と現代的諸問題	田中 綾乃	—	火9・10	
	哲学G 2単位	人文	思考実験と哲学	薄井 尚樹	木3・4	—	
		人文	心の哲学	薄井 尚樹	—	木3・4	
	哲学I 2単位	人文	自然理解の哲学	小川 眞里子	水1・2	—	
		人文	自然理解の哲学	小川 眞里子	水3・4	—	
		人文	科学史・科学論	鈴木 秀憲	木5・6	—	
人文		科学史・科学論	鈴木 秀憲	—	木5・6		
	人文	ダーウィンと進化思想	小川 眞里子	—	金3・4		
倫理学	倫理学F 2単位	人文	倫理学の特殊問題	相澤 康隆	—	木9・10	
	倫理学G 2単位	人文	倫理学の基礎知識	相澤 康隆	木9・10	—	
	倫理学H 2単位	人文	東洋の倫理思想	片倉 望	金5・6	—	
宗教学	宗教学A 2単位	人文	仏教とは何か	片倉 望	—	金5・6	
	宗教学B 2単位	人文	トンガ王国の宗教	塚本 晃久	水5・6	—	
	宗教学C 2単位	人文	アボリジニーの宗教	塚本 晃久	水9・10	—	
東洋史	東洋史A 2単位	人文	中国女性史	酒井 恵子	木9・10	—	
		人文	中国女性史	酒井 恵子	—	月3・4	
	東洋史B 2単位	人文	万里の長城と中国史	仲山 茂	—	木7・8	
	東洋文化史 2単位	人文	日本美術の源を訪ねて	藤田 伸也	水1・2	—	
人文		日本美術の源を訪ねて	藤田 伸也	—	水1・2		
西洋史	西洋史A 2単位	人文	西洋中世史入門	上柿 智生	水5・6	—	
		人文	西洋中世史入門	上柿 智生	水7・8	—	
	西洋史B 2単位	人文	西洋近現代史	森脇 由美子	火9・10	—	
		人文	西洋近現代史	森脇 由美子	—	火9・10	
西洋史C 2単位	人文	戦後秩序、安全保障	野村 耕一	—	金5・6		
比較文化論	比較文化論 2単位	人文	「日本人論」の批評	グットマン ティエリー	—	金3・4	
	比較政治文化 2単位	人文	政治文化を比較する	グットマン ティエリー	金3・4	—	
心理学	心理学A 2単位	社会	社会的スキルの心理学	中西 良文	月5・6	—	受講人数制限(100名)
		社会	自己・他者の心と適応	廣岡 雅子	水1・2	—	受講人数制限(120名)
		社会	自己・他者の心と適応	廣岡 雅子	—	水1・2	受講人数制限(120名)
		社会	自己・他者の心と適応	廣岡 雅子	—	水3・4	受講人数制限(120名)
		社会	適応と対人関係	瀬戸 美奈子	—	火3・4	受講人数制限(100名)
		社会	適応と対人関係	瀬戸 美奈子	—	火5・6	受講人数制限(100名)
	心理学S 2単位	社会	AIポジティブ思考法	川島 一晃	月7・8	—	キャリア教育領域科目としても開講 受講人数制限(40名)
		社会	AIポジティブ思考法	川島 一晃	—	月7・8	キャリア教育領域科目としても開講 受講人数制限(40名)
	こころのサポート 2単位	社会	こころのサポート	望木 郁代	木1・2	—	キャリア教育領域科目としても開講 受講人数制限(70名)
		社会	こころのサポート	鈴木 英一郎	—	水9・10	キャリア教育領域科目としても開講
社会		こころのサポート	望木 郁代	—	木5・6	キャリア教育領域科目としても開講 受講人数制限(70名)	
法学	法学G 2単位	社会	法律学への道案内	名島 利喜	火5・6	—	
社会学	社会学A 2単位	社会	社会と個人	永谷 健	月7・8	—	
		社会	社会と個人	永谷 健	—	月7・8	
		社会	社会学の中心的テーマ	村上 直樹	水3・4	—	受講人数制限(30名)
		社会	社会学史・近代社会論	林原 玲洋	—	水1・2	
		社会	社会学史・近代社会論	林原 玲洋	—	金3・4	
	社会学B 2単位	社会	家族関係の社会学	江成 幸	火3・4	—	受講人数制限(90名)
		社会	現代社会のトピックス	江成 幸	—	火3・4	
		社会	社会問題の社会学	林原 玲洋	木3・4	—	
		社会	社会問題の社会学	林原 玲洋	金3・4	—	
		社会	社会問題の社会学	林原 玲洋	—	木3・4	
	社会	社会問題の社会学	林原 玲洋	—	金9・10		
	PBL社会学(国際・現代) 2単位	社会	メディアとジェンダー	林原 玲洋	—	木7・8	
文化人類学	文化人類学A 2単位	社会	理論と基礎	立川 陽仁	木3・4	—	
		社会	理論と基礎	立川 陽仁	木5・6	—	
	文化人類学B 2単位	社会	民族誌学	河邊 真次	—	火9・10	
政治学	政治学F 2単位	社会	性の多様性・複合差別	岩本 美砂子 他	—	月9・10	オムニバス方式
	政治学G 2単位	社会	正義を考える	麻野 雅子	火3・4	—	受講人数制限(30名)
		社会	東アジア国際政治	古瀬 啓之	木3・4	—	

科目群	授業科目・単位	(分野 H26 年度以前入 学者対象)	授業テーマ	担当教員	授業時限		備考
					前期	後期	
経済学	経済学G 2単位	社会	経済学の歴史と経済学	西 淳	火9・10	—	
		社会	政治経済に親しむ	森原 康仁	—	火7・8	
		社会	経済学入門	下門 直人	—	火5・6	
		社会	観光と環境の経済学	朝日 幸代	—	木7・8	
地理学	文化と空間A 2単位	社会	空間と権力	北川 眞也	木3・4	—	
	文化と空間C 2単位	社会	社会の法則を探る	中川 正	火3・4	—	受講人数制限(30名)
		社会	社会の法則を探る	中川 正	—	金3・4	受講人数制限(30名)
		社会	時事問題の検討	北川 眞也	水3・4	—	受講人数制限(30名)
		社会	時事問題の検討	北川 眞也	—	木3・4	受講人数制限(30名)
		社会	世界を多角的に捉える	森 正人	金3・4	—	受講人数制限(50名)
地域学	地域学 2単位	社会	オセアニアの教育事情	奥田 久春	—	火5・6	
		社会	オセアニアの教育事情	奥田 久春	—	金5・6	
環境学	環境学A 2単位	自然	食料生産と環境保全	梅崎 輝尚	月7・8	—	受講人数制限(30名)
		自然	環境科学入門	トゥラダール アスタ	木5・6	—	英語で実施する授業
		自然	環境科学入門	トゥラダール アスタ	木7・8	—	英語で実施する授業
		自然	環境科学入門	トゥラダール アスタ	—	木5・6	英語で実施する授業
		自然	環境科学入門	トゥラダール アスタ	—	木7・8	英語で実施する授業
		社会	環境問題と地球	マホニー プライアン・J	金3・4	—	英語で実施する授業 開放科目(12名 国際交流センター)
		社会	環境問題と地球	マホニー プライアン・J	—	金3・4	英語で実施する授業 開放科目(12名 国際交流センター)
		社会	環境内部監査員養成	間島 順哉	集中	—	
		社会	環境内部監査員養成	間島 順哉	—	集中	
		社会	外来生物問題を考える	河村 功一 他	—	水1・2	オムニバス方式
芸術学	音楽文化論 2単位	人文	西洋音楽の流れ	三浦 健一	金5・6	—	
		人文	西洋音楽の流れ	三浦 健一	—	金5・6	
国際理解 特殊講義	国際理解特殊講義 2単位	人文	日独比較美術史	ヘルフェンベルガー ファビエン	月7・8	—	
		社会	持続可能な開発の教育	トゥラダール アスタ	—	水3・4	英語で実施する授業
		社会	持続可能な開発の教育	トゥラダール アスタ	—	金3・4	英語で実施する授業
		社会	持続可能な開発の教育	トゥラダール アスタ	—	金7・8	英語で実施する授業
		人文	英語でエッセイ	マクダニエル フロイド	木1・2	—	英語で実施する授業 開放科目(15名 国際交流センター)
		人文	英語でエッセイ	マクダニエル フロイド	—	木1・2	英語で実施する授業 開放科目(15名 国際交流センター)
		社会	世界遺産と私たち	マホニー プライアン・J	金1・2	—	英語で実施する授業 開放科目(12名 国際交流センター)
		社会	世界遺産と私たち	マホニー プライアン・J	—	金1・2	英語で実施する授業 開放科目(12名 国際交流センター)
		人文	比較文化の研究	ゲットマン ティエリー	—	月3・4	
		人文	国際協力入門	奥田 久春 他	—	金3・4	オムニバス方式
		人文	立憲君主制	野村 耕一	—	金7・8	
		国際理解実践	国際理解実践 2単位	人文	国際理解研修(天津)	平賀 信夫 他	—
社会	国際環境インターン			朴 恵淑	—	集中	
社会	Tri-U国際シンポ			栗田 聡子	—	集中	開放科目(15名 国際交流センター)
現代社会 理解特殊 講義	現代社会理解特殊講義 2単位	社会	留学生支援実践	風間 惇希	—	水9・10	キャリア教育領域科目としても開講
		社会	MIEUポイント	山村 直紀 他	木3・4	—	オムニバス方式
		社会	MIEUポイント	山村 直紀 他	—	金3・4	オムニバス方式
		人文	男女共同参画基礎	尾西 康充 他	金5・6	—	オムニバス方式
現代社会 理解実践	現代社会理解実践 2単位	社会	三重の産業	鈴木 幸子 他	—	水9・10	オムニバス方式
		社会	環境インターンシップ	平山 大輔 他	水9・10	—	
		社会	地域発見型インターン	鈴木 幸子 他	集中	—	受講人数制限(30名)
	社会	次世代産業実践	富樫 健二 他	集中	—	受講人数制限(20名)	
	現代社会理解実践S 2単位	社会	障がい学生への支援	栗田 季佳 他	—	火3・4	キャリア教育領域科目としても開講 オムニバス方式

オムニバス方式 授業内容を分担して複数の教員が担当する授業。

開放科目 専門教育科目を教養教育科目として開講するもの。カッコ内の人数は、教養教育科目としての受講可能者数。

開放科目の後に記載のある所属等の者は、教養教育科目としては履修不可。

現代科学理解領域

科目群	授業科目・単位	(分野 H26 年度以前入 学者対象)	授業テーマ	担当教員	授業時限		備考
					前期	後期	
心理学	心理学F 2単位	社会	心の総合的理解	中西 良文	月3・4	—	
		社会	心のクセを見つめ直す	南 学	木1・2	—	
		社会	心理学の基礎を学ぶ	中西 千織	—	木3・4	受講人数制限(100名)
		社会	心理学の基礎を学ぶ	中西 千織	—	木5・6	受講人数制限(100名)
情報科学	情報科学A 2単位	自然	プログラミングの初歩	武本 行正	月5・6	—	
		自然	プログラミングの初歩	武本 行正	—	月3・4	
		自然	プログラミング入門	露峰 茂明	木3・4	—	
		自然	JavaScript	山守 一徳	—	水1・2	
	情報科学B 2単位	自然	数値計算と統計処理	井岡 幹博	火7・8	—	
	情報科学C 2単位	自然	統・数値計算統計処理	井岡 幹博	—	火7・8	
数理科学	数理科学B 2単位	自然	幾何に関する話題	蟹江 幸博	—	月7・8	
	数理科学C 2単位	自然	数学基礎論入門	伊藤 美香	木7・8	—	
		自然	数学基礎論入門	伊藤 美香	—	木7・8	
	数理科学D 2単位	自然	グラフ理論	石谷 寛	火3・4	—	
		自然	グラフ理論	石谷 寛	—	火3・4	
	数理科学E 2単位	自然	組み合わせ論・確率論	蟹江 幸博	月7・8	—	
	数理科学G 2単位	自然	数学書の輪読と発表	蟹江 幸博	月9・10	—	
	数理科学H 2単位	自然	やさしい統計学	石谷 寛	水3・4	—	
		自然	やさしい統計学	石谷 寛	—	水3・4	
	PBL数理科学(現代科学) 2単位	自然	身近な微分積分の発見	新田 貴士	月5・6	—	
物理学	物理学 2単位	自然	エネルギーと暮らし	鬼頭 孝治	金3・4	—	
		自然	自然観の発展	宮西 基明	—	月5・6	
化学	化学A 2単位	自然	化学の特徴的理解	未定 他	木9・10	—	オムニバス方式
		自然	化学に関する話題	村田 繁	—	水5・6	
	化学B 2単位	自然	遺伝子工学と抗体工学	富田 昌弘	—	水9・10	オムニバス方式
生物学	生物学 2単位	自然	先端医療工学を学ぶ	宮本 啓一	—	木9・10	
		自然	多様性の生物学	福田 知子	火1・2	—	
		自然	多様性の生物学	福田 知子	木5・6	—	
		自然	多様性の生物学	福田 知子	金1・2	—	
自然科学概論	自然科学概論 2単位	自然	英語で読む鯨類学入門	吉岡 基	—	月5・6	受講人数制限(30名)
		自然	海洋生物の不思議	古丸 明 他	水3・4	—	オムニバス方式
		自然	食品の科学・食と健康	奥村 克純 他	月3・4	—	オムニバス方式
		自然	科学技術の歴史	和田 正法	水1・2	—	
	PBL自然科学概論(現代科学) 2単位	自然	科学技術の歴史	和田 正法	金3・4	—	
		自然	森は生きている	沼本 晋也 他	集中	—	受講人数制限(20名)
医学・看護学	医学医療A 2単位	自然	科学の歴史	和田 正法	—	金7・8	
		自然	科学の歴史	和田 正法	—	金7・8	
	医学医療B 2単位	自然	教養人のための生理学	玉利 健悟	木5・6	—	受講人数制限(50名)
		自然	教養人のための生理学	玉利 健悟	金1・2	—	受講人数制限(80名)
		自然	生命医学の課題	西村 有平 他	—	月5・6	オムニバス方式
		自然	臨床医学の最近の話題	影山 愼一 他	火7・8	—	オムニバス方式
	国際保健と地域医療 2単位	自然	急病の観察と判断	丸山 一男	水3・4	—	
		自然	教養人の健康食品科学	玉利 健悟	木7・8	—	受講人数制限(50名)
		自然	教養人の健康食品科学	玉利 健悟	金3・4	—	受講人数制限(80名)
		自然	健康科学	田口 修 他	—	金3・4	オムニバス方式
PBL医学・看護学(現代科学) 2単位	自然	世界の地域保健と医療	堀 浩樹 他	—	木9・10	オムニバス方式 受講人数制限(200名)	
自然	味と匂の生理学	玉利 健悟	金7・8	—	受講人数制限(20名)		
自然	健康食品の機能と現状	玉利 健悟	金9・10	—	受講人数制限(20名)		
環境学	環境地理学A 2単位	自然	世界の気候と植生分布	柏木 良明	金9・10	—	
	環境学F 2単位	自然	水質・大気環境化学	金子 聡 他	月5・6	—	オムニバス方式
環境科学	環境科学 2単位	自然	ISO環境管理学	佐藤 邦夫 他	月1・2	—	
		自然	環境化学	廣瀬 和久	木1・2	—	
		自然	海に親しむ	前川 陽一 他	集中	—	受講人数制限(24名)
生物資源学	生物資源学A 2単位	自然	食と農	波多野 豪 他	月5・6	—	オムニバス方式
		自然	土は生きている	奥田 均 他	集中	—	オムニバス方式 受講人数制限(20名)
		自然	森と土壌	野中 寛 他	—	月9・10	オムニバス方式
	生物資源学B 2単位	自然	環境と動物との関わり	山田 佳廣 他	—	木9・10	オムニバス方式
		社会	食と農からみた世界	徳田 博美	火7・8	—	
防災論	防災論 2単位	社会	森と人間生活	石川 知明 他	木5・6	—	オムニバス方式
		自然	森林と土砂災害	堤 大三	金3・4	—	
自然	自然災害と防災・減災	川口 淳 他	—	月9・10	オムニバス方式		

科目群	授業科目・単位	(分野 H26 年度以前入 学者対象)	授業テーマ	担当教員	授業時限		備考
					前期	後期	
現代科学 理解特殊 講義	現代科学理解 特殊講義 2単位	自然	科学技術と社会	和田 正法	水3・4	—	
		自然	科学技術と社会	和田 正法	木7・8	—	
		自然	現代生物学の話題	福田 知子	火3・4	—	
		自然	現代生物学の話題	福田 知子	木7・8	—	
		自然	現代生物学の話題	福田 知子	金3・4	—	
	PBL現代社会理解特殊講義 (現代科学) 2単位	自然	現代の科学と技術	和田 正法	金9・10	—	
		自然	現代の科学と技術	和田 正法	—	金3・4	

オムニバス方式 授業内容を分担して複数の教員が担当する授業。

開放科目 専門教育科目を教養教育科目として開講するもの。カッコ内の人数は、教養教育科目としての受講可能者数。

開放科目の後に記載のある所属等の者は、教養教育科目としては履修不可。

Ⅳ クラス指定リスト

〈クラス指定の略号〉

<p>人文学部：文→文化学科 法→法律経済学科</p> <p>教育学部：国→国語教育コース 社→社会科教育コース 数情→数学教育情報教育コース 数→数学教育専攻 情→情報教育専攻 理→理科教育コース 音→音楽教育コース 美→美術教育コース 保→保健体育コース 技→技術・ものづくり教育コース 家→家政教育コース 英→英語教育コース 特→特別支援教育コース 幼→幼児教育コース 学→学校教育コース 教→教育学専攻 心→教育心理学専攻 略号+初→各コース・専攻の初 等教育選修 略号+中→各コース・専攻の中 等教育選修</p> <p>医学部： 医→医学科 A →医学科 A クラス B →医学科 B クラス 看→看護学科 C →看護学科 C クラス D →看護学科 D クラス</p>	<p>工学部：M →機械工学科 E →電気電子工学科 C →分子素材工学科 A →建築学科 J →情報工学科 P →物理工学科</p> <p>生物資源学部： 資→資源循環学科 A →資源循環学科 A クラス B →資源循環学科 B クラス 共→共生環境学科 C →共生環境学科 C クラス D →共生環境学科 D クラス 生→生物圏生命化学科 E →生物圏生命化学科 E クラス F →生物圏生命化学科 F クラス 生1 →生物圏生命化学科 1 クラス 生2 →生物圏生命化学科 2 クラス 生3 →生物圏生命化学科 3 クラス 海→海洋生物資源学科 海1 →海洋生物資源学科 1 クラス 海2 →海洋生物資源学科 2 クラス</p>
--	---

例 「人1年文1～50」：人文学部の文化学科1年生で学籍番号の下3ケタが1番から50番までの学生。
「教70期数初」：教育学部の学校教育教員養成課程1年生で、数学教育情報教育コース数学教育専攻初等教育選修の学生。

スタートアップセミナー

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
人文学部	1年 文 所属学科の指示に従うこと	グットマン ティエリー	火7・8	—
		藤田 伸也	火7・8	—
		遠山 敦	火7・8	—
		澤田 治	火7・8	—
		酒井 恵子	火7・8	—
		大喜 祐太	火7・8	—
	1年 法 (201～240)	長濱 文与	月3・4	—
	1年 法 (241～280)	奥田 久春	月3・4	—
1年 法 (281～320)	守山 紗弥加	月3・4	—	
1年 法 (321～)	下村 智子	月7・8	—	
教育学部	70期 技・英・特	長濱 文与	月7・8	—
	70期 理・音・家	奥田 久春	月7・8	—
	70期 社・美・保	守山 紗弥加	火1・2	—
	70期 国・学	下村 智子	火1・2	—
	70期 数情・幼	林原 玲洋	火1・2	—
医学部	1年 医 (1～42)	長濱 文与	火5・6	—
	1年 医 (43～84)	奥田 久春	火5・6	—
	1年 医 (85～)	守山 紗弥加	火5・6	—
	1年 看 (201～245)	綾野 誠紀	金7・8	—
	1年 看 (246～)	奥田 久春	金7・8	—
工学部	1年 M (101～140)	下村 智子	火9・10	—
	1年 M (141～)	守山 紗弥加	火9・10	—
	1年 E (301～340)	下村 智子	木3・4	—
	1年 E (341～)	守山 紗弥加	木3・4	—
	1年 C (501～540)	下村 智子	木1・2	—
	1年 C (541～580)	奥田 久春	木1・2	—
	1年 C (581～)・J (801～820)	林原 玲洋	木1・2	—
	1年 J (821～)	奥田 久春	木3・4	—
	1年 A	下村 智子	水3・4	—
	1年 P	林原 玲洋	金7・8	—
生物資源学部	1年 資 (101～135)	林原 玲洋	木9・10	—
	1年 資 (136～)	守山 紗弥加	木9・10	—
	1年 共 (301～335)	下村 智子	水1・2	—
	1年 共 (336～)	奥田 久春	水1・2	—
	1年 生 (501～540)	奥田 久春	金5・6	—
	1年 生 (541～)	守山 紗弥加	金5・6	—
	1年 海	綾野 誠紀	金5・6	—
英語特別プログラム履修者 (英語で実施)		トゥラダール アスタ	火5・6	—
		トゥラダール アスタ	火7・8	—
		トゥラダール アスタ	火9・10	—
再履修生・編入生 (人文学部文化学科全学生および2016(平成28)年度以前入学の法律経済学科学生を除く。これらの学生は所属学科の指示に従うこと。)		下村 智子	水11・12	—

教養ワークショップ

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
人文学部	1年 文 (1～14)	井口 靖	—	木1・2
	1年 文 (15～27)	福田 知子	—	木1・2
	1年 文 (28～41)	大熊 富季子	—	木1・2
	1年 文 (42～55)	太城 康良	—	木1・2
	1年 文 (56～68)	玉利 健悟	—	木1・2
	1年 文 (69～81)	中谷 直司	—	木1・2
	1年 文 (82～)	和田 正法	—	木1・2
	1年 法 (201～207)	吉田 悦子	—	火7・8
	1年 法 (208～213)	下村 智子	—	火7・8
	1年 法 (214～219)	玉利 健悟	—	火7・8
	1年 法 (220～225)	奥田 久春	—	火7・8
	1年 法 (226～231)	大熊 富季子	—	火7・8
	1年 法 (232～238)	中谷 直司	—	火7・8
	1年 法 (239～245)	福田 知子	—	火7・8
	1年 法 (246～261)	中谷 直司	—	火5・6
	1年 法 (262～277)	大熊 富季子	—	火5・6
	1年 法 (278～292)	玉利 健悟	—	火5・6
	1年 法 (293～307)	福田 知子	—	火5・6
	1年 法 (308～322)	富樫 健二	—	火5・6
	1年 法 (323～337)	長濱 文与	—	火5・6
1年 法 (338～)	野田 明	—	火5・6	
教育学部	70期 国初・社初	玉利 健悟	—	木7・8
	70期 国中・数初	福田 知子	—	木7・8
	70期 社中・保初	中谷 直司	—	木7・8
	70期 数中・幼	野呂 雄一	—	木7・8
	70期 情・保中	大熊 富季子	—	木7・8
	70期 理初・美	中谷 直司	—	木3・4
	70期 理中	大熊 富季子	—	木3・4
	70期 音・技	川向 洋之	—	木7・8
	70期 家	玉利 健悟	—	木3・4
	70期 英	綾野 誠紀	—	木3・4
	70期 特	大野 研	—	木3・4
	70期 教	和田 正法	—	木3・4
	70期 心	福田 知子	—	木3・4
医学部	1年 医 (1～21)	大熊 富季子	—	木3・4
	1年 医 (22～41)	和田 正法	—	木3・4
	1年 医 (42～61)	福田 知子	—	木3・4
	1年 医 (62～79)	玉利 健悟	—	木3・4
	1年 医 (80～97)	綾野 誠紀	—	木3・4
	1年 医 (98～112)	中谷 直司	—	木3・4
	1年 医 (113～)	大野 研	—	木3・4
	1年 看 (201～209)	赤岩 隆	—	火9・10
	1年 看 (210～218)	大熊 富季子	—	火9・10
	1年 看 (219～227)	鬼頭 孝治	—	火9・10
	1年 看 (228～236)	南 学	—	火9・10
	1年 看 (237～245)	玉利 健悟	—	火9・10
	1年 看 (246～254)	中谷 直司	—	火9・10
	1年 看 (255～263)	和田 正法	—	火9・10
	1年 看 (264～272)	林原 玲洋	—	火9・10
	1年 看 (273～)	福田 知子	—	火9・10

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
工学部	1年 M (101 ~ 109)	大熊 富季子	—	火9・10
	1年 M (110 ~ 118)	鬼頭 孝治	—	火9・10
	1年 M (119 ~ 127)	南 学	—	火9・10
	1年 M (128 ~ 136)	玉利 健悟	—	火9・10
	1年 M (137 ~ 145)	中谷 直司	—	火9・10
	1年 M (146 ~ 154)	和田 正法	—	火9・10
	1年 M (155 ~ 163)	林原 玲洋	—	火9・10
	1年 M (164 ~ 172)	福田 知子	—	火9・10
	1年 M (173 ~)	赤岩 隆	—	火9・10
	1年 E (301 ~ 311)	福田 知子	—	火7・8
	1年 E (312 ~ 322)	中谷 直司	—	火7・8
	1年 E (323 ~ 334)	大熊 富季子	—	火7・8
	1年 E (335 ~ 346)	奥田 久春	—	火7・8
	1年 E (347 ~ 358)	玉利 健悟	—	火7・8
	1年 E (359 ~ 370)	下村 智子	—	火7・8
	1年 E (371 ~)	吉田 悦子	—	火7・8
	1年 C (501 ~ 514)	吉田 悦子	—	火7・8
	1年 C (515 ~ 529)	下村 智子	—	火7・8
	1年 C (530 ~ 544)	玉利 健悟	—	火7・8
	1年 C (545 ~ 559)	奥田 久春	—	火7・8
	1年 C (560 ~ 573)	大熊 富季子	—	火7・8
	1年 C (574 ~ 587)	中谷 直司	—	火7・8
	1年 C (588 ~)	福田 知子	—	火7・8
	1年 A (701 ~ 705)	鬼頭 孝治	—	火9・10
	1年 A (706 ~ 710)	南 学	—	火9・10
	1年 A (711 ~ 715)	玉利 健悟	—	火9・10
	1年 A (716 ~ 720)	中谷 直司	—	火9・10
	1年 A (721 ~ 724)	和田 正法	—	火9・10
	1年 A (725 ~ 728)	林原 玲洋	—	火9・10
	1年 A (729 ~ 732)	福田 知子	—	火9・10
	1年 A (733 ~ 736)	赤岩 隆	—	火9・10
	1年 A (737 ~)	大熊 富季子	—	火9・10
	1年 J (801 ~ 807)	南 学	—	火9・10
	1年 J (808 ~ 814)	玉利 健悟	—	火9・10
	1年 J (815 ~ 821)	中谷 直司	—	火9・10
	1年 J (822 ~ 828)	和田 正法	—	火9・10
	1年 J (829 ~ 835)	林原 玲洋	—	火9・10
	1年 J (836 ~ 842)	福田 知子	—	火9・10
	1年 J (843 ~ 849)	赤岩 隆	—	火9・10
	1年 J (850 ~ 856)	大熊 富季子	—	火9・10
	1年 J (857 ~)	鬼頭 孝治	—	火9・10
	1年 P (901 ~ 906)	玉利 健悟	—	木1・2
	1年 P (907 ~ 912)	中谷 直司	—	木1・2
	1年 P (913 ~ 918)	和田 正法	—	木1・2
	1年 P (919 ~ 924)	井口 靖	—	木1・2
	1年 P (925 ~ 930)	福田 知子	—	木1・2
1年 P (931 ~ 935)	大熊 富季子	—	木1・2	
1年 P (936 ~)	太城 康良	—	木1・2	

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
生物資源学部	1年 資 (101 ~ 111)	和田 正法	—	木 1・2
	1年 資 (112 ~ 121)	中谷 直司	—	木 1・2
	1年 資 (122 ~ 131)	玉利 健悟	—	木 1・2
	1年 資 (132 ~ 141)	太城 康良	—	木 1・2
	1年 資 (142 ~ 151)	大熊 富季子	—	木 1・2
	1年 資 (152 ~ 162)	福田 知子	—	木 1・2
	1年 資 (163 ~)	井口 靖	—	木 1・2
	1年 共 (301 ~ 315)	中谷 直司	—	木 7・8
	1年 共 (316 ~ 324)	玉利 健悟	—	木 7・8
	1年 共 (325 ~ 336)	川向 洋之	—	木 7・8
	1年 共 (337 ~ 348)	福田 知子	—	木 7・8
	1年 共 (349 ~ 359)	野呂 雄一	—	木 7・8
	1年 共 (360 ~)	大熊 富季子	—	木 7・8
	1年 生 (501 ~ 512)	野田 明	—	火 5・6
	1年 生 (513 ~ 524)	長濱 文与	—	火 5・6
	1年 生 (525 ~ 536)	富樫 健二	—	火 5・6
	1年 生 (537 ~ 547)	福田 知子	—	火 5・6
	1年 生 (548 ~ 558)	玉利 健悟	—	火 5・6
	1年 生 (559 ~ 569)	大熊 富季子	—	火 5・6
	1年 生 (570 ~)	中谷 直司	—	火 5・6
	1年 海 (701 ~ 706)	中谷 直司	—	火 5・6
	1年 海 (707 ~ 712)	大熊 富季子	—	火 5・6
	1年 海 (713 ~ 718)	玉利 健悟	—	火 5・6
	1年 海 (719 ~ 724)	福田 知子	—	火 5・6
	1年 海 (725 ~ 730)	富樫 健二	—	火 5・6
	1年 海 (731 ~ 736)	長濱 文与	—	火 5・6
	1年 海 (737 ~)	野田 明	—	火 5・6
英語特別プログラム履修者		トゥラダール アスタ	—	金 5・6
再履修生・編入生		和田 正法	—	水 11・12

英語 I TOEIC

火曜日・木曜日の週2回授業。

(火曜日)

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
人文学部	1年	萩 三恵	火9・10	—
		菅原 彩加	火9・10	—
		赤岩 隆	火9・10	—
		有為楠 香	火9・10	—
		小田 敦子	火9・10	—
		未定	火9・10	—
		大木 龍之介	火9・10	—
		佐久間 篤	火9・10	—
		荒木 素子	火9・10	—
教育学部	70期	赤岩 隆	火5・6	—
		菅原 彩加	火5・6	—
		未定	火5・6	—
		有為楠 香	火5・6	—
		野田 明	火5・6	—
		澤田 治	火5・6	—
		大木 龍之介	火5・6	—
		荒木 素子	火5・6	—
		駒田 ゆき子	火5・6	—
医学部	1年	吉田 悦子	火5・6	—
		萩 三恵	火9・10	—
		菅原 彩加	火9・10	—
		赤岩 隆	火9・10	—
		有為楠 香	火9・10	—
		小田 敦子	火9・10	—
		未定	火9・10	—
		大木 龍之介	火9・10	—
		佐久間 篤	火9・10	—
工学部	1年	荒木 素子	火9・10	—
		小田 敦子	火7・8	—
		有為楠 香	火7・8	—
		駒田 ゆき子	火7・8	—
		佐久間 篤	火7・8	—
		吉田 悦子	火7・8	—
		大木 龍之介	火7・8	—
		野田 明	火7・8	—
		荒木 素子	火7・8	—
生物資源学部	1年	萩 三恵	火7・8	—
		赤岩 隆	火5・6	—
		菅原 彩加	火5・6	—
		未定	火5・6	—
		有為楠 香	火5・6	—
		野田 明	火5・6	—
		澤田 治	火5・6	—
		大木 龍之介	火5・6	—
		荒木 素子	火5・6	—
駒田 ゆき子	火5・6	—		
吉田 悦子	火5・6	—		

(木曜日)

学部	指定クラス	担当教員	授業時限		
			前期	後期	
人文学部	1年	田中 秀治	木 7・8	—	
		菅谷 友亮	木 7・8	—	
		林 姿穂	木 7・8	—	
		中寫 浩貴	木 7・8	—	
		服部 範子	木 7・8	—	
		伊藤 怜	木 7・8	—	
		陳 奕廷	木 7・8	—	
		梶浦 眞由美	木 7・8	—	
		吉野 由起	木 7・8	—	
教育学部	70期 英・特	中寫 浩貴	木 3・4	—	
		服部 範子	木 3・4	—	
		林 姿穂	木 3・4	—	
		平川 和	木 3・4	—	
		未定	木 3・4	—	
		吉野 由起	木 3・4	—	
	70期 国・社・数情・音・美・ 保・技・家・幼・学	田中 秀治	木 7・8	—	
		菅谷 友亮	木 7・8	—	
		林 姿穂	木 7・8	—	
		中寫 浩貴	木 7・8	—	
		服部 範子	木 7・8	—	
		伊藤 怜	木 7・8	—	
		陳 奕廷	木 7・8	—	
		梶浦 眞由美	木 7・8	—	
		吉野 由起	木 7・8	—	
		70期 理	田中 秀治	木 9・10	—
			菅谷 友亮	木 9・10	—
			陳 奕廷	木 9・10	—
梶浦 眞由美	木 9・10		—		
伊藤 怜	木 9・10		—		
未定	木 9・10		—		
医学部	1年	中寫 浩貴	木 3・4	—	
		服部 範子	木 3・4	—	
		林 姿穂	木 3・4	—	
		平川 和	木 3・4	—	
		未定	木 3・4	—	
		吉野 由起	木 3・4	—	
工学部	1年 M・J・P	田中 秀治	木 9・10	—	
		菅谷 友亮	木 9・10	—	
		陳 奕廷	木 9・10	—	
		梶浦 眞由美	木 9・10	—	
		伊藤 怜	木 9・10	—	
		未定	木 9・10	—	
	1年 E	田中 秀治	木 1・2	—	
		中寫 浩貴	木 1・2	—	
		菅谷 友亮	木 1・2	—	
		伊藤 怜	木 1・2	—	
		陳 奕廷	木 1・2	—	
		未定	木 1・2	—	
		未定	木 1・2	—	
		未定	木 1・2	—	

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
工学部	1年 C	中寫 浩貴	木 3・4	—
		服部 範子	木 3・4	—
		林 姿穂	木 3・4	—
		平川 和	木 3・4	—
		未定	木 3・4	—
		吉野 由起	木 3・4	—
	1年 A	平川 和	木 5・6	—
		林 姿穂	木 5・6	—
		梶浦 眞由美	木 5・6	—
生物資源学部	1年 資・共・海	田中 秀治	木 1・2	—
		中寫 浩貴	木 1・2	—
		菅谷 友亮	木 1・2	—
		伊藤 怜	木 1・2	—
		陳 奕廷	木 1・2	—
		未定	木 1・2	—
	1年 生	平川 和	木 5・6	—
		林 姿穂	木 5・6	—
		梶浦 眞由美	木 5・6	—

(集中再履修クラス)

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
再履修生・編入生		中寫 浩貴	集中	—
		伊藤 怜	集中	—
		田中 秀治	集中	—
		陳 奕廷	集中	—
		平川 和	集中	—
		菅谷 友亮	集中	—
		平川 和	—	集中

英語 I 大学基礎

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
人文学部	1年	菅原 彩加	月 5・6	月 5・6
		平川 和	月 5・6	月 5・6
		陳 奕廷	月 5・6	月 5・6
		橋本 博美	月 5・6	月 5・6
		伊藤 怜	月 5・6	月 5・6
		田中 秀治	月 5・6	月 5・6
		教育学部	70期	菅谷 友亮
陳 奕廷	月 3・4	月 3・4		
平川 和	月 3・4	月 3・4		
橋本 博美	月 3・4	月 3・4		
田中 秀治	月 3・4	月 3・4		
医学部	1年 医	菅谷 友亮	水 1・2	水 1・2
		平川 和	水 1・2	水 1・2
		中沢 まゆ子	水 1・2	水 1・2
	1年 看	中沢 まゆ子	水 5・6	水 5・6
		中寫 浩貴	水 5・6	水 5・6

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
工学部	1年	菅谷 友亮	月1・2	月1・2
		菅原 彩加	月1・2	月1・2
		平川 和	月1・2	月1・2
		小田 敦子	月1・2	月1・2
		田中 秀治	月1・2	月1・2
		伊藤 怜	月1・2	月1・2
		中寫 浩貴	月1・2	月1・2
		吉野 由起	月1・2	月1・2
		野田 明	月1・2	月1・2
生物資源学部	1年	陳 奕廷	月7・8	月7・8
		菅原 彩加	月7・8	月7・8
		菅谷 友亮	月7・8	月7・8
		橋本 博美	月7・8	月7・8
		大蔵 香代子	月7・8	月7・8
		伊藤 怜	—	月7・8
		野田 明	月7・8	—
再履修生・編入生		吉野 由起	月3・4	—
		小田 敦子	月5・6	—
		中寫 浩貴	水7・8	—
		伊藤 怜	水7・8	—
		中寫 浩貴	—	月3・4
		未定	—	月5・6
		中寫 浩貴	—	水7・8
		伊藤 怜	—	水7・8

英語 I コミュニケーション

学部	指定クラス	担当教員	授業時限			
			前期	後期		
人文学部	1年	中沢 まゆ子	水3・4	水3・4		
		菅谷 友亮	水3・4	水3・4		
		伊藤 怜	水3・4	水3・4		
		堀澤 基香	水3・4	水3・4		
		平川 和	水3・4	水3・4		
		澤田 治	水3・4	水3・4		
		中寫 浩貴	水3・4	水3・4		
		田中 秀治	水3・4	水3・4		
		陳 奕廷	水3・4	水3・4		
		綾野 誠紀	水3・4	水3・4		
		服部 範子	水3・4	水3・4		
		伊藤 怜	水1・2	水1・2		
		堀澤 基香	水1・2	水1・2		
		田中 秀治	水1・2	水1・2		
教育学部	70期	陳 奕廷	水1・2	水1・2		
		服部 範子	水1・2	水1・2		
		赤岩 隆	水1・2	—		
		澤田 治	—	水1・2		
		医学部	1年 医	中沢 まゆ子	水3・4	水3・4
				菅谷 友亮	水3・4	水3・4
				伊藤 怜	水3・4	水3・4
堀澤 基香	水3・4			水3・4		
平川 和	水3・4			水3・4		
澤田 治	水3・4			水3・4		
中寫 浩貴	水3・4			水3・4		
田中 秀治	水3・4			水3・4		
陳 奕廷	水3・4			水3・4		
綾野 誠紀	水3・4			水3・4		
服部 範子	水3・4	水3・4				

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
医学部	1年 看	山本 伸	金1・2	金1・2
		平川 和	金1・2	金1・2
		大野 京子	金1・2	金1・2
		林 浩士	金1・2	金1・2
		疋田 志づ江	金1・2	金1・2
		中寫 浩貴	金1・2	金1・2
		陳 奕廷	金1・2	金1・2
		赤岩 隆	金1・2	金1・2
工学部	1年 M・A・J・P	大野 京子	金3・4	金3・4
		山本 伸	金3・4	金3・4
		平川 和	金3・4	金3・4
		林 浩士	金3・4	金3・4
		疋田 志づ江	金3・4	金3・4
		田中 秀治	金3・4	金3・4
		折原 真希子	金3・4	金3・4
		山本 伸	金1・2	金1・2
	1年 E	平川 和	金1・2	金1・2
		大野 京子	金1・2	金1・2
		林 浩士	金1・2	金1・2
		疋田 志づ江	金1・2	金1・2
		中寫 浩貴	金1・2	金1・2
		陳 奕廷	金1・2	金1・2
		赤岩 隆	金1・2	金1・2
	1年 C	大山 尊子	金7・8	金7・8
		折原 真希子	金7・8	金7・8
田中 秀治		—	金7・8	
大蔵 香代子		金7・8	—	
生物資源学部	1年 資・共	伊藤 怜	金5・6	金5・6
		大野 京子	金5・6	金5・6
		大山 尊子	金5・6	金5・6
		折原 真希子	金5・6	金5・6
		菅谷 友亮	金5・6	金5・6
		山本 伸	金1・2	金1・2
	1年 生・海	平川 和	金1・2	金1・2
		大野 京子	金1・2	金1・2
		林 浩士	金1・2	金1・2
		疋田 志づ江	金1・2	金1・2
		中寫 浩貴	金1・2	金1・2
		陳 奕廷	金1・2	金1・2
		赤岩 隆	金1・2	金1・2
		赤岩 隆	金3・4	—
再履修生・編入生	大蔵 香代子	金5・6	—	
	中寫 浩貴	金7・8	—	
	吉田 悦子	—	金3・4	
	陳 奕廷	—	金5・6	
	菅谷 友亮	—	金7・8	

異文化理解 I (ドイツ語) について

前期 1 年生の履修申告は、* のついたクラスへ行うこと。

授業は、4 月 11 日 (水) 発表の「異文化理解科目履修の調整結果」に従って受講すること。

後期 1 年生は前期と同じクラスに自動登録されます。

再履修生・編入生は、9 月 27 日 (木) 発表の「異文化理解科目履修の調整結果」に従って受講すること。

異文化理解 I 基礎 (ドイツ語 A) a・異文化理解 I 基礎 (ドイツ語 A) b

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期 (a)	後期 (b)
人文学部	文 1 年 *履修申告はこのクラスへ行うこと	菅 利恵 (a) 大喜 祐太 (b)	木 5・6	木 5・6
	法 1 年 *履修申告はこのクラスへ行うこと	星 揚一郎	木 5・6	木 5・6
教育学部	70 期 *履修申告はこのクラスへ行うこと	長縄 寛	木 5・6	木 5・6
医学部	医 1 年 *履修申告はこのクラスへ行うこと	井口 靖 (a) 菅 利恵 (b)	木 1・2	木 1・2
	看 1 年 *履修申告はこのクラスへ行うこと	鶴田 涼子 (a) 大河内 朋子 (b)	木 1・2	木 1・2
工学部	1 年 *履修申告はこのクラスへ行うこと	鶴田 涼子	木 7・8	木 7・8
		長縄 寛	木 7・8	木 7・8
		中村 恵	木 7・8	木 7・8
		星 揚一郎	木 7・8	木 7・8
生物資源学部	1 年 *履修申告はこのクラスへ行うこと	大喜 祐太 (a) 菅 利恵 (b)	木 3・4	木 3・4
		中村 恵	木 3・4	木 3・4
		長縄 寛	木 3・4	木 3・4
再履修生・編入生		鶴田 涼子 (a) 大河内 朋子 (b)	木 1・2	木 1・2
		大喜 祐太 (a) 菅 利恵 (b)	木 3・4	木 3・4
		長縄 寛	木 5・6	木 5・6
		鶴田 涼子	木 7・8	木 7・8

異文化理解 I 演習 (ドイツ語 A) a・異文化理解 I 演習 (ドイツ語 A) b

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期 (a)	後期 (b)
人文学部	文 1 年 *履修申告はこのクラスへ行うこと	井口 靖 (a) 大河内 朋子 (b)	火 3・4	火 3・4
	法 1 年 *履修申告はこのクラスへ行うこと	鶴田 涼子 (a) 菅 利恵 (b)	火 3・4	火 3・4
教育学部	70 期 *履修申告はこのクラスへ行うこと	中川 拓哉	火 3・4	火 3・4
医学部	医 1 年 *履修申告はこのクラスへ行うこと	鶴田 涼子	火 1・2	火 1・2
	看 1 年 *履修申告はこのクラスへ行うこと	中川 拓哉	火 1・2	火 1・2
工学部	1 年 *履修申告はこのクラスへ行うこと	鈴木 久嗣	火 5・6	火 5・6
		井口 靖	火 5・6	火 5・6
		神竹 道士	火 5・6	火 5・6
		村本 容子	火 5・6	火 5・6
生物資源学部	1 年 *履修申告はこのクラスへ行うこと	神竹 道士	火 7・8	火 7・8
		鈴木 久嗣	火 7・8	火 7・8
		村本 容子	火 7・8	火 7・8
再履修生・編入生		中川 拓哉	火 1・2	火 1・2
		中川 拓哉	火 3・4	火 3・4
		鈴木 久嗣	火 5・6	火 5・6
		神竹 道士	火 7・8	火 7・8

異文化理解 I 基礎 (ドイツ語 B) a・異文化理解 I 基礎 (ドイツ語 B) b

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期 (a)	後期 (b)
人文学部	1年	中村 恵	木 5・6	木 5・6
教育学部	70期	中村 恵	木 5・6	木 5・6
医学部	1年	大喜 祐太	木 1・2	木 1・2
工学部	1年	菅 利恵 (a) 井口 靖 (b)	木 7・8	木 7・8
生物資源学部	1年	鶴田 涼子	木 3・4	木 3・4
再履修生・編入生		上記どの授業でも履修可		

異文化理解 I 演習 (ドイツ語 B) a・異文化理解 I 演習 (ドイツ語 B) b

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期 (a)	後期 (b)
人文学部	1年	バルトロメ セバスティアン	火 3・4	火 3・4
教育学部	70期	バルトロメ セバスティアン	火 3・4	火 3・4
医学部	1年	バルトロメ セバスティアン	火 1・2	火 1・2
工学部	1年	バルトロメ セバスティアン	火 5・6	火 5・6
生物資源学部	1年	バルトロメ セバスティアン	火 7・8	火 7・8
再履修生・編入生		上記どの授業でも履修可		

異文化理解 I (フランス語) について

授業は、4月11日(水)発表の「異文化理解科目履修の調整結果」に従って受講すること。

後期1年生は前期と同じクラスに自動登録されます。再履修生・編入生は、9月27日(木)発表の「異文化理解科目履修の調整結果」に従って受講すること。

異文化理解 I 基礎 (フランス語) a・異文化理解 I 基礎 (フランス語) b

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期 (a)	後期 (b)
人文学部	1年	山本 覚	火3・4	火3・4
教育学部	70期	山本 覚	火3・4	火3・4
医学部	医1年	山本 覚	木1・2	木1・2
	看1年	山本 覚	火1・2	火1・2
工学部	1年	山本 覚	火5・6	火5・6
生物資源学部	1年	井出 勉	火7・8	火7・8
再履修生・編入生		上記どの授業でも履修可		

異文化理解 I 演習 (フランス語) a・異文化理解 I 演習 (フランス語) b

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期 (a)	後期 (b)
人文学部	1年	グットマン ティエリー	木5・6	木5・6
教育学部	70期	グットマン ティエリー	木5・6	木5・6
医学部	1年 医	グットマン ティエリー	火1・2	火1・2
	1年 看	ダメモ ジャン・フランソワ	木1・2	木1・2
工学部	1年	山本 覚	木7・8	木7・8
生物資源学部	1年	山本 覚 (a) グットマン ティエリー (b)	木3・4	木3・4
再履修生・編入生		上記どの授業でも履修可		

異文化理解 I (中国語) について

前期 1 年生の履修申告は、* のついたクラスへ行くこと。

授業は、4 月 11 日 (水) 発表の「異文化理解科目履修の調整結果」に従って受講すること。

後期 1 年生は前期と同じクラスに自動登録されます。再履修生・編入生は、9 月 27 日 (木) 発表の「異文化理解科目履修の調整結果」に従って受講すること。

異文化理解 I 基礎 (中国語) a・異文化理解 I 基礎 (中国語) b

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期 (a)	後期 (b)
人文学部	1 年 *履修申告はこのクラスへ行くこと	陳 志平	火 3・4	火 3・4
		中野 麻里子	火 3・4	火 3・4
		荒井 茂夫	火 3・4	火 3・4
		花尻 奈緒子	火 3・4	火 3・4
		濱田 武志	火 3・4	火 3・4
		劉 靈均	火 3・4	火 3・4
教育学部	70 期 *履修申告はこのクラスへ行くこと	陳 志平	火 3・4	火 3・4
		中野 麻里子	火 3・4	火 3・4
		荒井 茂夫	火 3・4	火 3・4
		花尻 奈緒子	火 3・4	火 3・4
		濱田 武志	火 3・4	火 3・4
		劉 靈均	火 3・4	火 3・4
医学部	1 年 *履修申告はこのクラスへ行くこと	中野 麻里子	火 1・2	火 1・2
工学部	1 年 *履修申告はこのクラスへ行くこと	中野 麻里子	火 5・6	火 5・6
		荒井 茂夫	火 5・6	火 5・6
		陳 志平	火 5・6	火 5・6
		湯浅 陽子	火 5・6	火 5・6
		花尻 奈緒子	火 5・6	火 5・6
		劉 靈均	火 7・8	火 7・8
生物資源学部	1 年 *履修申告はこのクラスへ行くこと	荒井 茂夫	火 7・8	火 7・8
		中野 麻里子	火 7・8	火 7・8
		花尻 奈緒子	火 7・8	火 7・8
		濱田 武志	火 7・8	火 7・8
		劉 靈均	火 7・8	火 7・8
		再履修生・編入生		中野 麻里子
陳 志平	火 3・4			火 3・4
中野 麻里子	火 5・6			火 5・6
劉 靈均	火 7・8			火 7・8

異文化理解Ⅰ演習（中国語） a・異文化理解Ⅰ演習（中国語） b

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期 (a)	後期 (b)
人文学部	1年 *履修申告はこのクラスへ行うこと	荒井 茂夫	木 5・6	木 5・6
		広中 一成	木 5・6	木 5・6
		胡 蓉	木 5・6	木 5・6
		祖 建	木 5・6	木 5・6
		湯浅 陽子	木 5・6	木 5・6
		濱田 武志	木 5・6	木 5・6
教育学部	1年 *履修申告はこのクラスへ行うこと	荒井 茂夫	木 5・6	木 5・6
		広中 一成	木 5・6	木 5・6
		胡 蓉	木 5・6	木 5・6
		祖 建	木 5・6	木 5・6
		湯浅 陽子	木 5・6	木 5・6
		濱田 武志	木 5・6	木 5・6
医学部	1年 *履修申告はこのクラスへ行うこと	広中 一成	木 1・2	木 1・2
工学部	1年 *履修申告はこのクラスへ行うこと	広中 一成	木 7・8	木 7・8
		胡 蓉	木 7・8	木 7・8
		祖 建	木 7・8	木 7・8
		花尻 奈緒子	木 7・8	木 7・8
		湯浅 陽子	木 7・8	木 7・8
		荒井 茂夫	木 7・8	木 7・8
生物資源学部	1年 *履修申告はこのクラスへ行うこと	広中 一成	木 3・4	木 3・4
		祖 建	木 3・4	木 3・4
		胡 蓉	木 3・4	木 3・4
		花尻 奈緒子	木 3・4	木 3・4
再履修生・編入生		広中 一成	木 1・2	木 1・2
		広中 一成	木 3・4	木 3・4
		荒井 茂夫	木 5・6	木 5・6
		広中 一成	木 7・8	木 7・8

スポーツ健康科学 a

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
人文学部	1年 文・法 (201～245) 種目は第1回授業時に決定。	後藤 洋子 (バドミントン)	火5・6	—
		松崎 敏祐 (卓球)	火5・6	—
		藤田 一豊 (サッカー)	火5・6	—
		西村 泰一 (バスケットボール)	火5・6	—
	1年 法 (246～) 種目は第1回授業時に決定。	松崎 敏祐 (卓球)	火7・8	—
		藤田 一豊 (サッカー)	火7・8	—
西村 泰一 (バスケットボール)		火7・8	—	
教育学部	70期 美・家・英・特・幼 種目は第1回授業時に決定。	佐藤 武尊 (バドミントン)	金5・6	—
		片山 靖富 (サッカー)	金5・6	—
		若山 裕晃 (ソフトボール)	金5・6	—
		井村 久美子 (フィットネス)	金5・6	—
	70期 国・社・数情・理・音・ 保・技・学 種目は第1回授業時に決定。	佐藤 武尊 (バドミントン)	金7・8	—
		片山 靖富 (サッカー)	金7・8	—
		若山 裕晃 (ソフトボール)	金7・8	—
		八木 規夫 (バスケットボール)	金7・8	—
医学部	1年 医 (1～50) 種目は第1回授業時に決定。	大隈 節子 (バレーボール)	木5・6	—
		細野 信幸 (ソフトボール)	木5・6	—
		中西 義雄 (テニス)	木5・6	—
		井村 久美子 (フィットネス)	木5・6	—
		高木 良明 (サッカー)	木5・6	—
	1年 医 (51～) 種目は第1回授業時に決定。	重松 良祐 (バドミントン)	木7・8	—
		細野 信幸 (ソフトボール)	木7・8	—
		中西 義雄 (テニス)	木7・8	—
		井村 久美子 (フィットネス)	木7・8	—
		高木 良明 (サッカー)	木7・8	—
	1年 看 種目は第1回授業時に決定。	佐藤 武尊 (バドミントン)	金5・6	—
		片山 靖富 (サッカー)	金5・6	—
		若山 裕晃 (ソフトボール)	金5・6	—
		井村 久美子 (フィットネス)	金5・6	—

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
工学部	1年 E・C・P 種目は第1回授業時に決定。	加納 岳拓 (ソフトボール)	月5・6	—
		松崎 敏祐 (卓球)	月5・6	—
		中西 義雄 (テニス)	月5・6	—
		西村 泰一 (バスケットボール)	月5・6	—
		高木 良明 (サッカー)	月5・6	—
		伊藤 敏裕 (バドミントン)	月5・6	—
	1年 M・A・J 種目は第1回授業時に決定。	伊藤 敏裕 (バドミントン)	月7・8	—
		松崎 敏祐 (卓球)	月7・8	—
		中西 義雄 (テニス)	月7・8	—
		西村 泰一 (バスケットボール)	月7・8	—
高木 良明 (サッカー)		月7・8	—	
生物資源学部	1年 資・共 種目は第1回授業時に決定。	大隈 節子 (バレーボール)	木5・6	—
		細野 信幸 (ソフトボール)	木5・6	—
		中西 義雄 (テニス)	木5・6	—
		井村 久美子 (フィットネス)	木5・6	—
		高木 良明 (サッカー)	木5・6	—
	1年 生・海 種目は第1回授業時に決定。	重松 良祐 (バドミントン)	木7・8	—
		細野 信幸 (ソフトボール)	木7・8	—
		中西 義雄 (テニス)	木7・8	—
		井村 久美子 (フィットネス)	木7・8	—
		高木 良明 (サッカー)	木7・8	—
体力の著しく劣る者や身体的障がいのために 一般学生とともに受講することが困難な者		八木 規夫 (アダプテッドスポーツ)	金9・10	—
再履修生・編入生	<p>編入生・再履修生の履修について、次の順序でクラスを指定します。</p> <p>(a) 学生の所属する学部、学科などに指定された曜日・時限で履修する。</p> <p>(b) 上記(a)が不可能な場合は、学部に指定された曜日で履修する。</p> <p>(c) 上記(a)、(b)が不可能な場合は、履修を希望する曜日・時限の授業第1回目のガイダンスの最初に、理由を添えて担当教員に申し出てください。やむを得ないと判断された場合は、他学部に指定されている曜日・時限での履修が認められます。ただし、人数の都合で木曜日は受け入れられません。</p>			

スポーツ健康科学 b

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
人文学部	1年 文・法 (201～245) 種目は第1回授業時に決定。	後藤 洋子 (バドミントン)	—	火5・6
		松崎 敏祐 (卓球)	—	火5・6
		藤田 一豊 (サッカー)	—	火5・6
		西村 泰一 (バスケットボール)	—	火5・6
	1年 法 (246～) 種目は第1回授業時に決定。	松崎 敏祐 (卓球)	—	火7・8
		藤田 一豊 (サッカー)	—	火7・8
西村 泰一 (バスケットボール)		—	火7・8	
教育学部	70期 美・家・英・特・幼 種目は第1回授業時に決定。	佐藤 武尊 (ニュースポーツ)	—	金5・6
		片山 靖富 (サッカー)	—	金5・6
		若山 裕晃 (ソフトボール)	—	金5・6
		井村 久美子 (フィットネス)	—	金5・6
	70期 国・社・数情・理・音・ 保・技・学 種目は第1回授業時に決定。	佐藤 武尊 (ニュースポーツ)	—	金7・8
		片山 靖富 (サッカー)	—	金7・8
		若山 裕晃 (ソフトボール)	—	金7・8
		井村 久美子 (フィットネス)	—	金7・8
医学部	1年 医 (1～50) 種目は第1回授業時に決定。	大隈 節子 (バレーボール)	—	木5・6
		細野 信幸 (ソフトボール)	—	木5・6
		中西 義雄 (テニス)	—	木5・6
		井村 久美子 (フィットネス)	—	木5・6
		高木 良明 (サッカー)	—	木5・6
	1年 医 (51～) 種目は第1回授業時に決定。	大隈 節子 (バレーボール)	—	木7・8
		細野 信幸 (ソフトボール)	—	木7・8
		中西 義雄 (テニス)	—	木7・8
		井村 久美子 (フィットネス)	—	木7・8
		高木 良明 (サッカー)	—	木7・8
	1年 看 種目は第1回授業時に決定。	佐藤 武尊 (ニュースポーツ)	—	金5・6
		片山 靖富 (サッカー)	—	金5・6
若山 裕晃 (ソフトボール)		—	金5・6	
井村 久美子 (フィットネス)		—	金5・6	

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
工学部	1年 E・C・P 種目は第1回授業時に決定。	伊藤 敏裕 (バドミントン)	—	月5・6
		松崎 敏祐 (卓球)	—	月5・6
		中西 義雄 (テニス)	—	月5・6
		西村 泰一 (バスケットボール)	—	月5・6
		高木 良明 (サッカー)	—	月5・6
		加納 岳拓 (ソフトボール)	—	月5・6
	1年 M・A・J 種目は第1回授業時に決定。	伊藤 敏裕 (バドミントン)	—	月7・8
		松崎 敏祐 (卓球)	—	月7・8
		中西 義雄 (テニス)	—	月7・8
		西村 泰一 (バスケットボール)	—	月7・8
高木 良明 (サッカー)		—	月7・8	
—		—	—	
生物資源学部	1年 資・共 種目は第1回授業時に決定。	大隈 節子 (バレーボール)	—	木5・6
		細野 信幸 (ソフトボール)	—	木5・6
		中西 義雄 (テニス)	—	木5・6
		井村 久美子 (フィットネス)	—	木5・6
		高木 良明 (サッカー)	—	木5・6
		—	—	—
	1年 生・海 種目は第1回授業時に決定。	大隈 節子 (バレーボール)	—	木7・8
		細野 信幸 (ソフトボール)	—	木7・8
		中西 義雄 (テニス)	—	木7・8
		井村 久美子 (フィットネス)	—	木7・8
高木 良明 (サッカー)		—	木7・8	
体力の著しく劣る者や身体的障がいのために 一般学生とともに受講することが困難な者	八木 規夫 (アダプテッドスポーツ)	—	金9・10	
再履修生・編入生	<p>編入生・再履修生の履修について、次の順序でクラスを指定します。</p> <p>(a) 学生の所属する学部、学科などに指定された曜日・時限で履修する。</p> <p>(b) 上記 (a) が不可能な場合は、学部に指定された曜日で履修する。</p> <p>(c) 上記 (a)、(b) が不可能な場合は、履修を希望する曜日・時限の授業第1回目のガイダンスの最初に、理由を添えて担当教員に申し出てください。やむを得ないと判断された場合は、他学部に指定されている曜日・時限での履修が認められます。ただし、人数の都合で木曜日は受け入れられません。</p>			

スポーツ健康科学概論

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
教育学部	70期 1～70	後藤 洋子 他	金1・2	—
	70期 71～140	岡野 昇 他	金1・2	—
	70期 141～	重松 良祐 他	金1・2	—
再履修生・その他		重松 良祐 他	金1・2	—

情報科学基礎

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
人文学部	1年 文 所属学科の指示に従うこと	久間 泰賢	金1・2	—
		森 正人	金1・2	—
		石田 修二	金1・2	—
教育学部	70期 国・社	丹保 健一	月7・8	—
	70期 数情	丁 亜希 他	金9・10	—
	70期 理・英・特	丁 亜希	木7・8	—
	70期 音・美・幼・学	疋田 眞也	火9・10	—
	70期 保・技・家	魚住 明生	月9・10	—
医学部	1年 A・C	坂本 良太 他	月7・8	—
	1年 B・D	坂本 良太 他	月9・10	—
工学部	1年 C	大西 拓 他	水1・2	—
生物資源学部	1年 A	内迫 貴幸 他	金3・4	—
	1年 B	長屋 祐一 他	金7・8	—
	1年 C	伊藤 良栄	金1・2	—
	1年 D	森尾 吉成	火9・10	—
	1年 生情報1	森川 由隆 他	月3・4	—
	1年 生情報2	田口 和典	木9・10	—
	1年 生情報3・海情報1	廣住 豊一	金9・10	—
	1年 海情報2	伯耆 匠二 他	月5・6	—

情報科学基礎 A

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
人文学部	1年 法 所属学科の指示に従うこと	前田 定孝	金3・4	—
		嶋 恵一	木3・4	—

情報科学基礎 B

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
人文学部	1年 法	望月 理生	—	水5・6

電子計算機プログラミング及び演習

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
工学部	1年 M	鎌田 泰成	—	水2～4

計算機基礎Ⅰ及び演習

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
工学部	1年 E	鶴岡 信治	金 9・10	—

計算機基礎Ⅱ及び演習

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
工学部	2年 E	川中 普晴	木 9・10	—

建築情報処理基礎

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
工学部	1年 A	大月 淳 他	—	火 1・2

情報科学基礎及び初級プログラミング演習

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
工学部	1年 J	大山 航 他	水 1～4	—

計算機基礎

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
工学部	1年 P	小林 正	火 3・4	—

基礎線形代数学Ⅰ

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
教育学部	70期 数情	川向 洋之	火 7・8	—
工学部	1年 E (301～340)	新田 貴士	月 7・8	—
	1年 E (341～)	新田 貴士	月 3・4	—
	1年 C (501～550)	玉城 政和	木 5・6	—
	1年 C (551～)	大貫 洋介	火 1・2	—
	1年 J	鈴木 秀智	火 3・4	—
	1年 P	露峰 茂明	金 5・6	—
再履修生		大貫 洋介	—	火 3・4

基礎線形代数学Ⅱ

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
教育学部	70期 数情	川向 洋之	—	火 7・8
工学部	1年 E (301～340)	新田 貴士	—	月 7・8
	1年 E (341～)	新田 貴士	—	月 3・4
	1年 C (501～550)	玉城 政和	—	木 5・6
	1年 C (551～)	大貫 洋介	—	火 1・2
	1年 J	成瀬 央	—	火 3・4
	1年 P	露峰 茂明	—	金 5・6
再履修生		大貫 洋介	火 3・4	—

基礎線形代数学

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
工学部	1年 M	小竹 茂夫	—	木 5・6
	1年 A	堀江 太郎	—	木 3・4

基礎微分積分学Ⅰ

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
教育学部	70期 数情	森山 貴之	月 9・10	—
工学部	1年 M	市原 潔	金 5・6	—
	1年 E (301～340)	松井 龍之介	火 3・4	—
	1年 E (341～)	松井 龍之介	火 1・2	—
	1年 C (501～550)	肥田野 久二男	火 1・2	—
	1年 C (551～)	古関 春隆	木 5・6	—
	1年 A	堀江 太郎	木 3・4	—
	1年 J	古関 春隆	月 9・10	—
	1年 P	肥田野 万里子	金 1・2	—
再履修生		堀江 太郎	—	木 1・2

基礎微分積分学Ⅱ

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
教育学部	70期 数情	森山 貴之	—	月 9・10
工学部	1年 M	松井 博和	—	水 5・6
	1年 E (301～340)	岩田 達夫 他	—	火 3・4
	1年 E (341～)	岩田 達夫 他	—	水 5・6
	1年 C (501～550)	肥田野 久二男	—	火 1・2
	1年 C (551～)	古関 春隆	—	木 5・6
	1年 J	古関 春隆	—	月 9・10
	1年 P	肥田野 万里子	—	金 1・2
再履修生		堀江 太郎	木 1・2	—

数学基礎

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
生物資源学部	1年 能力別 所属学部の指示に従うこと	葛葉 泰久	月 9・10	—
		取出 伸夫	月 9・10	—
		渡邊 晋生	月 9・10	—
		山田 二久次	月 9・10	—
		鬼頭 孝治	月 9・10	—
再履修生		鬼頭 孝治	—	金 9・10

基礎数学演習 I

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
教育学部	70期 数情	森山 貴之	木 9・10	—
工学部	1年 E (301～340)	川中 普晴	月 9・10	—
	1年 E (341～)	正直 花奈子	月 9・10	—

基礎数学演習 II

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
教育学部	70期 数情	森山 貴之	—	木 9・10
工学部	1年 E (301～340)	眞田 耕輔	—	金 9・10
	1年 E (341～)	永井 滋一	—	金 9・10

基礎数理統計学

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
工学部	2年 A	古関 春隆	火 9・10	—

基礎物理学 I

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
工学部	1年 E (301～340)	八木 一夫	月 3・4	—
	1年 E (341～)	前田 太佳夫	月 7・8	—
	1年 C (501～550)	藤原 裕司	月 3・4	—
	1年 C (551～)	宮西 基明	月 3・4	—
	1年 A	小竹 茂夫	月 3・4	—
	1年 J	川上 博士	木 5・6	—
	1年 P	阿部 純義	木 5・6	—

基礎物理学 II

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
工学部	1年 C	飯田 和生	—	月 3・4
	1年 J	仲本 朝基	—	金 1・2
	2年 M (101～140)	宮西 基明	木 1・2	—
	2年 M (141～)	宮西 基明	木 3・4	—

基礎物理学Ⅲ A

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
工学部	1年 P	木村 明洋	—	木 5・6
	2年 E	元垣内 敦司	木 3・4	—

基礎物理学Ⅲ B

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
工学部	2年 C	鳥飼 直也	水 3・4	—

物理学基礎 I

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
生物資源学部	1年 能力別 所属学部の指示に従うこと	王 秀崙	水 3・4	—
		酒井 俊典	水 3・4	—
		石黒 覚	水 3・4	—
		大野 研	水 3・4	—
	再履修生	大野 研	—	木 9・10

物理学基礎 II

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
生物資源学部	1年 能力別 所属学部の指示に従うこと	村上 克介	—	月 5・6
		加治佐 隆光	—	月 5・6
	再履修生	岩田 達夫	月 1・2	—

物理学実験

受講条件

機械工学科：「力学I」の2単位を修得していること。あるいは「力学I」の担当教員から許可を得ていること。

情報工学科：原則として「基礎物理学I」または「基礎物理学II」のいずれか2単位を修得していること。

理工学科：原則として「基礎物理学I」または「基礎物理学Ⅲ A」のいずれか2単位を修得していること。

生物資源学部：原則として「物理学基礎 I」2単位を修得していること。

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
工学部	2年 J	鳥飼 正志 他	月 5～7	—
	2年 M	野呂 雄一 他	木 5～7	—
	2年 P	野呂 雄一 他	—	金 5～7
生物資源学部	2年以上	野呂 雄一 他	—	金 5～7

基礎化学C

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
医学部	再履修生	影山 慎一	—	火 3・4

化学基礎 I

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
生物資源学部	1年 資・海	岡垣 壮	月1・2	—
	1年 共	田中 晶善	月3・4	—
	1年 生	寺西 克倫	月1・2	—
	再履修生	岡垣 壮	—	月3・4

化学基礎 II

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
生物資源学部	1年	奥村 克純 他	—	火3・4
	再履修生	奥村 克純	月1・2	—

化学 I

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
工学部	1年 M	今西 誠之	月3・4	—
	1年 P	平井 克幸	月3・4	—

化学 II

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
工学部	1年 E	八谷 巖	—	金3・4

化学実験

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
医学部	1年 医	田丸 浩 他	—	月5～7
工学部	2年 E	勝又 英之 他	月5～7	—
	2年	田丸 浩 他	—	月5～7
生物資源学部	2年	木村 哲哉 他	水5～7	—
	2年・3年	田丸 浩 他	—	月5～7

基礎生物学 A

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
教育学部		平山 大輔	木3・4	—

生物学基礎 I

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
生物資源学部	1年 能力別 所属学部の指示に従うこと	掛田 克行 他	火1・2	—
		松井 宏樹 他	火1・2	—
	再履修生	掛田 克行 他	—	集中

生物学基礎Ⅱ

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
生物資源学部	1年	塚田 森生 他	—	水3・4
	再履修生	塚田 森生 他	集中	—

入門生物学

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
医学部	1年 医	加藤 信哉	木9・10	—

生物学実験

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
生物資源学部	2年以上	倉島 彰 他	水5～7	—

分子生命体科学A

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
医学部	1年 医	渡邊 昌俊	月1・2	—

分子生命体科学B

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
医学部	1年 医	渡邊 昌俊	—	月1・2

基礎地学A

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
教育学部		伊藤 信成	—	木9・10

地学基礎

学部	指定クラス	担当教員	授業時限	
			前期	後期
生物資源学部	2年以上	岡島 賢治	集中	—

V 異文化理解領域科目（ドイツ語・フランス語・中国語）における検定試験の利用

異文化理解領域科目（ドイツ語・フランス語・中国語）では、以下の方法で検定試験を単位認定に利用することができます。

1. 異文化理解領域科目（ドイツ語）

(1) 利用可能な検定試験：「ドイツ語技能検定試験」（主催：ドイツ語学文学振興会）

- ①異文化理解Ⅰ・Ⅱ（ドイツ語AおよびB）では、異文化理解Ⅰ前期までの学習で5級、異文化理解Ⅰ後期までの学習で4級、異文化理解Ⅱ後期までの学習で3級取得を目指します。
- ②年に2回、実施されます。全国どこの会場で受験しても結果は成績評価に反映されます。
- ③ただし、該当授業の履修期間中に受験した検定試験のみが成績評価に有効となりますので、注意してください。

履修している授業科目	ドイツ語技能検定レベル	加算点
異文化理解Ⅱ総合(ドイツ語A) 異文化理解Ⅱ演習(ドイツ語A)	3級合格	2科目 各20点
異文化理解Ⅱ総合(ドイツ語B) 異文化理解Ⅱ演習(ドイツ語B)		
異文化理解Ⅰ基礎(ドイツ語A)b 異文化理解Ⅰ演習(ドイツ語A)b	4級合格	2科目 各20点
異文化理解Ⅰ基礎(ドイツ語B)b 異文化理解Ⅰ演習(ドイツ語B)b		
異文化理解Ⅰ基礎(ドイツ語A)a 異文化理解Ⅰ演習(ドイツ語A)a	5級合格	2科目 各20点
異文化理解Ⅰ基礎(ドイツ語B)a 異文化理解Ⅰ演習(ドイツ語B)a		

(2) 検定試験結果の申請方法

合否通知の提出方法は、各授業での指示に従ってください。

2. 異文化理解領域科目（フランス語）

(1) 利用可能な検定試験：「実用フランス語技能検定試験(仏検)」（主催：フランス語教育振興協会(APEF)）

- ①年に2回、実施されます。全国どこの会場で受験しても結果は成績評価に反映されます。
- ②ただし、入学後に受験した検定試験のみが成績評価に有効となります。

(2) 成績評価への反映方法：

- ①以下の基準に沿って、授業出席・定期試験に代え、履修科目を合格とします。異文化理解Ⅰ演習のレポートに関しては、担当の山本覚教員と相談してください。

授業科目名	認定基準
異文化理解 I 基礎(フランス語)a	仏検5級以上の合格
異文化理解 I 演習(フランス語)a	仏検5級以上の合格 + レポート提出
異文化理解 I 基礎(フランス語)b	仏検4級以上の合格
異文化理解 I 演習(フランス語)b	仏検4級以上の合格 + レポート提出

②評価方法：

(A) 異文化理解 I 基礎(フランス語)a および b に関しては、上記の検定試験の点数を評価点とし、以下の通りに成績評価に置き換えます。

検定試験の点数	成績評価
60 - 69	6
70 - 79	7
80 - 89	8
90 - 94	9
95 - 100	10

(B) 異文化理解 I 基礎 (フランス語) a において 4 級以上、異文化理解 I 基礎 (フランス語) b において 3 級以上の合格の場合は、点数によらず成績評価を 10 とします。

(C) 異文化理解 I 演習(フランス語)a および b に関しては、レポートの点を 100 点満点で採点し、検定試験の点数と加算平均して、評価を行います。異文化理解 I 基礎 (フランス語) a および b の場合と同様に、必要な級より上の級に合格している時は、検定の点数を一律 100 点として計算します。

③検定試験結果の申請方法

担当の山本覚教員に連絡してください。

④その他

再履修者で、所属学部のカリキュラムの都合上、授業出席ないし定期試験受験が困難もしくは不可能などである場合、および、1 年次に不合格であったがその後仏検に合格しているなどの場合は、必ず履修申告前に山本覚教員と相談してください。

3. 異文化理解領域科目 (中国語)

(1) 利用可能な検定試験：「中国語検定試験」(主催：日本中国語検定協会)

①年に 3 回、3 月・6 月・11 月の第 4 日曜日に実施されます。申込方法などは掲示や各授業で説明します。

②入学後のみではなく、入学前に受験した検定試験も利用可能です。以下 (2) をよく読んでください。

(2) 成績評価への反映方法

①入学後に受験した検定試験の利用

該当授業の履修期間中に受験した検定試験のみが成績評価に有効となりますので注意してください。

履修している授業科目	認定基準	
異文化理解Ⅰ基礎(中国語)a	6月中国語検定準4級合格	前期試験免除
異文化理解Ⅰ基礎(中国語)b	11月中国語検定4級合格	後期試験免除
異文化理解Ⅰ演習(中国語)a	6月中国語検定準4級合格	前期試験免除 ただしレポートを課す。
異文化理解Ⅰ演習(中国語)b	11月中国語検定4級合格	後期試験免除 ただしレポートを課す。
異文化理解Ⅱ総合(中国語)	受講初年度3月中国語検定4級合格	前期試験30点加算
異文化理解Ⅱ演習(中国語)	受講初年度3月, 2年次6月, 11月中国語検定3級合格	学部指定の範囲内で単位認定

(注意点)

(A) 中国語検定の各級に合格しても、合格以降の出席日数が不足すると、単位は認定されません。

(B) 「異文化理解Ⅰ基礎(中国語)b」「異文化理解Ⅰ演習(中国語)b」は6月実施の準4級合格は後期の単位認定に反映されません。

②入学以前に受験した検定試験の利用

入学・編入以前に中国語をすでに学習していて、過去2年以内に中国語検定試験4級・3級いずれかを取得済みの者は以下のように単位認定され、上級クラスが履修できます。

学 年	入学前に受験した検定試験の合格状況	単位認定される授業	初年度より履修できる授業科目
1 年生	中国語検定4級取得	異文化理解Ⅰ演習(中国語)a 異文化理解Ⅰ演習(中国語)b	異文化理解Ⅱ総合(中国語) 異文化理解Ⅱ演習(中国語)
	中国語検定3級取得	学部・学科指定の必修単位を認定	異文化理解Ⅲ応用(中国語)の各授業
3 年次 編入生	中国語検定4級取得済み	異文化理解Ⅰ演習(中国語)a 異文化理解Ⅰ演習(中国語)b	異文化理解Ⅱ総合(中国語) 異文化理解Ⅱ演習(中国語)
	中国語検定3級取得済み	学部・学科指定の必修単位を認定	異文化理解Ⅲ応用(中国語)の各授業

(3) 検定試験結果の申請方法

①入学後に受験した検定試験：

合否通知の提出方法は各授業での指示に従ってください。

②入学以前に受験した検定試験：

担当の湯浅陽子教員に連絡してください。

Ⅵ 学部・学科の履修単位表（2018（平成30）年度入学者適用）

1. 人文学部

(1) 文化学科

	領域	共通カリキュラム			目的別カリキュラム				
		必修		選択	必修		選択		
教養 基盤 科目	アクティブ・ラーニング	スタートアップセミナー	2単位						
		教養ワークショップ	2単位						
	外国語教育	英語 I TOEIC	2単位						
		英語 I 大学基礎	2単位						
		英語 I コミュニケーション	2単位						
	異文化理解	異文化理解 I 基礎a	1単位				4単位 (注 a)	*	
		異文化理解 I 基礎b	1単位						
		異文化理解 I 演習a	1単位						
		異文化理解 I 演習b (同一の言語を選択)	1単位						
	健康科学	スポーツ健康科学a	1単位					4単位 (注 c)	
スポーツ健康科学b		1単位							
基礎教育					情報科学基礎	2単位			
キャリア教育						2単位			
教養 統合 科目	地域理解・日本理解 (地域・日本)		2単位	2単位		4単位 (注 b)	*		
	国際理解・現代社会理解 (国際・現代)		4単位						
	現代科学理解 (現代科学)		2単位		2単位				
小 計			24単位		2単位		14単位		4単位
合 計			44単位						

注 a：共通カリキュラムで選択した言語と同じ言語を履修する場合は、「異文化理解Ⅱ総合」2単位、「異文化理解Ⅱ演習」2単位を履修すること。
また、共通カリキュラムで選択した言語と異なる言語を履修する場合は、「異文化理解Ⅰ基礎 a」「異文化理解Ⅰ基礎 b」「異文化理解Ⅰ演習 a」「異文化理解Ⅰ演習 b」を履修すること。

注 b：(地域・日本) の科目を 2 単位以上修得すること。

注 c：* がついた領域（基礎教育以外の領域）から全部で 4 単位を修得すること。

(2) 法律経済学科

	領域	共通カリキュラム		目的別カリキュラム					
		必修		選択		必修		選択	
教養 基盤 科目	アクティブ・ラーニング	スタートアップセミナー	2単位						
		教養ワークショップ	2単位						
	外国語教育	英語 I TOEIC	2単位						
		英語 I 大学基礎	2単位						
		英語 I コミュニケーション	2単位						
	異文化理解	異文化理解 I 基礎a	1単位						
		異文化理解 I 基礎 b	1単位						
		異文化理解 I 演習a	1単位						
		異文化理解 I 演習 b (同一の言語を選択)	1単位						
	健康科学	スポーツ健康科学a	1単位						
スポーツ健康科学b		1単位							
基礎教育					情報科学基礎A	2単位			
キャリア教育									
教養 統 合 科 目	地域理解・日本理解 (地域・日本)		2単位		2単位		2単位		
	国際理解・現代社会理解 (国際・現代)		4単位						
	現代科学理解 (現代科学)		2単位					2単位	
小 計		24単位		2単位		6単位		8単位	
合 計		40単位							

注 a : *の中から8単位を修得すること。(領域：異文化理解には科目群<異文化理解発展>を含み、領域：基礎教育から授業科目「情報科学基礎B」のみ取得可能)

2. 教育学部

(1) 学校教育教員養成課程（数学教育・情報教育コースを除く）

	領域	共通カリキュラム	目的別カリキュラム	合計単位数	
教養 基盤 科目	アクティブ・ラーニング	スタートアップセミナー 2単位 教養ワークショップ 2単位		2単位 2単位	
	外国語教育	英語 I TOEIC 2単位 英語 I 大学基礎 2単位 英語 I コミュニケーション 2単位		6単位	
	異文化理解	異文化理解 I 基礎a 1単位 異文化理解 I 基礎b 1単位 異文化理解 I 演習a 1単位 異文化理解 I 演習b 1単位 (同一の言語を選択)		4単位	
	健康科学	スポーツ健康科学a 1単位 スポーツ健康科学b 1単位	スポーツ健康科学概論 2単位	4単位	
	基礎教育		情報科学基礎 2単位	2単位	
	キャリア教育				
教養 統合 科目	地域理解・日本理解 (地域・日本)	2単位*		2単位	
	国際理解・現代社会理解 (国際・現代)	4単位		4単位	
	現代科学理解 (現代科学)	2単位		2単位	
	地域理解・日本理解 領域/国際理解・現代 社会理解領域の2領 域のいずれかから	2単位		2単位	
学部が 指定する 領域	選 択		1. 理科教育コースは「基礎教育領域」から指定する科目を履修すること。(注1) 2. 音楽教育コースは指定する科目を履修すること。(注2) 当該科目は共通カリキュラムの単位とすることができる。 選択科目は任意の領域から履修。 3. 技術・ものづくり教育コースは「基礎教育領域」から指定する科目を履修すること。(注3) その他の科目は任意の領域から履修。 4. 特別支援教育コースは「キャリア教育領域」から指定する科目を履修すること。(注4) その他の科目は任意の領域から履修。 5. 幼児教育コースは「キャリア教育領域」から指定する科目を履修すること。(注5) その他の科目は任意の領域から履修。 6. 上記以外のコースは任意の領域から履修科目を選択。	4単位	4単位
小 計		26単位	8単位		
合 計			34単位		

*教育職員免許状取得希望者は「日本国憲法」の単位修得が必要です。

各コースが指定する授業科目一覧

	コース	指定する授業科目	単位数
注1	理科教育コース	基礎生物学A、基礎地学A(基礎教育領域)	4単位
注2	音楽教育コース	音楽文化論(国際理解・現代社会理解領域)、 演劇入門(地域理解・日本理解領域)	2単位
注3	技術・ものづくり教育コース	基礎生物学A(基礎教育領域)	2単位
注4	特別支援教育コース	障がい学生支援実践(キャリア教育領域)	2単位
注5	幼児教育コース	こころのサポート(キャリア教育領域)	2単位

(2) 学校教育教員養成課程（数学教育・情報教育コース）

	領域	共通カリキュラム	目的別カリキュラム	合計単位数
教養 基盤 科目	アクティブ・ラーニング	スタートアップセミナー 2単位 教養ワークショップ 2単位		2単位 2単位
	外国語教育	英語 I TOEIC 2単位 英語 I 大学基礎 2単位 英語 I コミュニケーション 2単位		6単位
	異文化理解	異文化理解 I 基礎a 1単位 異文化理解 I 基礎b 1単位 異文化理解 I 演習a 1単位 異文化理解 I 演習b 1単位 (同一の言語を選択)		4単位
	健康科学	スポーツ健康科学a 1単位 スポーツ健康科学b 1単位	スポーツ健康科学概論 2単位	4単位
	基礎教育		情報科学基礎 2単位	2単位
	キャリア教育			
教養 統合 科目	地域理解・日本理解 (地域・日本)	2単位*		2単位
	国際理解・現代社会理解 (国際・現代)	4単位		4単位
	現代科学理解 (現代科学)	2単位		2単位
	地域理解・日本理解 領域/国際理解・現代 社会理解領域の2領 域のいずれかから	2単位		2単位
学部が 指定 する 領域	選 択		「基礎教育領域」から指定する科目を履修すること。 (注1) 8単位	8単位
	小 計	26単位	12単位	
	合 計	38単位		

*教育職員免許状取得希望者は「日本国憲法」の単位修得が必要です。

各コースが指定する授業科目一覧

	コース	指定する授業科目	単位数
注1	数学教育・情報教育コース	基礎線形代数学Ⅰ、基礎線形代数学Ⅱ、基礎微分積分学Ⅰ、 基礎微分積分学Ⅱ(基礎教育領域)	8単位

3. 医学部

(1) 医学科

	領域	共通カリキュラム	目的別カリキュラム	合計単位数
教養基盤科目	アクティブ・ラーニング	スタートアップセミナー 2単位 教養ワークショップ 2単位		2単位 2単位
	外国語教育	英語 I TOEIC 2単位 英語 I 大学基礎 2単位 英語 I コミュニケーション 2単位		6単位
	異文化理解	異文化理解 I 基礎a 1単位 異文化理解 I 基礎b 1単位 異文化理解 I 演習a 1単位 異文化理解 I 演習b 1単位 (同一の言語を選択)		4単位
	健康科学	スポーツ健康科学a 1単位 スポーツ健康科学b 1単位		2単位
	基礎教育		情報科学基礎 2単位 分子生命体科学 A 2単位 分子生命体科学 B 2単位	6単位
	キャリア教育			
教養統合科目	地域理解・日本理解 (地域・日本)	2単位	医学医療入門 2単位	4単位
	国際理解・現代社会理解 (国際・現代)	4単位		4単位
	現代科学理解 (現代科学)	2単位	国際保健と地域医療 2単位	4単位
	地域理解・日本理解 領域/国際理解・現代 社会理解領域の2領 域のいずれかから	2単位		2単位
学部が指定する領域	選 択		教養基盤科目 外国語教育 異文化理解 健康科学 基礎教育 教養統合科目 地域理解・日本理解 国際理解・現代社会理解 現代科学理解 } 2単位	2単位
小 計		26単位	12単位	
合 計		38単位		

*物理選択者は基礎教育領域の「入門生物学」を必ず単位修得すること

(2) 看護学科

	領域	共通カリキュラム	目的別カリキュラム	合計単位数
教養 基盤 科目	アクティブ・ラーニング	スタートアップセミナー 2単位 教養ワークショップ 2単位		2単位 2単位
	外国語教育	英語 I TOEIC 2単位 英語 I 大学基礎 2単位 英語 I コミュニケーション 2単位		6単位
	異文化理解	異文化理解 I 基礎a 1単位 異文化理解 I 基礎b 1単位 異文化理解 I 演習a 1単位 異文化理解 I 演習b 1単位 (同一の言語を選択)		4単位
	健康科学	スポーツ健康科学a 1単位 スポーツ健康科学b 1単位		2単位
	基礎教育		情報科学基礎 2単位	2単位
	キャリア教育			
教養 統合 科目	地域理解・日本理解 (地域・日本)	2単位	医学医療入門 2単位	4単位
	国際理解・現代社会理解 (国際・現代)	4単位		4単位
	現代科学理解 (現代科学)	2単位		2単位
	地域理解・日本理解 領域/国際理解・現代 社会理解領域の2領 域のいずれかから	2単位		2単位
小 計	26単位		4単位	
合 計	30単位			

※養護教諭二種免許状取得希望者は「日本国憲法」の単位修得が必要です

4. 工学部

(1) 機械工学科

	領域	共通カリキュラム	目的別カリキュラム	合計単位数
教養基盤科目	アクティブ・ラーニング	スタートアップセミナー 2単位 教養ワークショップ 2単位		2単位 2単位
	外国語教育	英語 I TOEIC 2単位 英語 I 大学基礎 2単位 英語 I コミュニケーション 2単位		6単位
	異文化理解	異文化理解 I 基礎a 1単位 異文化理解 I 基礎b 1単位 異文化理解 I 演習a 1単位 異文化理解 I 演習b 1単位 (同一の言語を選択)		4単位
	健康科学	スポーツ健康科学a 1単位 スポーツ健康科学b 1単位		2単位
	基礎教育		電子計算機プログラミング及び演習 2.5単位 基礎線形代数学 2単位 基礎微分積分学 I 2単位 基礎微分積分学 II 2単位 物理学実験 1単位	9.5単位
	キャリア教育			
教養統合科目	地域理解・日本理解 (地域・日本)	2単位		2単位
	国際理解・現代社会理解 (国際・現代)	4単位		4単位
	現代科学理解 (現代科学)	2単位		2単位
	地域理解・日本理解 領域/国際理解・現代 社会理解領域の2領 域のいずれかから	2単位		2単位
学部が 指定する 領域	選 択		基礎物理学 II 2単位 化学 I 2単位 ※工学部で開設する専門教育科目の選択の単位 と合わせて36.5単位以上修得すること。	
小 計		26単位	9.5単位	
合 計		35.5単位		

(2) 電気電子工学科

	領域	共通カリキュラム	目的別カリキュラム	合計単位数
教養 基盤 科目	アクティブ・ラーニング	スタートアップセミナー 2単位 教養ワークショップ 2単位		2単位 2単位
	外国語教育	英語 I TOEIC 2単位 英語 I 大学基礎 2単位 英語 I コミュニケーション 2単位		6単位
	異文化理解	異文化理解 I 基礎a 1単位 異文化理解 I 基礎b 1単位 異文化理解 I 演習a 1単位 異文化理解 I 演習b 1単位 (同一の言語を選択)		4単位
	健康科学	スポーツ健康科学a 1単位 スポーツ健康科学b 1単位		2単位
	基礎教育		計算機基礎I及び演習 1.5単位 計算機基礎II及び演習 1.5単位 基礎線形代数学 I 2単位 基礎線形代数学 II 2単位 基礎微分積分学 I 2単位 基礎微分積分学 II 2単位 基礎数学演習 I 1単位 基礎数学演習 II 1単位 基礎物理学 I 2単位 基礎物理学 III A 2単位 化学実験 1単位	18単位
	キャリア教育			
	教養 統合 科目	地域理解・日本理解 (地域・日本)	2単位	
国際理解・現代社会理解 (国際・現代)		4単位		4単位
現代科学理解 (現代科学)		2単位		2単位
地域理解・日本理解 領域/国際理解・現代 社会理解領域の2領 域のいずれかから		2単位		2単位
学部が 指定 する 領域	選 択		化学 II 2単位 ※工学部で開設する専門教育科目の選択の単位 と合わせて30単位以上修得すること。	
	小 計	26単位	18単位	
	合 計	44単位		

(3) 分子素材工学科

	領域	共通カリキュラム	目的別カリキュラム	合計単位数
教養 基盤 科目	アクティブ・ラーニング	スタートアップセミナー 2単位 教養ワークショップ 2単位		2単位 2単位
	外国語教育	英語 I TOEIC 2単位 英語 I 大学基礎 2単位 英語 I コミュニケーション 2単位		6単位
	異文化理解	異文化理解 I 基礎a 1単位 異文化理解 I 基礎b 1単位 異文化理解 I 演習a 1単位 異文化理解 I 演習b 1単位 (同一の言語を選択)		4単位
	健康科学	スポーツ健康科学a 1単位 スポーツ健康科学b 1単位		2単位
	基礎教育		情報科学基礎 2単位 基礎線形代数学 I 2単位 基礎線形代数学 II 2単位 基礎微分積分学 I 2単位 基礎微分積分学 II 2単位 基礎物理学 I 2単位 基礎物理学 II 2単位 基礎物理学 III B 2単位	16単位
	キャリア教育			
教養 統合 科目	地域理解・日本理解 (地域・日本)	2単位		2単位
	国際理解・現代社会理解 (国際・現代)	4単位		4単位
	現代科学理解 (現代科学)	2単位		2単位
	地域理解・日本理解 領域/国際理解・現代 社会理解領域の2領 域のいずれかから	2単位		2単位
学部が 指定 する 領域	選 択			
	小 計	26単位	16単位	
	合 計	42単位		

(4) 建築学科

	領域	共通カリキュラム	目的別カリキュラム	合計単位数
教養基盤科目	アクティブ・ラーニング	スタートアップセミナー 2単位 教養ワークショップ 2単位		2単位 2単位
	外国語教育	英語 I TOEIC 2単位 英語 I 大学基礎 2単位 英語 I コミュニケーション 2単位		6単位
	異文化理解	異文化理解 I 基礎a 1単位 異文化理解 I 基礎b 1単位 異文化理解 I 演習a 1単位 異文化理解 I 演習b 1単位 (同一の言語を選択)		4単位
	健康科学	スポーツ健康科学a 1単位 スポーツ健康科学b 1単位		2単位
	基礎教育		建築情報処理基礎 2単位 基礎線形代数学 2単位 基礎微分積分学 I 2単位 基礎数理統計学 2単位 基礎物理学 I 2単位	10単位
	キャリア教育			
	教養統合科目	地域理解・日本理解 (地域・日本)	2単位	
国際理解・現代社会理解 (国際・現代)		4単位		4単位
現代科学理解 (現代科学)		2単位		2単位
地域理解・日本理解 領域/国際理解・現代 社会理解領域の2領 域のいずれかから		2単位		2単位
学部が指定する領域	選 択		教養基盤科目および教養統合科目から 8単位	8単位
	小 計	26単位		18単位
	合 計	44単位		

(5) 情報工学科

	領域	共通カリキュラム	目的別カリキュラム	合計単位数
教養 基盤 科目	アクティブ・ラーニング	スタートアップセミナー 2単位 教養ワークショップ 2単位		2単位 2単位
	外国語教育	英語 I TOEIC 2単位 英語 I 大学基礎 2単位 英語 I コミュニケーション 2単位		6単位
	異文化理解	異文化理解 I 基礎a 1単位 異文化理解 I 基礎b 1単位 異文化理解 I 演習a 1単位 異文化理解 I 演習b 1単位 (同一の言語を選択)		4単位
	健康科学	スポーツ健康科学a 1単位 スポーツ健康科学b 1単位		2単位
	基礎教育		情報科学基礎及び 初級プログラミング演習 3単位 基礎線形代数学 I 2単位 基礎線形代数学 II 2単位 基礎微分積分学 I 2単位 基礎微分積分学 II 2単位 基礎物理学 I 2単位 基礎物理学 II 2単位 物理学実験 1単位	16単位
	キャリア教育			
教養 統合 科目	地域理解・日本理解 (地域・日本)	2単位		2単位
	国際理解・現代社会理解 (国際・現代)	4単位		4単位
	現代科学理解 (現代科学)	2単位		2単位
	地域理解・日本理解 領域/国際理解・現代 社会理解領域の2領 域のいずれかから	2単位		2単位
学部が 指定 する 領域	選 択			
	小 計	26単位	16単位	
	合 計	42単位		

(6) 物理工学科

	領域	共通カリキュラム	目的別カリキュラム	合計単位数
教養 基盤 科目	アクティブ・ラーニング	スタートアップセミナー 2単位 教養ワークショップ 2単位		2単位 2単位
	外国語教育	英語 I TOEIC 2単位 英語 I 大学基礎 2単位 英語 I コミュニケーション 2単位		6単位
	異文化理解	異文化理解 I 基礎a 1単位 異文化理解 I 基礎b 1単位 異文化理解 I 演習a 1単位 異文化理解 I 演習b 1単位 (同一の言語を選択)		4単位
	健康科学	スポーツ健康科学a 1単位 スポーツ健康科学b 1単位		2単位
	基礎教育		計算機基礎 2単位 基礎線形代数学 I 2単位 基礎線形代数学 II 2単位 基礎微分積分学 I 2単位 基礎微分積分学 II 2単位 基礎物理学 I 2単位 基礎物理学 III A 2単位 物理学実験 1単位	15単位
	キャリア教育			
教養 統合 科目	地域理解・日本理解 (地域・日本)	2単位		2単位
	国際理解・現代社会理解 (国際・現代)	4単位		4単位
	現代科学理解 (現代科学)	2単位		2単位
	地域理解・日本理解 領域/国際理解・現代 社会理解領域の2領 域のいずれかから	2単位		2単位
学部が 指定 する 領域	選 択		化学 I 2単位 化学実験 1単位 ※工学部で開設する専門基礎教育科目(選択14単位) と合わせて14単位以上修得すること。	
小 計	26単位		15単位	
合 計		41単位		

5. 生物資源学部

(1) 資源循環学科

	領域	共通カリキュラム	目的別カリキュラム	合計単位数
教養 基盤 科目	アクティブ・ラーニング	スタートアップセミナー 2単位 教養ワークショップ 2単位		2単位 2単位
	外国語教育	英語 I TOEIC 2単位 英語 I 大学基礎 2単位 英語 I コミュニケーション 2単位		6単位
	異文化理解	異文化理解 I 基礎a 1単位 異文化理解 I 基礎b 1単位 異文化理解 I 演習a 1単位 異文化理解 I 演習b 1単位 (同一の言語を選択)		4単位
	健康科学	スポーツ健康科学a 1単位 スポーツ健康科学b 1単位		2単位
	基礎教育		情報科学基礎 2単位 数学基礎 2単位 物理学基礎 I 2単位 化学基礎 I 2単位 生物学基礎 I 2単位 物理学基礎 II } (2科目選択) 化学基礎 II 4単位 生物学基礎 II }	14単位
	キャリア教育			
教養 統合 科目	地域理解・日本理解 (地域・日本)	2単位		2単位
	国際理解・現代社会理解 (国際・現代)	4単位		4単位
	現代科学理解 (現代科学)	2単位		2単位
	地域理解・日本理解 領域/国際理解・現代 社会理解領域の2領 域のいずれかから	2単位		2単位
学部 が 指 定 す る 領 域	選 択			
	小 計	26単位	14単位	
	合 計	40単位		

注1) 基礎教育領域の「情報科学基礎」、「数学基礎」、「物理学基礎 I」、「化学基礎 I」、「生物学基礎 I」、「物理学基礎 II」、「化学基礎 II」、「生物学基礎 II」については、学部が指定したものを履修すること。

注2) 教育職員免許状取得希望者は「日本国憲法」の単位修得が必要です。

(2) 共生環境学科

	領域	共通カリキュラム	目的別カリキュラム	合計単位数
教養 基盤 科目	アクティブ・ラーニング	スタートアップセミナー 2単位 教養ワークショップ 2単位		2単位 2単位
	外国語教育	英語 I TOEIC 2単位 英語 I 大学基礎 2単位 英語 I コミュニケーション 2単位		6単位
	異文化理解	異文化理解 I 基礎a 1単位 異文化理解 I 基礎b 1単位 異文化理解 I 演習a 1単位 異文化理解 I 演習b 1単位 (同一の言語を選択)		4単位
	健康科学	スポーツ健康科学a 1単位 スポーツ健康科学b 1単位		2単位
	基礎教育		情報科学基礎 2単位 数学基礎 2単位 物理学基礎 I 2単位 化学基礎 I 2単位 生物学基礎 I 2単位 物理学基礎 II } (2科目選択) 化学基礎 II 4単位 生物学基礎 II }	14単位
	キャリア教育			
教養 統合 科目	地域理解・日本理解 (地域・日本)	2単位		2単位
	国際理解・現代社会理解 (国際・現代)	4単位		4単位
	現代科学理解 (現代科学)	2単位		2単位
	地域理解・日本理解 領域/国際理解・現代 社会理解領域の2領 域のいずれかから	2単位		2単位
学部 が 指 定 す る 領 域	選 択			
	小 計	26単位	14単位	
	合 計	40単位		

注1) 基礎教育領域の「情報科学基礎」、「数学基礎」、「物理学基礎 I」、「化学基礎 I」、「生物学基礎 I」、「物理学基礎 II」、「化学基礎 II」、「生物学基礎 II」については、学部が指定したものを履修すること。

注2) 教育職員免許状取得希望者は「日本国憲法」の単位修得が必要です。

(3) 生物圏生命化学科

	領域	共通カリキュラム	目的別カリキュラム	合計単位数
教養 基盤 科目	アクティブ・ラーニング	スタートアップセミナー 2単位 教養ワークショップ 2単位		2単位 2単位
	外国語教育	英語 I TOEIC 2単位 英語 I 大学基礎 2単位 英語 I コミュニケーション 2単位		6単位
	異文化理解	異文化理解 I 基礎a 1単位 異文化理解 I 基礎b 1単位 異文化理解 I 演習a 1単位 異文化理解 I 演習b 1単位 (同一の言語を選択)		4単位
	健康科学	スポーツ健康科学a 1単位 スポーツ健康科学b 1単位		2単位
	基礎教育		情報科学基礎 2単位 数学基礎 2単位 物理学基礎 I 2単位 化学基礎 I 2単位 生物学基礎 I 2単位 物理学基礎 II } (2科目選択) 化学基礎 II 4単位 生物学基礎 II } 化学実験 1単位	15単位
	キャリア教育			
教養 統合 科目	地域理解・日本理解 (地域・日本)	2単位		2単位
	国際理解・現代社会理解 (国際・現代)	4単位		4単位
	現代科学理解 (現代科学)	2単位		2単位
	地域理解・日本理解 領域/国際理解・現代 社会理解領域の2領 域のいずれかから	2単位		2単位
学部 が 指 定 す る 領 域	選 択			
	小 計	26単位	15単位	
	合 計	41単位		

注1) 基礎教育領域の「情報科学基礎」、「数学基礎」、「物理学基礎 I」、「化学基礎 I」、「生物学基礎 I」、「物理学基礎 II」、「化学基礎 II」、「生物学基礎 II」、「化学実験」については、学部が指定したものを履修すること。

注2) 教育職員免許状取得希望者は「日本国憲法」の単位修得が必要です。

(4) 海洋生物資源学科

	領域	共通カリキュラム	目的別カリキュラム	合計単位数
教養 基盤 科目	アクティブ・ラーニング	スタートアップセミナー 2単位 教養ワークショップ 2単位		2単位 2単位
	外国語教育	英語 I TOEIC 2単位 英語 I 大学基礎 2単位 英語 I コミュニケーション 2単位		6単位
	異文化理解	異文化理解 I 基礎a 1単位 異文化理解 I 基礎b 1単位 異文化理解 I 演習a 1単位 異文化理解 I 演習b 1単位 (同一の言語を選択)		4単位
	健康科学	スポーツ健康科学a 1単位 スポーツ健康科学b 1単位		2単位
	基礎教育		情報科学基礎 2単位 数学基礎 2単位 物理学基礎 I 2単位 化学基礎 I 2単位 生物学基礎 I 2単位 物理学基礎 II } (2科目選択) 化学基礎 II 4単位 生物学基礎 II } 生物学実験 1単位	15単位
	キャリア教育			
教養 統合 科目	地域理解・日本理解 (地域・日本)	2単位		2単位
	国際理解・現代社会理解 (国際・現代)	4単位		4単位
	現代科学理解 (現代科学)	2単位		2単位
	地域理解・日本理解 領域/国際理解・現代 社会理解領域の2領 域のいずれかから	2単位		2単位
学部 が 指 定 す る 領 域	選 択			
	小 計	26単位	15単位	
	合 計	41単位		

注1) 基礎教育領域の「情報科学基礎」、「数学基礎」、「物理学基礎 I」、「化学基礎 I」、「生物学基礎 I」、「物理学基礎 II」、「化学基礎 II」、「生物学基礎 II」、「生物学実験」については、学部が指定したものを履修すること。

注2) 教育職員免許状取得希望者は「日本国憲法」の単位修得が必要です。

2018(平成30)年度 教養教育行事予定表

前期														後期														
曜	日	月	火	水	木	金	土	期	日	事	項	曜	日	月	火	水	木	金	土	期	日	事	項					
																								月	日			
4	1	2	3	4	5	6	7	3/28~4/3	在来生履修申告 新入生・編入生履修申告 入学式 TOEIC IP テスト 授業開始 異文化理解科目履修の調整結果発表 履修科目選択期間 TOEIC IP テストによる英語調整結果発表 学生時間割表（履修申告結果）確認 履修科目修正期間 昭和の日 振替休日 (5・6)	10	7	8	9	10	11	12	13	1	2	3	4	5	6	1	後期授業開始 履修科目選択期間 体育の日 学生時間割表（履修申告結果）確認 履修科目修正期間 受講者名簿配付 金曜日の授業			
	8	9	10	11	12	13	14	4~6			14	15	16	17	18	19	20	7	8	9	10	11	12	13		1~5		
	15	16	17	18	19	20	21	9			21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	22						
	22	23	24	25	26	27	28	10			28	29	30	31	23													
	29	30	11~17	29	30	31	24																					
			18~24				25																					
5			1	2	3	4	5	3	憲法記念日 みどりの日 こどもの日 受講者名簿配付 月曜日の授業 本学記念日	11								10	11	11	12	13	14	15	16	17	3	文化の日 大学入学共通テスト(平成30年度プレテスト) 大学祭準備に伴う臨時休業日 勤労感謝の日 大学祭 大学祭後片付け
	6	7	8	9	10	11	12	4			18	19	20	21	22	23	24	22										
	13	14	15	16	17	18	19	5			25	26	27	28	29	30	23											
	20	21	22	23	24	25	26	6										23・24										
	27	28	29	30	31	7											25											
			30(月)																									
6						1	2	25~29	補講期間（11・12限）	12								10	11	12	13	14	15	1	補講期間（11・12限） 12月授業終了 冬季休業（～1/6） 天皇誕生日 振替休日			
	3	4	5	6	7	8	9	30			16	17	18	19	20	21	22	21										
	10	11	12	13	14	15	16	7/31~			23	24	25	26	27	28	29	12/22~										
	17	18	19	20	21	22	23				30	31	23															
	24	25	26	27	28	29	30											24										
7	1	2	3	4	5	6	7	2~6	補講期間（11・12限） 海の日 TOEIC IP テスト 前期授業終了 前期定期試験	1			1	2	3	4	5	1	元旦 冬季休業終了 授業再開 成人の日 月曜日の授業 大学入試センター試験実施に伴う臨時休業 大学入試センター試験（本試験） 補講期間（11・12限） 大学入試センター試験（予備日）									
	8	9	10	11	12	13	14	16			6	7	8	9	10	11	12	6										
	15	16	17	18	19	20	21	21			13	14	15	16	17	18	19	7										
	22	23	24	25	26	27	28	30			20	21	22	23	24	25	26	14										
	29	30	31	7/31~	27	28	29	30			31	15																
8				1	2	3	4	~8/6	前期定期試験 前期定期試験予備日 前期追試験出願受付 夏季休業（～9/30） 山の日 夏季一斉休業	2								1	後期授業終了 後期定期試験 建国記念の日 後期定期試験予備日 後期追試験出願受付 個別学力検査前期日程 後期追試験									
	5	6	7	8	9	10	11	7			3	4	5	6	7	8	9	4~8										
	12	13	14	15	16	17	18	7・8			10	11	12	13	14	15	16	11										
	19	20	21	22	23	24	25	8/7~			17	18	19	20	21	22	23	12・13										
	26	27	28	29	30	31	11	24			25	26	27	28	25・26													
9							1	5~11	時間割表発表・配付 後期履修申告 英語 I TOEIC 集中再履修クラス TOEIC IP テスト 敬老の日 秋分の日 振替休日 前期追試験 異文化理解科目の履修調整結果発表 夏季休業終了	3								1	英語 I TOEIC 集中再履修クラス 個別学力検査後期日程 春分の日 学位記授与式 時間割表発表・配付 在来生履修申告									
	2	3	4	5	6	7	8	10~13			3	4	5	6	7	8	9	4~7										
	9	10	11	12	13	14	15	14			10	11	12	13	14	15	16	12										
	16	17	18	19	20	21	22	17			17	18	19	20	21	22	23	21										
	23	24	25	26	27	28	29	23			24	25	26	27	28	29	30	25										
	30	25・26	31																									

*16 回には 7/31 ~ 8/6 の定期試験期間を含む

*16 回には 2/4 ~ 8 の定期試験期間を含む